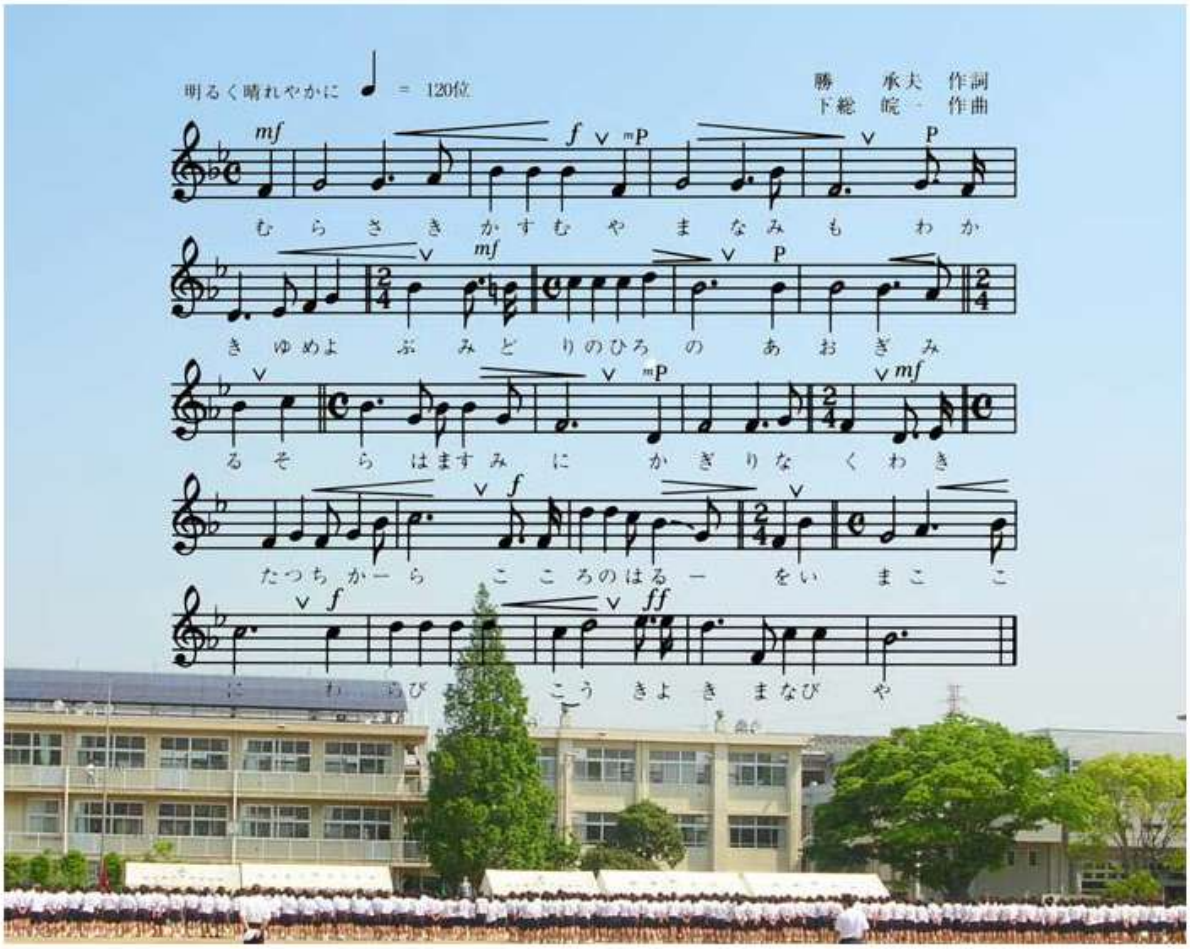
陸上競技部創立６０周年記念

垂柳

埼玉県立蕨高等学校陸上競技部

埼玉県立蕨高等学校陸上競技部 OBOG 会



埼玉県立蕨高等学校校歌

むらさき霞む山脈も
若き夢よぶみどりの広野
仰ぎみる空は真澄に
かぎりなく湧き立つ力
こころの春をいまここに
蕨高校　清きまなびや

平和の光射すところ
高き叡智の窓映えわたる
青春の日々の歩みは
荒川の流れと競い
真理を追いて　われらゆく
道ははるかに　希望みなぎる

あす待つ富士の夕雲に
広き世界をはてなく描く
純情の泉あふれて
萌えいづるものみな強し
自立の気風うけつぎて
蕨高校　永遠に栄あり

巻頭言

今年 8 月、リオデジャネイロオリンピックにおいて、日本人選手が男子 400 メートルリレーで、日本陸上界待望の銀メダルを獲得しました。

暑さが残る 9 月末に、蕨高校に今回の記念誌の原稿依頼の件で伺った際、玄関を入ると、目の前に賞状がいろいろなトロフィーや楯と共に飾られてありました。その賞状は、今から 28 年前の昭和 63 年神戸インターハイにおいて、蕨高校陸上部が男子 1600 メートルリレーで 2 位になり獲得したものでした。生徒とともに歩んできた足跡がここに残っていたとは夢にも思いませんでした。

さて、蕨高校陸上部が六十周年を記念し、「垂柳」を発行するにあたり、磯貝現校長先生、松本蕨市教育長様はじめ、西村先生、神保及び塩田 OB·OG 名誉会長より玉稿をお寄せいただきました。

OB·OG 会は、蕨高校陸上部が六十年目を迎えるにあたり、それぞれの高校時代の過ぎし日を振り返り絆を深め、OB·OG としての親睦をさらに発展させていきたいと思います。また、蕨高校現役の部員たちが埼玉県下に大きな足跡を築き、皆様のご期待にそえるよう、今後一層のご支援ご協力をお願いいたします。

目　次

1　あいさつ　OB・OG 会長　小沼　彰彦(13 期) 3

蕨高校校長　磯貝　明宏校長 4

蕨市教育委員会教育長　松本　隆男(13 期) 5

2　祝辞　名誉会長　西村　暢二 6

神保　国男(2 期) 7

塩田　征夫(4 期) 8

前顧問　斉藤　浩一(14 期) 9

松山　治彦 10

3　「あいさつ」　顧問　山田　俊路(27 期) 11

4　部の現状　男子部長　米村　拓真(59 期) 12

女子部長　関根　光沙(59 期) 13

5　思いつくままに　各期の方々より(４期～58 期) 14-50

6　故尾梶博先輩の思い出 ……51-56

7　スパイクの跡

県高校新記録樹立者一覧..... 57

関東大会入賞者一覧.....58-59

県内大会優勝者一覧.....60-63

蕨高校記録(2016 年現在) 64

蕨高校歴代２０傑.....65-75

高校駅伝歴代記録.....76-80

OB・OG 会規約 81-83

OB・OG 会員名 84-89

8　編集後記

あいさつ

OB・OG 会長　小　沼　彰　彦(１３期)

平成 28 年 2 月 11 日蕨市民会館で開催されました蕨高校陸上部 OB･OG 総会において会長に選任されました小沼です。はじめに、塩田前会長様をはじめ、役員の皆様これまで本会発展のため、ご尽力なさいましたことに心から感謝を申し上げます。

さて、私自身、昭和 44 年から昭和 46 年の 3 年間蕨高校陸上部員として、また、昭和 55 年から平成 3 年まで 11 年間、蕨高校の教師及び陸上部顧問として、蕨高校陸上部と深く関わってまいりました。決して忘れることの出来ない思い出などもあり、この度 OB･OG 会の発展に少しでもお役に立てばと思い、会長職を受けることにしました。

退職してからは、少し余裕も出てきましたので、暇を見つけては地区大会から試合の応援に出かけております。そういった中で、決勝に出場してくる蕨高校の陸上部員を見ますと昔の顧問の気持ちに戻り､いつの間にか力が入って応援をしてしまいます。たぶん、皆さんも大会を見に行かれれば、私と同じような気持ちになると思います。

ところで、浅学菲才な私が、蕨高校陸上部 OB･OG 会会長という重責を引き受けはしたものの、いくつもの課題があり、果たしてこの任が務まるか心配となっているところです。その課題の一つは、60 年も続いた蕨高校陸上部と OB-OG 会です。OBOG としての交流、支援及び協力が先細りとなってきているからです。

そのような中、役員に相談したところ、60 年というこの機会に、昔を振り返り、それぞれの年代の様子をたどり、新たな蕨高校陸上部と OB･OG 会の交流、発展に寄与できるような 60 年記念誌を発刊しようということになりました。還暦とは、60 年で干支が一回りして再び生まれた年の干支に帰ることから、元の暦に戻るという意味で呼ばれているそうです。蕨高校も 60 年という節目の年になりました。新たなスタートにふさわしい記念誌になればうれしいと思います。

「蕨高魂」のバトンをつなぐ
－60 周年記念誌発行に寄せて－

第２０代校長　磯　貝　明　宏

蕨高校陸上競技部創立 60 周年記念誌の発行おめでとうございます。

昭和 32 年創立の蕨高校は、今年 60 周年を迎えました。本誌が 60 周年記念誌であるということは、蕨高校陸上競技部は、蕨高の創立とともに今に至っていることになり、陸上競技部の歴史は、まさに蕨高の歴史の一部であると言えると思います。私自身は、今年の 4 月から蕨高校に着任しましたので、半年あまりが経過したところですが、蕨高生の新しい一面を毎日発見し、伝統校に着任したことの重みや責任の重さを実感しているところです。

さて、この半年間、私は「蕨高生とはどのような生徒なのか」を自分なりに見極めたいと考え、生徒たちの学校生活の様子を見守ってきました。臨海学校にも参加し、生徒たちの頑張る様子を見てきました。そのときに教員から、「1 年生は、臨海学校で「蕨高魂」を注入され、初めて蕨高生らしくなる」という言葉があり、「蕨高魂」という言葉が頭から離れなくなりました。「蕨高魂」とは何なのか、言い換えれば「蕨高生らしさとは何なのか？」、このことを理解していなければ、校長としての責任を全うできないと思うようになり、蕨高生たちの、いろいろな学校生活の場面で、この答えを探すように努めています。9 月末の前期終業式の校長講話でも、このことに触れ、「蕨高魂」のすべてを言い表しているかわからないですが、「共感できる心」、「助け合い協力する態度」、「ときにはつっぱしる若者らしいエネルギー」、このような要素が入ったものではないか、と生徒たちに言いました。蕨高校の歴史とともにある、陸上競技部の OB、OG の方々にもお聞きしたいと思っています。

現在の陸上競技部は、約 40 名の部員を有し、関東大会に出場するなど、先輩たちの築き上げた伝統を守りながら日々活動しています。放課後になると「さあー行こう！おうー」のかけ声が校長室の前のグランドから聞こえてきます。「蕨高陸上競技部」としての「蕨高魂」というものも存在し、現役生に連綿と受け継がれているものと思います。蕨高陸上競技部がこれからも「陸上競技部の蕨高魂」のバトンをつないで蕨高校とともに歩んでくれることを期待してあいさつとします。

創立 60 周年を祝して

蕨市教育委員会教育長　松　本　隆　男

埼玉県立蕨高等学校陸上競技部が創立 60 周年を迎えられ、ここに「60 周年記念誌」を発行されますことは、誠に意義深く、心からお祝い申し上げます。

貴校は昭和 32 年 4 月、地域の方々の熱い期待を担って、蕨町設立の埼玉県蕨高等学校として開校し、昭和 34 年 4 月に埼玉県に移管され、埼玉県立蕨高等学校となりました。その後、『文武両道の進学校』として、貴陸上競技部も素晴らしい活躍をされました。これも歴代の顧問の先生をはじめ、関係者の皆様のご熱意と献身的なご努力の賜物と改めて永年にわたる御苦労に対しまして、心から敬意と謝意を表す次第であります。

さて、平成 28 年度はリオオリンピック･パラリンピックが開催され、スポーツ界に国民の関心が集まることが多かった年のように感じます。様々な種目で日本選手の活躍が報じられておりました。そういった中、陸上競技では男子 4×100m リレーにおいて、日本チームが見事銀メダルを獲得し、37 秒 60 で日本新記録と共にアジア新記録を樹立いたしました。このことは記憶に新しいばかりでなく、日本の陸上競技界にとっても、大変明るいニュースであり、陸上競技にたずさわり、陸上競技に関心の高い皆様の、記憶に強く焼き付いたのではないでしょうか。

貴陸上競技部におかれましては、創立 60 周年というこの歴史ある機会を捉え、今後現役在校生のみならず、OB・OG 会員の中から 2020 年東京オリンピック･パラリンピックに選手として出場し、活躍されることを願っております。

結びにあたり、本 60 周年記念誌作成にあたり、ご尽力いただきました関係各位に深く敬意を申し上げるとともに、卒業後も強い絆で結ばれております OB･OG 会の益々のご発展、並びに本記念冊子が、手にした方々にとって価値あるものになることをご祈念し、祝辞といたします。

喜　寿

名誉会長　西　村　暢　二

このたび創部 60 年を迎え、記念誌を発刊されるとのこと、誠に意義深く心よりお祝い申し上げます。

私は昭和 37 年から 18 年間お世話になりました。期で見てみますと、4 期生から 23 期生までの 20 学年で、お一人お一人への思い出は尽きません。教員生活は 38 年でしたが、後半の 14 年間は部活動の顧問は出来ませんでしたので、直接生徒に指導できた顧問としては、8 割は蕨高校で過ごさせていただきましたし、当時の OB, OG とは、現在も色々とご厚誼をいただいておりまして、感謝感激しております。

定年退職して 17 年目になり、今年喜寿を迎えました。関係者の方々から祝意をいただきました。何故年をとるのがおめでたいのかとも考えますが、この年まで生きられたことに感謝しております。77 歳の後期高齢者ですので、身体のあちらこちらが痛んできておりますが、元気に過ごしております。

蕨高校で陸上競技を指導できたことで、埼玉陸協での関わりも多くさせていただきました。ここ 10 年位の間に、国体、インターハイ、日本選手権、全日本実業団、日本学生選手権等全国規模の大会が埼玉県で開催され、立場上相応に対応させていただきました。いずれの大会も上訴に挙がるような案件もなく成功裏に終了出来たことを大変喜んでおります。

競技力においても、リオデジャネイロのオリンピックには本県関係者（登録者、出身者）が 12 名出場し、メダリストも誕生し本県陸上界は意気盛んであります。

最近は大学や中学高校の同窓会や同期会が多くなりました。そうした中でも、蕨高陸上部の OBOG の方々との集いは大きな楽しみです。健康管理に留意して、米寿まで過ごせるようにしようと考えております。

蕨高校陸上競技部のますますの活躍と、OBOG の皆さんのご多幸、ご健勝をご祈念し、まとまりませんが祝辞といたします。

埼玉県立蕨高等学校陸上競技部 OB・OG 会祝辞

名誉会長　神　保　国　男

埼玉県立蕨高等学校陸上競技部創立 60 周年誠におめでとうございます。

私は 2 期生ですが、入学した時は町立蕨高校でした。校舎は古い木造の建物で、グラウンドはなく、近くの兼松羊毛という会社のグラウンドを借りての練習でした。その後県立高校に移管され、新校舎とグラウンドもできました。ただグラウンドは石ころだらけで、石拾いをしてからの練習でした。私は短距離、走り幅跳び、走リ高跳び、三段跳びをやっていました。走り幅跳びで関東大会出場が決まりましたが、砂場がなぐ急遽砂を買ってもらったことは懐かしい記憶です。私の 2 期後輩に、全国中学校大会 100 メートルハードル新記録で優勝した岡田巧さんが入部してきました。岡田さんと私の 2 人で県大会総合上位の成績をあげたこともありました。私の卒業後、西村先生が顧問に就任し、先生の厳しくそして人間性溢れるご指導により蕨高陸上部はめきめき力をつけ活躍するようになりました。

現在、男女ともに多数の部員がそれぞれの種目でがんばっていることは、とても誇らしく思うと同時に、自身の青春時代を思い起こします。私は中学、高校、大学で陸上部に所属し、毎日グラウンドで走ったり跳んだりの生活をしていました。こうして現在も元気で忙しく仕事に励んでいられるのも、陸上競技を続けていたからに違いないと思っています。現役の皆さんはより高成績を目指して日々練習に汗を流しておりますが、大いに期待するとともに、仮に成績が上がらなくとも間違いなく心身は鍛えられます。そしていい仲間ができます。先日思わぬところで「蕨高陸上部出身です」と声をかけられとても嬉しくなりました。OB・OG 会は小沼会長にご苦労をおかけしていますが、これからも会の発展と現役支援をよろしくお願いいたします。2020 年東京オリンピック・パラリンピックに我が母校からの出場選手輩出を切望し、祝辞といたします。

部創立 60 周年を祝して(懐古と共に)

前会長　塩　田　征　夫(4 期)

蕨高等学校陸上競技部が輝かしい歴史と伝統のもとに、幾多の実績を残して、創部 60 年の節目を迎えられました事を心からお祝いを申し上げます。

私が蕨高校に入学したのが昭和 36 年 4 月。蕨町立高校から埼玉県立に変わった年でした。校舎 1 棟と体育館だけでした。3 年生の時に 2 棟なったのを覚えてます。

運動部の経験の無い小生でしたが、自宅近くの陸上部の先輩に勧誘されて入部しました。

3 年生 5 人、2 年生 4 人、1 年は、岡田巧(中学全国通信陸上、ハードル全国 1 位)と小生 2 人、部員は全員で 11 名でした。

体育館横の水道で、岡田と話しをしている時に「職員室は何処ですか」と尋ねてきたのが、新任教諭。その後、多くの優秀な選手を育ててきた西村先生です。入学当時は、今では想像もつかないと思いますが、グランドは草丈 20 センチ、大小の石だらけ。部員全員でグランド整備を続けたのが思い出として甦ります。

その後、蕨高校陸上部 OB 会が発足し、神保会長の戸田市長就任を機に、西村、小沼、斉藤、松山各顧問の期間、会長職を勤めさせていただき、今年度、小沼会長にバトンを渡しました。

蕨高校を卒業して、54 年が過ぎました。原稿依頼を受け、高校生活、陸上部での懐かしい思いでが脳裏を巡ります。創部 60 年という節目を迎えますが、700 名程の OB 会員数になりました。その年、その年の部員仲間、先輩、後輩、陸上部顧問の努力･活動が歴史となり、現在があります。

十年後、二十年後、時代は重ねられますが、蕨高等学校陸上部員が大いなる活躍を続け、更なる発展を遂げる事を、ご祈念致しております。

祝辞

旧顧問　斉藤　浩一（１４期）

埼玉県立蕨高等学校陸上競技部創部 60 周年を記念して、このたび OBOG 会より記念誌が発刊されますこと、誠におめでとうございます。陸上王国埼玉の中にあって歴史と伝統のある蕨高校陸上部の、その歴史や歴代記録、OBOG 各期からの現役当時の活動状況や思い出、・エピソード等がまとめられ、また、現役からは部活動に対する熱い思いが語られるなど、刊行に携わられた事務局の皆様のご苦労は如何ばかりかとご推察申し上げます。

さて、私の顧問在任期間は,平成 3 年 4 月から平成 16 年 3 月までの 13 年間でありましたが、40 周年に当たる平成 8 年から 9 年にかけて OBOG の会員名簿と記録だけはまとめさせていただきました。その中で一番苦労したと言いますか時間と手間がかかったのが住所等の確認でしたが、マネージャーにも手伝ってもらいながら電話をかけまくっていく中で、「うちの代は自分が確認してまとめて送るよ」と行ってくださった先輩もおられ、大変ありがたかったことを覚えております。また、OB 会や有志の会が開かれるたびに、先輩諸氏の近況や陸上競技に対する思いなどを伺うことができたり、多く方からのアドバイスやご支援もいただき、貴重かつ有意義な時間を過ごさせていただきました。

昨年 4 月に山田先生が顧問に就任され、伝統の御宿合宿も復活するなど、日々部活指導に熱心に取り組んでおられますので、必ずや一時代を築き上げてくれるものと確信しております。

最後になりましたが、OBOG 会の今後のますますのご発展と陸上競技部のさらなるご活躍をご祈念申し上げ、まとまりませんが祝辞とさせていただきます。

（冬季御宿合宿・右端が斉藤浩一先生）

蕨高校陸上競技部創部 60 周年おめでとうございます。

前顧問　松　山　治　彦

平成 16 年 4 月より平成 27 年 3 月定年退職までの 11 年間、蕨高校陸上競技部顧問として指導いたしました。その間、6 年間、県高体連陸上競技専門部委員長を務め、埼玉インターハイ準備、開催のため、1 年半熊谷市役所に出向しましたが、教員生活の中で最も濃い 11 年間でありました。毎年のように関東大会、インターハイに生徒を出場させることができ、女子走幅跳では淺野さんが奈良インターハイ 4 位、高橋さんが東京国体少年 B で 4 位と全国レベルの選手となりました。他にも多くの部員が県大会、関東大会で入賞しました。その中で 7、8 位という成績を取り、悔し涙で暮れた部員も忘れられなく、私自身も悔しさで涙したこともありました。選手の周りにはいつも仲間が支えていたことも忘れられません。

卒業後も大学、社会人になっても陸上競技を続ける卒業生も出てきたことは顧問として少しは陸上競技の楽しさを伝えることができたかなと思います。走幅跳をやっていた私の記録を追いかけてきた中島君は、先日 7m85 という素晴らしい記録を跳躍しました。彼が目標としてくれ、その目標を達成したことも喜びの一つです。私の退職の際は、赴任以来の各学年の OB.OG が集まってくれ、参加者 120 名を超え盛大に退職祝いをしてくれたことは一生の思い出となりました。何よりも多くの教え子と過ごした時間は私にとっては生涯の宝です。また、埼玉インターハイの準備の頃より式田浩之先生が、顧問としていつもサポートしてくださったこと大変感謝いたしております。在職中関わっていただいた多くの先生方、部員そして卒業生のみなさんに感謝を申し上げるとともに、蕨高校陸上競技部が益々活躍、発展することをお祈りいたします。

顧問あいさつ

顧問　山　田　俊　路(27 期)

入学間もないある日のこと、Ｂ棟３Ｆのベランダ廊下で同じ中学校出身の浅見君と談笑中、同じクラスだった末田君と森田君に声をかけられ、行った先で当時３年生の鴨志田先輩と握手をしたその瞬間から、私の蕨高校陸上競技部員としての生活が始まりました。ここでのさまざまな出来事や経験が、その後の私の人生に大きく影響を与えたことは言うまでもありません。しかし、今こうして教員となり陸上競技にたずさわるようになること、ましてや蕨高校陸上競技部の顧問になることは、当時の私には全くもって知る由もありませんでした。

雲の上の存在である諸先輩方・３年間お互いに切磋琢磨し苦楽をともにした同級生・精鋭ぞろいの後輩たち、そして数多くの部員たちをご指導されてこられた恩師である小沼先生をはじめとする歴代の偉大な顧問の先生方や、そのようなたくさんの人たちが築き上げてきた歴史・伝統・計り知れない思いを、このたび引き継ぐことになりました。教員になり蕨高校定時制に勤務していた時に、当時顧問をされていた齋藤先生のお手伝いを少しばかりさせていただいたことがありましたが、こうして今この立場に立って改めて、とても光栄なことであると同時に非常に重い責任を感じています。

現在、部員は 58 期生 13 名・59 期生 15 名・60 期生 12 名の合計 40 名が在籍しています。人数は一頃よりだいぶ減りましたし、学校を取り巻く環境は練習環境を含めて、昔と比べてずいぶんと様変わりしました。その中で部員たちは、多くの先輩方が汗水を流したあのグランドでの毎日の練習はもちろん、夏の岩原・冬の御宿での合宿をとおして、“チーム蕨”として自己記録更新と上位大会出場を目指して努力を重ねています。その部員たちの真摯な姿勢は、昔と何ら変わりないと思います。

私は顧問として、そんな部員たち一人一人の目標達成のための手助けをしていきたいと思います。また、かつての私が、そして多くの OB・OG の方々がそうであったように、陸上競技部での活動や競技そのものはもちろん、それに携わる人たちとの関わりをとおして経験するさまざまなことの中から、多くのことを学んでたくましく成長できるように、部員たちと毎日一緒に精一杯やっていきたいと思います。

終わりに、この記念誌作成にあたりご尽力いただいたたくさんの OB･OG の方々に、この場を借りて厚くお礼を申し上げます。現部員たちも未来の部員たちも、この記念誌から感じる“蕨高魂”を“かぎりなく湧き立つ力”として永遠に受け継ぐ後輩となることでしょう。どうかこれから先も引き続きずっと末永く、温かく見守っていただけたら嬉しく思います。今後とも蕨高校陸上競技部をよろしくお願いいたします。

男子陸上部の現状

59 期男子部長　米　村　拓　真

現在男子陸上部は、2 年生 6 名、1 年生 6 名、計 12 名が所属しています。しかし、この 12 名という少ない人数の中、短距離 10 名、長距離 2 名と長距離が非常に少ないのが現状です。

新チームになって初めての大きな大会となった新人戦では、個人でも 6 名が県大会出場権を獲得しました。9 月 30 日から 10 月 2 日に熊谷で行われた県大会は、400m と 4×400m リレーで準決勝進出を果たしました。

しかし、誰 1 人として決勝進出、関東選抜出場権獲得とはなりませんでした。今回の新人戦では、まだまだ個人として、チームとして力不足であると感じました。それと同時に、県大会で 4×400m リレーの準決勝進出は、やや遠ざかっていたので、山田先生の目指す「リレーと駅伝の強いチーム」に少しずつではありますが、着々と近づいているのではないかと思いました。

11 月 1 日に行われた、全国高校駅伝埼玉県予選会では、人数不足により、南部地区混成チームとしての出場となりました。駅伝を強くしていくためには、人数を増やしていくことは必要不可欠です。来年以降、しっかりと戦っていけるような人員を増やしていくことにも務めたいです。

今の男子陸上部は、発展途上であると思っています。今回の新人戦や駅伝を通して、選手一人ひとりが改めて自分の目標を再確認し、それに向けて動き始めました。リレーと駅伝が主軸と成り、それに引き続いて個人種目でも結果を残せるチームと成り、これからも「チーム蕨」として強くなっていきたいです。

平成 28 年学校総合体育大会埼玉県予選会　58，59，60 期集合写真

女子陸上部の現状

59 期女子部長　関　根　光　沙

私たち、蕨高校女子陸上部は現在 2 年生(59 期)9 人、1 年生(60 期)6 人の計 15 人で男子陸上部とともに活動しています。男子は計 12 人、あわせても 27 人という少人数ですが、みんなで切磋琢磨し合い、日々の練習に取り組んでいます。

先輩、後輩関係なく、とても仲がよく、仲がよいからこそ辛いメニューでも声を掛け合い乗り越えられているのだと感じます。また、選手が部活動をスムーズに行える用意や、大会の結果を細かく分析できるように、部活動の準備やタイム計測、ビデオ撮影をしてくれているマネージャーには、感謝の気持ちでいっぱいです。放課後は毎日学校のグラウンドで、土曜日は戸田スポーツセンターまたは青木公園陸上競技場で練習をしています。そんな恵まれた環境で今、蕨高校陸上部は活動ができています。

夏場は新潟の岩原で合宿を行い、他校の生徒と競い合いながら、4 泊 5 日を過ごします。冬場は千葉の岩和田海岸へ行き、砂浜や階段、サンドスキー場で合宿を行っています。

59 期、60 期の代になりはじめての公式戦、 9 月に行われた新人戦では、多くの選手が県大会へと進むことができました。トラック、フィールドあわせ、計 9 種目で県大会に出場しましたが、関東大会へ進むことはできませんでした。秋の記録会などを終えた今、全員が冬季練習への強い気持ちを持っていると思います。

来年の学総では、ひとりでも多く県大会、関東大会、インターハイへと進み活躍できるよう、目標を明確にし、強い気持ちで戦います。OB、OG の先輩方が繋いできてくださった強い蕨高校陸上部の伝統を引き継いでいきます。

平成 28 年学校総合体育大会埼玉県予選会　女子 800m 田中晴菜が 3 位となる

蕨高陸上部の思い出

４期　岡　田　巧

私は中学一年の時に陸上を始めました。朝学校が始まる前の一時間、部活が終わってからボートコース一周、人一倍練習を積んで、三年生の時(故中田敏彦先生)の指導の下、NHK 全国中学校放送陸上競技大会で１１０ｍH で全国優勝することができました。そして蕨高に入学と同時に、神保国男先輩(蕨高初代陸上部 OB 会長、戸田市長)のいる陸上部に入部しました。当時、校舎は真新しく、校庭は残土・砂利置き場のようで練習は主に、農道での練習でした。高一の時、県体に三年生で陸上部主将をしていた神保先輩が１００ｍ、走り幅跳び、私が１１０ｍH、２００ｍH に出場し、二人でそれぞれ入賞し、戸田中からの憧れの先輩と二人で、総合得点で蕨高が３位になり感激したことを覚えています。

そして高二の時、蕨高運動部から初めてインターハイ１１０ｍH に出場することができ、静岡県の草薙競技場に、故長島先生と二人で行き、準決勝四位でした。

高三の時、西村先生が埼玉大学を卒業し、蕨高の体育の先生に着任され、学生時代に中長距離の選手で、箱根駅伝出場経験のある方で、部員の面倒見のよい、優しい先生でした。先生は後に、陸協の各役職及び各高等学校の校長を歴任し、名誉ある秩父宮賞を受賞されました。

私は、二回目のインターハイ出場のため、西村先生と大分県別府に二人で行きました。当時新幹線は無く、夜行寝台列車で一日半以上かけての長旅でした。決勝で失敗し７位１５秒７でした。

また、埼玉県で陸上種目別各優勝者だけの埼玉陸協の強化合宿が、大宮陸上競技場(現在の大宮競輪場)で行われ、宿舎は競輪場のすぐ隣の旅館でした。東京オリンピックのマラソンで銀メダルを獲得した円谷幸吉選手とは合宿中布団が隣でした。彼は口数が少なく、まじめで非常に几帳面な人でした。懐かしい思い出です。

そして、最初からビリを覚悟の上で臨んだレースをしたことがあります。立川競技場で開催された四大陸陸上選手権です。外国からの招待選手三人。全日本実業団トップの大串選手、大学で全日本トップの中央大学の油井選手、陸連より指名された高校生の私、計 6 名での一発勝負。当然ビリ、一般のハードルは高く、試合で初めて跳び、最後まで倒さずに跳べたことだけが喜びでした。

また、関東大会、インターハイと女子８０ｍH の選手であった、二階堂高校の樋口久子選手と会うたびにいろいろ会話しました。「私は高校卒業したら女子プロゴルファーを目指す」と言っていました。後にプロゴルファーに成り、日本・アメリカで数々の大会で優勝し、輝かしい記録を残し、樋口久子、日本女子プロゴルフ協会会長までした彼女・・・。

そして、各大会が終わった頃に、西村先生より各大学から推薦状六通が渡され、私

は文科系の大学で陸上をしようと思っていましたが、夕食の時、父(明治生まれ)は、封筒の中身も見ずに全部まとめて破りながら、「大学は推薦では無く自分の頭の力で理工科に行け」の一言で陸上競技をすることを断念しました。推薦ではない理工系の大学に進み、大学二年生の時、陸連より連絡があり、東京のオリンピックの聖火ランナーをしました。東京オリンピックに、何人か知っている選手がテレビに映る姿をうらやましく思いました。

現在、７２歳、趣味はゴルフ、和竿作り、バイク（ハーレーその他八台所有）高一の時、親にバイクを買ってもらい、蕨高にはよくバイクで通っていました。

中学生からの夢、日本をバイクで一周すること。アメリカ大陸をハーレーで横断すること、ロスから一部ルート６６を走りニューヨークまでなど、６０歳で自己退職し、夢を実現しました。その後いろいろな国を走破しました。最近は相撲が好きなのでモンゴルを走ってきました。あの強い横綱白鵬の実家を見に、その他二千キロ走破、モンゴルの力士がなぜ多く日本に来るのかわかりました。現在毎日楽しく過ごせるのも青春時代蕨高で陸上をしていたからと感謝しております。

在校生、若い方々、人並みはダメ。希望、夢を常に持ち、計画を持って人一倍努力することを望みます。希望と夢は必ず実現します。

「健康一番」「人生は全てリズムだ」が私のモットーです。

（６、７，８期生）

＜　高校時代の記憶をたどって ＞

第７期生　天　野　和　則

卒業後、今年で 51 年になります。執筆依頼後、過去のタイムカプセルを開ける様な思いで僅かに残っていた昭和 38 年からの競技日誌や西村先生からの、当時の印刷物を紐解きました。自分が 1 年生当時の部員名簿によると、昭和 38 年 4 月 25 日現在 1 年生は男 18 女 11 で 2 年生は男 7 女 5、3 年生は男 3 女 3 の合計 47 人でした。低学年ほど部員数が増加しており、その後もこの傾向が続いて有望選手を多数輩出し、蕨高校陸上競技部の繁栄の礎となった体制作りであったことは実績が示しております。

また、別プリントの**≪冬期練習案≫**によると **1.モットー**(1)基礎体力、基礎能力の育成(2)根性(持っている技術の全てを発揮出来る心構え)の養成(3)弱点の矯正(4)多角的な練習を行う、**2.総合練習計画 3.早朝練習**。その練習内容については、男女別、班別に具体的練習案が細かく記載されており、若かった先生が素人ばかりの部員や陸上競技部を如何にして強くするかについてのご苦労を改めて感じた次第です。この最後に**『強くなる為に』**と題して、試合に勝つ事が与えられた最高の目的ではない。しかし試合というものが存在し、それに参加するからには勝たねばなるまい。**「人に勝つには勝つ努力」**をしよう

北風吹きすさび、霜柱を踏んで粉雪の降る時もグランドで頑張ってみる。今日を如何に生きるかによってさまざまな明日が生まれる。

様々な明日のうち最も輝ける日がその日でありたい”と生き方の指針のようなお言葉で締め括っておられます。69 歳になった今日、社会に出てからの自分を振返ってみると、高校時代の陸上競技部での先生や諸先輩方の色々な教えを教訓として会社人生を送ったことが、幾つかの荒波はあったものの今年会社生活を無事卒業することが出来たものと思っております。最後に、在校生の皆様には、学力向上は重要ですが陸上競技部の活動を通じて培った体力と精神力に加え、挨拶、礼儀、上下関係等々も社会に出てから非常に重要で役立つことを申し添えます。蕨高校陸上競技部並びに OB 会の益々の発展を祈念致します。

思いつくままに

８期　佐　藤　博

蕨高校在学は昭和３９年から４２年、東京オリンピックの年に入学し、最初の埼玉国体の年に卒業､以来４０年が過ぎ､僅かに残っている記憶を頼りに思いだしてみた。

『蕨駅』当時は木造、東口はタクシー会社と僅かな商店があるだけで閑散としていた。鳩ケ谷からバス通学、連絡通路がなく踏切を利用していた。朝は遅刻との戦いで入場券を買って西口に移動した。

『学校裏』ほぼ田圃で見通しがよく農家が点在するだけで南浦和駅まで見渡せた。冬季練習ではよく野外走をした場所、寒風の中、西村先生の焚火を横目に必死に走った記憶を思い出す。

『ゴザ』(藁で編んだ捲れ上がったムシロ)今は競技会のベンチは立派なテントや敷物がありますが、当時は粗末な物で大宮競技場まではジャンケンで負けた一年生が持っていく係、電車の中、１６才の青春真っ只中、すごく気恥ずかし記憶が残る。

『朝練』在学途中私は、港区芝白金三光町に引越し、真っ暗な中、品川駅まで都電に乗り継ぎ登校。そんな中キャプテンになり最初の朝練に遅刻し大反省をしたことを覚えている。また、朝からサーキット、これには閉口、授業中は疲れと寝不足で戦う。

『練習メニュー』私は西村先生が書かれた(スケジュール)を日誌貼付け感想を書き残している。三十年記念誌の時と同様今回も取出し捲ってみた。遠い昔の懐かしさが込上げてくる。

『針ヶ谷』埼玉大学グラウンド、北浦和より徒歩１５分、西村先生がやけに張り切るところ。学校では３００ｍのトラック、ここは４００ｍ、なぜか凄く長く感じこの上ない苦しみを味わう。「地獄針ヶ谷」と言っていた。

『合宿』教室の机を並べその上に畳を敷く、各自布団と米を持参、三食を部員で調理した。調理当番が回ってくると練習カットとなりなぜか嬉しかった。

『同期』皆さんお元気でしょうか。時の流れの早さを感じます。またお会いできることを楽しみにしています。残念ながら、尾梶博、飯田孝司の二人が他界した。謹んで哀悼の意を表します。

『長島先生』生徒部長で厳しさとともに大変に心の優しい先生でした。あの独特なスタイルが目に焼き付きます。

『西村先生』＝(尊敬)私も都立高校の教員として四十年間勤めてきましたが、教師として、また人生の師として尊敬しております。健康には十分注意され、ご自愛ください。

思い出話は尽きませんが、皆様にお会いした際は懐かしく語りたいものです。

最後に顧問の山田先生はじめ、蕨高校陸上競技部がさらに発展されることを心から応援したいと思います。

思い出

９期　島　田　茂　夫

蕨高校陸上競技部創部六十周年おめでとうございます。

時の流れの速さにあらためて驚く今日、この頃ですが、約５０年前にタイムスリップします。

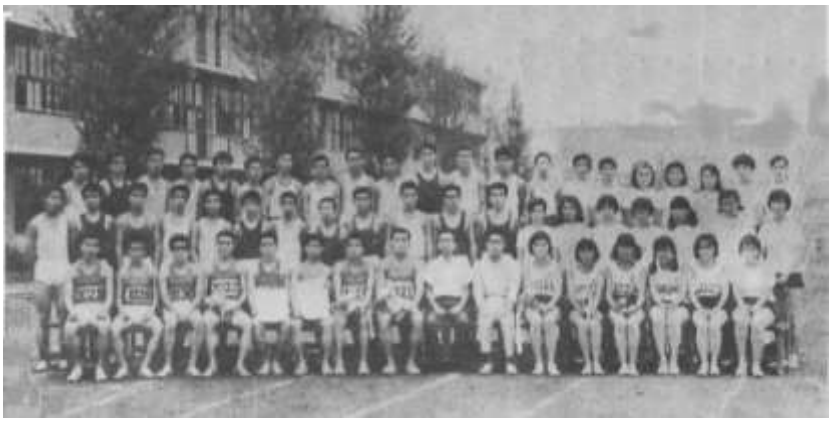
私と陸上競技の出会いは、中学３年野球部所属の時、市内対抗駅伝大会（中学３校）で部員不足のために、ウォーミングアップも分からず駆り出されたのが最初でした。このような状況でしたから入学当初、陸上競技部の充実した練習は驚きに近かったです。インターバル、レペテション等、言葉を保健体育で知っているだけで何も理解できていなかったからです。

そんな私でも、西村先生の厳しいスケジュールと温かい御指導、先輩、同級生、後輩の頑張るお蔭で３年学徒では８００ｍ大会新、しかし肝心の埼玉国体では候補選手になりながら出場できず、西村先生初め、同僚の大塚さん（国体 100ｍで優勝）等には失望させてしまいました。この原因は日々の練習・試合での反省不足に終わっていたことで隙ができていて、勝負での負けた悔しさを持続・改善されなかった事、勝負において悔しさの持続・改善はとても大切な事です。（本人競技を終えてから気付く）その後は気が抜けてしまいましたが、蕨高校名物強歩大会、飯能高校までの 48ｋｍを途中白バイの先導で、他の部員には負けられないとガムシャラに走った事で、いくらか気分が和らいだことを思い出しました。

最後に縁あって蕨高校陸上競技部と関わる事になった現役の皆さんは、是非、苦しい練習に打ち克って途中で挫折することなく、西村イズム（人に勝つには勝つ努力）をやり通してください。たった３年間やる事ですが目標を持ち、目標に向かって努力をする事で多くの先生、多くのかけがえのない仲間を得、多くのチャンスをつかむ機会を得られる事と信じます。

その結果として、その先の生き方に大きな礎となることは、間違いのない事と思います。

蕨高校陸上競技部が今後益々御活躍されることを心より御祈念申し上げます。



（９、１０，１１期生）

蕨高校陸上部への恩返し

９期　清　水　宏一郎(旧誠一)

蕨高校陸上部創立６０年を迎えましたことに心からお慶び申し上げます。

私は昭和４０年に北本町(現在の北本市)から蕨高校に９期生として入学し、当初野球をやるつもりでしたが、中学の２年先輩である小林先輩から声をかけられ、心強く思い入部しました。蕨高校陸上部に入部すると、北足立郡の野球の試合で戦った加納中の大塚敬一君と吹上中の福田伸一郎君と一緒になったことは何かの巡り合わせというか心強くなりました。私は３年間陸上をやって実績も記録もあげられませんでしたが、高校３年の時（昭和４２年）埼玉国体が開催され、同級生の大塚敬一君が少年 100m で優勝されたことは同級生の誇りでありました。私自身 3 年間陸上競技に明け暮れた毎日でよく続けてこられたものと感心しております。3 年間やってきたことでいろいろな仲間と知り合うことができましたことは、今の私の貴重な財産となっており、毎年同級生とは年に 4 回くらいおつきあいをさせていただいております。陸上部での 3 年間は先輩、同僚、後輩という組織という中で人間関係を形成でき、社会に出て大いに役立ちました。特に、公務員生活を 38 年間続けることができましたことは、3 年間の蕨高校陸上部で培われたものだと確信しております。

高校卒業後は、蕨高校陸上部の活躍を楽しみに陸上観戦をしながら過ごしておりましたが、公務員生活を残り少なくなってくる中で、定年後も続けてできるものは無いかと考えていたときに、平成 16 年に 2 回目の国体が埼玉で開催されることを知り、何か恩返しができないかと思い、平成 14 年に埼玉陸上競技協会に審判登録し、審判活動を始めました。2 年間の審判を経験し、埼玉国体では「監察員」としてお手伝いをさせていただき大きな自信となりました。

師である西村先生が埼玉陸上競技協会の役職についておられた時期で、その後会長に就任されたこともあり、お役に立てないかということで、審判として下支えさせていただいております。

埼玉国体後、平成 20 年には第 61 回インターハイ、平成 23 年日本選手権、平成 25 年全日本実業団、平成 26 年関東インカレ、日本インカレ、平成 28 年にも 2 回目の日本インカレと重要な大会の審判を経験させていただき私の審判活動に大きな自信と経験をさせていただき感謝に堪えません。

今後も健康でいられる限り、審判として埼玉陸上競技発展のために尽力して参りたいと考えております。

最後に、在校生の皆さんには一生懸命練習を重ね、悔いのない陸上生活を送ってください。

蕨高校陸上部の今後ますます、ご活躍されることをご期待申し上げ創立 60 年へのお祝いの言葉とさせていただきます。

蕨高陸上競技部 60 周年に寄せて

１０期　加　藤　哲　夫

蕨高校陸上競技部 60 周年、おめでとうございます。

10 期生は、今からちょうど半世紀前の 1966 年（昭和 41 年）4 月から 1969 年（昭和 44 年）3 月までの 3 年間、蕨高校にお世話になりました。10 期の陸上部員は、最も多いときで男子 18 名・女子 11 名の計 29 名が在籍していました。

２時間目の授業が終わると部室で弁当を食べたり、合宿では、教室の机を寄せて畳を敷いて寝たり、当番で 50 人分以上の食事を作ったり、中には、体育館の教務室で先生の仕事を手伝ったりと、今となっては懐かしい思い出です。

当時の学校周辺の風景は、正門を出て数軒の民家を過ぎると一面のたんぼが広がり、たんぼの先には浦和実業高校の校舎と陸橋が見えました。たんぼの東側には、鉄道車両を製造していた日本車両の工場があったと記憶しています。グランドには、今でもあるのでしょうか、隣のパン粉工場からの強烈な匂いが漂っていました。

最近、たまたま通りかかりましたら、日本車両があったところは大きな団地が立ち、たんぼだったところは住宅街で、まさに「浦島太郎」になった気分でした。

多くの部員は、記録は伸びなくても最後までがんばろうという気持ちでいたのだろうと思います。人生の折り返しをとうに過ぎて思い起こせば、３年間の陸上競技生活の中で養われたのは、「辛くても諦めない」という精神だったのかもしれません。

10 期の仲間たちは、40 代前半の頃、一度同期会を開催したのがきっかけで、毎年１回同期会を開催するようになり、何と 22 年も続いています。今では、当時顧問をされていた西村先生や途中で退部した方も参加し、常時 20 人前後が集まっています。

西村先生を囲んで、１０期生の皆さん

流れの今に

１１期　須　藤　洋　子

蕨高等学校陸上競技部創設六十周年心からお慶び申し上げます。

私は、昭和４２年から４４年まで在籍しました。

１年生の時の県南大会・学徒大会・埼玉県選手権大会は、大宮の競輪場兼陸上競技場が会場で、シンダーのトラックでした。埼玉選手権では東京オリンピックマラソン三位の円谷幸吉選手の最後を走る姿を見たのが、今でも強く印象に残っています。

学徒大会で短距離種目の五種目を制覇され、その秋の埼玉国体では、１００ｍで優勝された大塚敬一先輩の大活躍は、蕨高校で陸上競技ができることの喜びを、感じさせていただくものでした。アンツーカの上尾陸上競技場が、一巡目の埼玉国体でした。

２年生になり五種競技で関東大会・関東選手権大会・広島のインターハイを経験させていただき、秋の福井国体ではリレーのスタートを任され六位入賞を果たすことができました。また、メキシコオリンピックでフォスベリーが始めた背面跳びを披露したのもこの年で思い出深い１年となりました。

３年生では、上尾が関東大会の会場で、五種競技では、初めて女子種目となった１００ｍＨ、と使い分けて出場しました。前橋のインターハイは、五種競技に出場し、８０ｍＨでした。五種目中三種目の自己新記録で締めくくりましたが、今は幻の五種競技です。

今、６５歳の私ですが、振り返ると、西村先生・故長島先生に温かくご指導いただき、同級生・先輩・後輩に支えられた三年間であったことに深く感謝いたします。小学校・中学校の教諭を経て現在、行政相談委員・家事調停委員・参与員の仕事をしていますが、出会った人を大切に物事に真摯に向き合い、「流れの今に徹する」ことで、一度しかない人生を締めくくれたらよいと考えています。

（９期～１１期の女子部員、右端に西村先生）

60 期生の君たちへ

１３期　大　野　隆　司

入学おめでとう。そしてようこそ陸上競技部へ

６０周年を迎える年に入部した君たちに、心より歓迎の言葉を送りたいと思います。1947 年蕨高等学校の創立と同時に創部。それからいろいろな時代の先輩や先生の努力で連綿と引き継がれ今日の６０期生を迎えるはこびとなりました。その時代時代の部員、顧問の先生、支えていただいたご家族、ＯＢＯＧの皆様に感謝いたします。ちなみに創部の年に生まれた子が小学校に上がった時に昭和の東京オリンピックが開催され､君たちがＯＢＯＧとなった年に新しい東京オリンピックを迎えることとなります。

さて私の陸上部の思い出ですが、１３期ということで今より４７年前、約半世紀も昔のことになります。今ではすっかり様変わりしてしまっていますが、当時は屋外走で外に出ると１７号線を越えるとすぐに畑が広がりまだまだのどかな時代でした。

なぜか良く覚えているのは、入学した年の夏合宿のことです。夏の盛りで暑い中、先輩に練習でなかなかついていけず苦しかったはずなのですが、そういうことはあまり覚えていません。1 学期の最終日に始まり学校の教室に寝泊まりしていました。家から米を持ち寄って新入生が交代で食事作りの当番をしました。当番の日は１時間ほど早めに練習を切り上げ、先輩の「いいなー」の声に送られて家庭科の実習室に向かいます。それまでに料理を作ったことはありましたが、５０人もの量は経験ありません。私はオムレツを作ったのですが、玉ねぎを刻んだり卵を割るのも大仕事です。すっかり片手で卵が割れるようになりました。なかでも印象に残っているのは毎食事ピーマンが入っていたことです。大好きな先輩がいたせいでした。その先輩に指示され大わらわで食事のしたくをしたのは楽しい思い出です。

君たちもこれから 3 年間高校生活を、陸上競技という部活を行いながら過ごしていくことになります。もっと自由な時間がほしいとか、もっと遊びたいと思うこともあるでしょう。でも後から振り返れば、必ず楽しい思い出に恵まれ、充実した時間を送れたことに感謝の念を抱くことでしょう。私と同じように

13 期生(卒業アルバム)

≪合宿の思い出≫

１７期　落　合　優

今回の６０周年記念誌に、寄稿させていただく機会を頂きましたことに深く感謝申し上げます。

私が在学していた昭和４８年から５０年の期間、関東大会や、インターハイ、国民体育大会等に出場する機会に恵まれました。その裏付けとなったのが、日頃の練習や、他校との合同練習、また千葉県の御宿や校内で行われた合宿にあったと思います。

他校との合同練習では、岩槻商業高校や武南高校等と行った思い出があります。特に印象に残っているのは、春日部女子高校の砂地での走り込みと、千葉県御宿海岸での砂山登りです。御宿の合宿には、卒業された小沼先輩、松本先輩、引間先輩、齋藤先輩等が同行され、ストップウオッチを持った厳しい顔で砂山の頂上で待ち構え、規定タイムで登りきるよう、大きな声で励ましてくれました。しかし、タイムオーバーになってしまうと、再度挑戦するよう叱咤激励されました。当時「ケツ割れ」と言われた、大臀筋のけいれんに襲われたものでした。また、夜に見た御宿の星空は、今でも忘れられない美しさでした。

校内での合宿は、当時あったプール下の空間や、教室に宿泊し、調理室で家庭科部の女子生徒に食事を作ってもらったものです。学校のプールの下では、先輩をマッサージし、お礼の気持ちを表したこと、最終日には、怖い話を聞かされ、肝試しをしたことなどたくさんの思い出が心に残っております。

最後になりますが、今の自分があるのは、当時の顧問である西村先生の御指導の賜物と感じております。偉大な恩師、信頼できる先輩方、そして良き仲間達をもてたことは、私にとってかけがえのない財産になっています。本当にありがとうございました。更なる蕨高等学校陸上競技部の発展をお祈り申し上げます。

さいたま市立三室中学校校長

（17 期生）

恩返し

２０期　岸　正　子(旧姓山下)

蕨高校陸上生活をふりかえると、今でも三年間の思い出が色あせることなくよみがえり、輝き続けています。
個人的には、福島インターハイ・青森国体出場、１００m12"6 の自己新など貴重な経験と記録の更新は、今でも私の誇りと自信につながっています。また、日々の練習や合宿、特に御宿での合宿では、厳しい練習にも耐え抜く精神力と根性、目標に向けての努力とその大切さを学び、それが今の自分の強みであり信念となっています。さらには、偉大な OB の方々、頼れる先輩方、かわいい後輩たち、いつも励まし合って心の支えだった同期の仲間たちに囲まれ、その中で築き上げた絆が自分の競技生活の支えとなり、私を大きく成長させてくれました。そして何よりも顧問西村暢二先生のご指導のもと､3 年間(クラス担任もですが)過ごせたことは私にとって最高で幸せなことでした。卒業してからも、副部長鈴木佳子さんの呼びかけで西村先生を囲んでの同期会も多く、仲間との絆の深さや当時と変わらぬ西村先生の私たちへの優しさが嬉しくなります。さらに、気持ちはすっかり十代の頃に戻り、陸上部時代が懐かしく思い出されて初心にかえり､自分の励みにもなっています｡そんな気持ちを忘れたくなくて、今では毎年総会にも出席するようになりました。当日は、西村先生や多くの先輩方にお会いしてお話しさせていただける有意義な一日となっています。また、現役の皆さんのご活躍の報告を嬉しく思い、OB としての自覚もますます強くなりました。

今の私にできること、これからは OB の一人として陸上部の活躍とさらなる飛躍を応援し、今まで多くの方々に支えられ受け継がれてきた「蕨高魂」を現役のみなさんにエールとしておくり続けます。それが今の私にできる蕨高校陸上部への恩返しだと思っています。

（１９期、２０期女子部員　右端に西村先生）

努力

２１期　安　藤　尚　弘

陸上が強い学校だとは知らず入学し、気がつけば陸上部に入部していました。陸上の経験などなかったので、先輩についてひたすら走っていました。高校時代の自分を「努力の人」と評してくれた人がいます。顧問の西村先生の出すスケジュールをがんばってこなしていた気がします。体格面では劣っているため、努力しないことには勝つことができなかったのです。

1 年生の春合宿で 3 年生の先輩が「自分は一日も練習を休まなかった」という話をされて、自分も練習だけは休まないように努力をしました。幸い、けがや故障をすることもなく、3 年間(3 年生の 11 月の高校駅伝まで)休むことなく練習を続けることができました。関東大会やインターハイに出場すると言った大きな活躍はできませんでしたが、自分として 3 年間精一杯部活に取り組み、練習を続けられたことが一番大きな成果であったと思います。

現在は高校の教員として、自分の高校時代に部活動の指導を通して得たものを伝えることができる自分としては、やりがいのある仕事に就いています。陸上競技は努力した分だけ競技成績や大会の結果に直接現れるスポーツであり、自分のように高校時代に大きな成果を残せなくても、努力したことが将来生きてくることもあると思います。毎日、歯を食いしばって努力を積み重ねることによって得られるものがあります。

努力を続けることによって、見えてくるものが必ずあると思います。充実した高校生活を送れるよう、がんばってください。

昭和 52 年度埼玉県学徒大会総合優勝　上尾運動公園陸上競技場

競歩大会

２２期　若　倉　和　也

創部 60 周年、おめでとうございます。

私が卒業してから早くも 35 年が過ぎました。蕨高校時代の実績がきっかけとなり、今現在も実業団という形で陸上競技に携わっております。東日本実業団駅伝が埼玉県で行われ、5 月の選手権大会はじめ数多くの大会が熊谷で開催され、埼玉陸協前会長の西村先生はじめ、多くの OBOG のかたと今でも顔を合わせる機会も多く、大変うれしく思っております。

そのきっかけとなった高校時代は、2 年までの西村先生、3 年次の小沼先生はじめ多くのかたのご指導のもと、5000m にて関東大会優勝、全国大会 2 位という結果を残せました。関東大会のゴール後は、グランドで同期のメンバーに囲まれ祝福を受けたのを覚えています（同期のメンバーとは今でも年 2 回ほど集まっています)。

高校時代の思い出と言えばインターハイもなのですが、一番印象に残っているのは毎年 11 月に行われている（た？）強歩大会です。当時男子は３５K、荒川の土手を走りました。1 年の時は陸上部の先輩 2 人に次いで 3 位。2 年次は 5000m ではチームトップのタイムを持ち、県高校駅伝の 1 区で区間 3 位とある程度の自信を持って臨むも、やはり先輩 2 名に負けて 3 位。そして、インターハイ 2 位に県高校駅伝 1 区区間賞の実績をさげて臨んだ最後の大会、2 年間負けた先輩は卒業し、絶対勝つものだと思っていました（まわりもそう思っていたと思います)。しかし、これまでの 2 年と同じように、終盤大きく失速し 1 つ下の後輩に負けて 2 位に終わりました。私の走りは、いわゆるストライド走法で、大きく跳ねる走りでした。その走りで３５K を走りきるには、スタミナが足りなかったようです・・・練習不足ということですね。

これは結局この後の競技人生にも現れていて、練習量は増えていったもののトラックの記録に比べてマラソンでは結果を全く出せませんでした。今思えば、もっともっと練習をしていれば結果も残せたかもしれません・・・高校時代の経験をいかせなかったようです。

最後に、この文を書くに当たりいただいた資料の中に蕨高記録がありました。1500m と 5000m に私の名前をみつけ、うれしい反面そろそろ更新してほしいと感じました。長距離に多くの注目が集まり、有力校が選手を集めている状況ですが、現役選手またこれから入学してくる選手たちに期待していきたいと思います。

Ｓ55 年愛媛ＩＨ5000m2 位

「継続の大切さ」

２３期　　村山　孝

私たち23期は、最初の１年間を西村先生、２年間を小沼先生に教えを頂いた、西村先生最後の世代です。男子８名、女子２名と少人数だった事もあり、良きにつけ悪しきにつけ行動を共にして、日々の練習や合宿、練習後に心許せる同期との青春ドラマさながらの数々は、今も忘れられない思い出となっています。

時には羽目をはずし過ぎて、真冬に丸坊主になったりと練習から離れた生活においても、小沼先生にはご迷惑をおかけしてしまいました。

次に私自身の事になりますが、陸上競技を通して強い意志と継続する大切さを学び成長する事ができました。練習を適当にして基礎ができていない私は２年生頃に腰痛になっていたため、小沼先生にある接骨院に連れて行かれます。そこでの治療は腰痛だけではなく、心の治療でした。汗と涙と鼻水にまみれながら、きついスクワットを延々と。さらに院長先生の厳しい言葉の洗礼を浴び、この時の悔しさ・情けなさから自分を変えようと決心します。これ以降は別人のように放課後の練習はもちろん、夜は筋トレやストレッチなどを続けた結果、インターハイに出場し、幸せな事に表彰台に立つ事までできました。

このように充実した陸上競技生活を送らせていただき、自分を成長させてくれた蕨高校陸上部に少しでも出来る事があればと思いOBOG総会に参加しましたが､改めて自分が現役だった頃、先輩の方々にお世話になっていたかを痛感しました。これからは少しでも恩返しができるよう、私たちが支援して陸上部を盛り上げて行こうと思っております。

最後に６０周年記念誌に思い出を文章に出来ましたことを感謝申し上げ、これからも蕨高校陸上部が益々発展する事を祈念し、終わらせていただきます。

横浜インターハイ（S56）110mJH 決勝　村山(右端)が２位となる

蕨高校陸上部の思い出

２６期部長　後　藤　潤

私は川口青木中学校時代から陸上を始め、顧問であった塩田先生が蕨高校陸上部のＯＢで、しかも当時の蕨陸上部顧問であった小沼先生の先輩にあたる事から話をつないで頂き、入学前の春休みから練習に参加させて頂いていました。

実力以上に個性の強い先輩方達との日々の練習はとても楽しく、刺激なものでした。

最上級生となり、昼休みに体育教官室に＜本日の練習メニュー＞を小沼先生に聞きにいくのもワクワク、そしてドキドキだった事を覚えています。

印象深いのは、冬の朝練とサーキットトレーニング。

辛く厳しかった事よりも、こういったどこかお祭り的なイベントは精神的にも鍛えられ、部員の気持ちが正に一丸となっていった様に思います。

疲れきった練習後、暗闇の部室で夜な夜な行われていた後輩達との楽しいコミュニケーション(!?)でも筋力が鍛え上げられました。

時には想像を絶する悲鳴もともなってはいましたが・・・

狭くて臭くて汚かったあの部室にも沢山の思い出が詰まっています。

それと、練習以上に頑張って結果を残す事が出来た〝宴会芸〟だけは社会人になっても充分に生かせていると自負しています。

他校と行った合宿も鮮明に記憶しています。御宿、上尾、新潟、そして蕨高校。

私は短距離だったのですが、各班に分かれての練習で、他校には絶対に負けないという強い気持ちをもって頑張っているメンバーをみては、自分も励まされ、とても嬉しく、また誇らしく感じていました。

そして、大会でのあの緊張感を思い出すと、今でも興奮してきます。

伝統的に強いマイルリレー。蕨の日々の練習メニューをこなしていくと、確実に力がついてくるのも今思えば納得です。

ラストを飾るこの種目での盛り上がりは各チーム最高潮に達します。

４００ｍトラックの最終コーナー付近に全部員が陣取っての応援合戦。

「わ～ら～び～っ！わらびっ！わらびっ！」

これは応援する側もされる側も、たまりませんでした。

おかげで今でも赤信号の先頭に位置取り、青になったらスタートダッシュを効かせて、トップで横断歩道を渡りきらないと落ち着きません。

フライングは絶対にしませんし、たまに競ってる時にはラスト胸を出します。

卒業後に小沼先生が全員をスキーに連れていってくれた事もとても良い思い出として心に残っています。

そして、もう５０歳となった今でも、同期のメンバーとの集まりは定期的に継続しています。皆それぞれ家庭を持ち、間違いなくオッサン、オバサンになっているのですが、当時と本当に何も変わらず、３０年以上も前の話に花咲かせ、ついつい飲み過ぎてしまいます。

若かりし青春時代を苦楽を共に過ごしてきたこのメンバーは本当に大切です。

長い人生の中のたった３年間だったはずなのに、それが、どの３年間を切り取っても確実に一番輝いていた濃密な３年間であった事を改めて感じています。

大袈裟に聞こえそうですが、自分達にとって蕨陸上部員であった事の誇りと、先生、先輩方、後輩達への感謝の気持ちだけは一生忘れる事はないでしょう。

今後も同じ様に感じてくれる部員が増えていってくれる事を期待しています。

（２６期生）

高校時代の思い出（マイル）

２７期　末　田　宏　幸

高校３年間は大変濃密な時間で思い出もたくさんあり、また自分自身を大きく成長させてくれた期間でした。その中で一番の思い出って考えたとき、やはり陸上競技の花形ってリレーだよなっていうことで４×４００MR（マイル）について振り返りたいと思います。

一番印象に残っているのは、高校３年の北関東大会決勝で見事３位、県高校新記録のおまけつき、ただ前に武南高校がいましたが・・・(残念)。その時の走った感覚は今でも鮮明に残っています。そして何より同学年でチームを組み、インターハイ出場を決められたことがとても嬉しかったのを覚えています。

まず、リレーメンバーの紹介をしたいと思います。【1 走】我らが頼れる部長森田君、１００M中学埼玉県チャンピオンのスピードスター、走る姿はまさしく弾丸、本人曰く若干スタミナ不安？【2 走】イケメンランナー浅見君、中学時代は野球部で高校から陸上始める。走り幅跳び志望で入部するも、気が付けばマイルメンバー、高校時代一番伸びた選手、私の最大のライバル出現。彼がいたから自分自身も成長できた。【3 走】天然キャラの嶋沢君、彼も中学時代野球部。高校から陸上を始める。８００M志望で入部するも、すぐさま４００Mへ変更となる。1 年の新人戦からマイルメンバー。必ず１年に１回レース中にやらかす男。ただし彼の粘りの走りは１級。【4 走】末田、中学時代は１１０Hをメインでしたが、天性の体の硬さゆえ、ハードルの高さに対応できず、新人戦より４００H転向し何とか 3 年で北関東優勝までこぎつける。こんなメンバーでマイルを戦いました。

北関東大会マイル決勝。前日４００H優勝して絶好調であるが、独特な緊張感がありガチガチ。3 年間の集大成であり、なんとしてもインターハイに行きたいという想いが一つになりすばらしいレースができた。1 走森田君、いつも通り前半から攻めまくり、ラスト１００Mも弾丸のごとく走りぬき、1～2 番手で 2 走浅見君へ、華麗なる走りでバックストレート 2 番手をキープ、ラスト１００Mで佐野高校を抜きトップへ、ラストスパートはかっこよかったな～、そして 3 走の嶋沢君へ、バックストレート 2 番手キープ、ラスト１００M粘りに粘り、団子状態の中最後の１０Mでまたしても佐野高校を抜き４番手でアンカー末田へ、前の走者と交錯し、佐野高校に抜かれ５番手でバックストレートへ、周りの状況がよく見えまた体が軽い、そして勝負のラスト１００M、メンバーと表彰台・賞状・賞状とつぶやきながら５番手から猛追、すると目の前のインコースに道が開け間を縫うように駆け抜け、見事鼻差で３位に。３位から６位は横一線のしびれるようなレースだった。そして月刊陸上競技の表紙のおまけつき。今でも忘れられないレースである。

誰一人として４００Mを目指して入学していなかったメンバーを見事マイルでインターハイに導いてくれた小沼先生に感謝、後藤先輩をはじめ２６期の先輩方と苦しい時期を切磋琢磨して頑張ってきた結果であり感謝、そして偉大なる２３期の村山先輩が１年の時からハードルだけでなくスプリントも私に叩き込んでくれたことが成長につながり最高の結果を残せたので感謝、マイルメンバー、２７期の同期と巡り合え、支えてくれたことに大感謝。そして２８期・２９期のかわいい後輩達、あまりいい先輩ではなかったけど、ついてきてくれて感謝。

蕨高校陸上競技部、ここまで大先輩方築きあげてきた伝統を受け継ぎ６０周年を迎えることができたこと嬉しく思います。これからも陰ながら応援していきますので、現役の皆さん伝統を受け継ぎ頑張ってください。努力は必ず報われる・・・

最後に同期の山田先生へ、プレッシャーもあるとは思いますが、肩肘はらず山田先生らしさで山田先生カラーで蕨高校陸上部を盛り立ててくださいね。

２８期生を代表して

２８期部長　末　広　崇

まずは蕨高校陸上競技部も創部 60 周年を迎えられということで、誠におめでとうございます。我々２８期生が卒業してから、３０年以上も経つのかと月日の流れの早さを痛感しております。顧問の小沼先生の下で指導を仰ぎ、毎日の練習に汗を流していたことが非常に懐かしく思われます。我々２８期生は男子１２名女子４名（卒業時には多少変化ありましたが）で、成績としては北関東大会までしか選手を送ることができなかった谷間の世代でしたかね。

そもそも私が２年の秋の新人戦前に、合宿で骨折。部長就任を知らされたのが入院先のベッドの上というのが、その前途を表していたのかもしれません。それでも頑張ってこられたのは、小沼先生の指導力と今でも年に何回か会う同期の結束力のおかげだったと感謝しております。

当時の思い出としては、入学して１年の夏合宿が他校と合同で新潟の湯沢で行われました。確か川口工業・浦和学院・伊奈総合・川口青陵だったと思いますが、厳しい練習の中、川遊びもあり充実はしておりました。しかし、その最終日に当時の１年生だけで対抗のマイルリレーが行われました。結果は・・・５位・・・。伝統ある蕨高校陸上部に汚名を着せてしまったなんともやりきれない気持ちでしたね。でも、自分の中ではあれが改めて高校陸上生活の起爆点になっていたのではと今では思っております。誰も口にはしませんでしたが、絶対にここから這い上がるという気持ちをみんなが持っていたと思います。

そして、冬の合宿では御宿へ。いやと言うほど砂地を走りました・・・。海岸にサンドスキー場・・・。初めて体験したときは、もうこの世の地獄かと思えるような場所でしたね。奇声を上げて叫びながらの練習。そうした体験が今５０歳を目前にした我々の根幹になっているのかもしれません。他にも副部長勝手に退部事件など話したいことは多々ありますが、それはまたＯＢ会の席ででもお披露目できたらと割愛させていただきます。

山田先生率いる現蕨高校陸上競技部のますますのご活躍をご期待しております。

御宿合宿

練習は嘘をつかない

２９期　布　山　和　将

我々29期は、最終的には男子10名、女子2名という少数のメンバーでしたが、中学時代には野球部、卓球部、バスケ部などを経験していた者、陸上経験者でも、実績のあった者、ない者など多種多様の集まりでした。

正直なところ入部して、蕨高校陸上部の伝統や強さを目の当たりにして、びっくりしたのもよく覚えています。当時の 3 年生には全国を経験しているようなすごい先輩もおり、雲の上のような人たちと練習できることの、喜びと厳しさを味わっていました。大会でも先輩方は上位入賞をしており、関東はもとよりインターハイを目標にしており、我々もいつかはという気持ちと、先輩たちのようになれるのだろうかという気持ちがありました。しかし、小沼先生のご指導と先輩方にひっぱられ、我々も徐々に力がついてきました。　特に投擲陣の成長はとてもすばらしく、小野は槍投げでインターハイ出場を果たし、南部地区大会での、小野、橋本の槍、円盤、砲丸の投擲全種目での上位入賞を中心にして、埼玉栄、武南、大宮東などの競合を押さえ、地区大会優勝を獲得できるまでに至りました。中長距離でも但馬が、８００ｍにおいて県大会優勝、マイルリレーでも県大会３位入賞など、先輩方に引けをとらないような成績を残せました。

とは言えここまで来るにも色々なことがありました。入部当時一番期待されていた村阪が、夏休みに自転車旅行に行くと言って、練習に参加せず、その後に調子を戻すまで、かなり時間がかかりました。　体育祭の打ち上げを居酒屋でして、「千鳥足高校生」と新聞に載ったのも、我々の学年でした。それに参加していた者（確か飲んでいないはずなのですが）が、停学になるということもありました。また諸先輩方が引退し、我々世代に引き継がれたのにもかかわらず、サボり癖のあった私は、よく学校を早退したり、部活をサボって小沼先生に怒られておりました。夏合宿中の夜中に、酒を持ち込んで飲んでいたりということもありました。冬の御宿合宿も今思えばいい思い出ですが、当時は本当に辛かったです。練習のキツさに、いつ脱落しようかと頭を過っていたこともありました。しかし高校生活の中心に部活があり、皆と過ごすことが苦しさを乗り越えさせてくれました。その中でも特に、先に書いた投擲の活躍は異常なくらいまでの練習の賜物に間違いありません。小野、橋本が毎日のように 2 人で競い合い、日が暮れても投げ続けたり、ウエイトトレーニングを何時間も続けたりしておりました。周りがバカじゃないのと思うほどの、練習量を重ねていたと思います。練習はうそをつかないという事を証明してくれました。

入部当時には目立った選手があまりおらず、諸先輩方の実績から比べると狭間の学年だったのが、ここまで実績を残せたのは、個人の努力もあったものの、やはり小沼先生のご指導の賜物であったと思います。先生を信じて練習を続けた結果、中学時代に実績が無くても、狭間の学年と思われた我々でも、諸先輩方に追いつけたのではと思います。

現役の皆さんも、練習はうそをつきません。先生を信じて、インターハイ出場（入賞？）という大きな目標を掲げ、叶えられるよう頑張ってください。

60 周年を迎えて

３０期　並　木　智　彦

蕨高校陸上部 60 周年おめでとうございます。

私たち第 30 期は男子 7 人女子 7 人計 14 人でスタートしました。入学した昭和 61 年はチェルノブイリ原発で衝撃的な大事故が発生した年で、原発問題で揺れる今の日本と深く関わる年に蕨高校陸上部生活が始まったことを思い返すことができます。
競技成績としては、2 年生の時に飯島が 400m、並木が 800m で札幌インターハイ出場、3 年生の時に芝、並木が下級生の村岡、石塚、山崎とともに 1600m リレーで神戸インターハイに出場し、2 位という信じられない成績をおさめることができました。これもひとえに小沼先生の指導のおかげであることはいうまでもありません。

先生には多くの事を指導していただきましたが、今でも記憶に残っていることは合宿で怒られたことです。まず一つ目は 1 年生の時の夏合宿のミーティングの時。先生から体を鍛えるメカニズムを教えてもらいましたがメモも取らずただ聞いていたため、翌日のミーティングで怒られたこと。二つ目は 2 年生の時の御宿合宿のミーティングの時。床の間のある和室であったにもかかわらず、上座と下座を逆にして整列していたこと。三つ目は 3 年生の夏合宿の時で、練習中に部旗を掲げなかったこと。

なぜ怒られたかを解釈すれば、一つ目は、一つ一つの機会や行動を無駄にせず常に向上心を持つことを、二つ目は、一般常識や世間の習慣を知らないと社会で信用を落とすことを、三つ目は、集団がまとまるためには、全員が共有できる何か一つの存在が大切であることを教えてくれていたと思っています。もう卒業してからの年数を数えることはしませんが、この教えは今までも、そしてこれからも、時には自己への戒めとして、生涯心に残り続ける教訓となっています。

高校時代の部活動経験は生涯にわたる貴重な経験となります。現在、在学中の皆さんのご健闘を、そして OB の皆さんの益々のご活躍を第 30 期一同、心より祈念しております。

冬合宿　サンドスキー場での坂ダッシュ

当時を振りかえって

３１期　黒　澤　達

まず、６０周年ということで、大変おめでとうございます。素晴らしい組織を長い間、継続、発展していることに感心し、感謝しております。

当時を振り返ってということですが３０年近くも昔のことですので、記憶がかなりあいまいで、少なくなっています。覚えていることを少々、記載したいと思います。

まず、練習です。最近、土日の部活動が云々とニュースでありますが、当時は確か年間数日（一けた）の休みしかありませんでした。一年生は昼休みにグランド整備を行っていました。冬場の練習にはサーキットと呼ばれるものがあり、校庭の隅っこのほうを大回りしながらいろいろなメニューをこなしながら、リレーをしていたのを、よく覚えています。校庭では、野球部、サッカー部と領地を奪い合い、野球部の硬いボールや、サッカー部のうなるシュートに対抗し、こちらはハンマーやヤリ、円盤など、主に投てきチームが奮闘していました。

なんといっても、練習後カップラーメンを食べながら、臭い部室でのボーイズトークがむちゃくちゃ楽しかったです。

合宿、夏は教室に畳を敷きまさに雑魚寝。深夜に襲撃してくる酒臭いＯＢに恐怖を抱きながら、寝ていました。

冬は御宿。おそらく、この世代の部員はオンジュクと聞くと、いまだに気分が悪くなるのではないでしょうか？民宿に宿泊し、砂浜や、サンドスキー場で走りました。吐くまで・・・。

合宿の帰り、バスの中から見た大晦日のきれいな夕日は、今でも覚えています。

大会は、川口の青木、浦和の駒場、上尾などの競技場に出向いていました。直接競技とは関係ありませんが、上尾競技場の旗を揚げるボールの争奪戦を他高校と繰り広げたことをよく覚えています。朝早く起き、競技場の向かって左側一本目のポールを取ることが、一年生の使命でした。県内あと二校も狙ってきていました。ある時は、他校と小競り合いになり、３ｍくらいからの段差から落下した投てき部員が骨折したことは、もちろん当時は極秘事項であり、今では、すっかり笑い話となっております。

まぁ、書き始めるといろいろ思い出してくるものです。先生に怒られて、家に電話をして謝ったこと、怖いきれいな先輩、ゴザを敷いてのマッサージ、廊下での雨の日練習、部内色恋沙汰多数、ボーズの恐怖、ナマ？・・・。

ここから少々まじめに書きますが、蕨高校陸上部の教えは人生の基礎となり、顧問の先生の強烈な教えや、当時一緒に過ごした友達は、人生を豊かにしてくれています。この場を借りて、陸上部にかかわるすべての方々、特に小沼先生、友人に感謝を伝えたいと思います。

これからの時代はいろいろ急激に変化してくると思います。その中でも、素晴らしいワラコー陸上部の文化を継承し、発展していってほしいと願っております。

蕨６０周年

３２期女子部長　坂　東　千　里

創部６０周年、人でいうと「還暦」という大きな節目を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。私たち３２期は、男子８名、女子５名で活動し、特に男子エース「ヤンマー」こと山崎剛は、４００ｍで当時の高校県記録をたたき出すなど、注目のアスリートでした。ヤンマーは、高１の時から先輩方とインターハイに出場し、１６００ｍリレーでは１走を務め、全国２位の立役者として活躍しました。こうして綴っていてもあの時の感動が鮮明によみがえります。このように私たちにとって蕨高校時代は、顧問の小沼先生のご指導や先輩方との関わりを通して、精神的・体力的に最も成長した３年間でありました。振り返りますと人生の礎を築かせて頂いた重要なポイントであると考えます。当時の陸上競技部は、毎年関東・インターハイに出場する名門校で、やる気みなぎる上昇チームでした。当然練習は厳しく、特に冬の風物詩、千葉県で行われた「御宿合宿」は忘れられない血と汗と涙の青春です。そこは全面砂地の山なので平地はなく、走っても走っても足が砂に埋もれ、前に進まない蟻地獄のような地でありました。宿の食事が美味しかったこと、合宿最終日には各学年で「出し物」をするお笑いの打ち上げがあったこと、（芸のない私たちは先輩の物まねをし、極限の緊張！しかしこのお陰で度胸がつきました！）OB が日替わりで厳しくも愛情のあるコーチをしてくださったこと、その OBOG と今もなお繋がりが深まっていること…絆の大切さを感じます。

私自身は、主に走幅跳に専念していました。最も印象深いのは、高３の仙台インターハイ。予選３本目、もうこれで高校の競技人生が終わってしまう、という最後の１本を跳ぶ直前、深呼吸しながら「あれだけやったんだ！陸上の神様！」と無我夢中で跳躍し、５ｍ７６の自己ベスト。頭の中は真っ白でどのように跳んだのかは全く覚えていませんが、崖っぷちから決勝進出と最高のご褒美を頂くことができました。これもひとえに小沼先生や陸上部の仲間のお陰と感謝しています。こうした経験の全てが財産となり、今に生きています。これからも蕨高陸上競技部の益々の発展を祈念しております。

32 期女子部員　上尾陸上競技場にて

蕨高校陸上部の思い出

３３期　遠　藤　武　士

蕨高校陸上部６０周年、誠におめでとうございます。

私が蕨高校陸上部の長距離班に入部してから早２８年が経過しました。

当時も陸上部は強豪であり、中学時代弱小陸上部に所属していた私の陸上での目標は「３年間やりとげる」ことでした。

当時陸上部には４００ｍ、マイルリレーで国体やインターハイで活躍されていた村岡先輩や山崎先輩、また長距離にも大橋先輩などそうそうたるメンバーが所属されており、本当に自分がやっていけるのか？全く自信がなかったことを覚えております。

練習もとてもハードで、しばらくは家に帰るとふらふらでろくに勉強もせず、ぐったりしている状態でした。（当然勉強の成績もよくありませんでした…）

そんな状態がしばらく続きましたが、先輩やＯＢの皆さん（当時、現顧問の山田先生にもサポートいただきました）、今も仲の良い同期に恵まれ、１年目の夏休みを過ぎた頃から、辛さだけはなく走る楽しさも味わうことができるようになりました。

今でもよく覚えているのが１年目の県南部の新人戦、５０００ｍの第２組目で接戦の末トップで完走したことです。

残念ながら第一組目のレベルが高く、県大会には出場できませんでしたが、私にとっては大きな自信になりました。

その後、私にとって全く予想していなかった陸上部の主将となり、グランド上のみならず、組織運営に関しても当時の顧問であった小沼先生、斉藤先生のご指導のもと経験させていただいたことは、現在の私の社会人生活の中で今も欠かせない財産となっております。

結局、３年間で大した成績を残すことはできませんでしたが、私の目標であった「３年間やりとげる」ことは無事に達成できることができました。

こんな私ですが、何か現役の皆さんにかける言葉があるとすれば…

何があっても３年間やり遂げてください！そして生涯付き合える仲間を作ってください！

まとまりのない内容ではございますが、皆様へのメッセージとさせていただきます。

（御宿合宿　坂ダッシュタイムトライアル）

蕨高校陸上部の思い出

３４期　杉　原　秀　明

私が蕨高校を卒業して、25 年以上経ちますが、
今だに、赤土のグランド、廊下の無い校舎のままでしょうか？
そんな自慢の環境で過ごした、3 年間ですが、私の高校生活の記憶はやはり部活一色。
こうやって、「文章を書く」というご依頼を頂き、あの頃の思い出が今でも蘇ります。
正直、クラスでの思い出になると、何にも頭に浮かんできません。
グランド整備を昼休みに行う為、３時間目の休み時間に昼飯を食う我ら陸上部
上尾競技場での大会は、開門前の柵をよじ登って場所取りなんていうのもやりましたね。（浦学とは毎回バチバチしてました）
年 3 回の合宿は色々な意味できつかったです。
冬の合宿は年末に帰ってくるので、本当一年「部活で締めくくる」という感じです。
中長距離の練習は、サッカーボールと野球の打球をかいくぐって、やってましたね。
我らの時代、こんな事がありました。
とはいえ、そんな当時の蕨高校陸上部ですが、蕨高校の部活の中では、当時一番キッチリしっかり活動を行っていた自負がありました。
そして、そこには蕨高校陸上部としての、プライドがあったように思います。
そんな中で私個人としては、練習でも、部長として上に立つでも、本当毎日辛かった。
これが私の一番の、蕨高校陸上部の思い出ですね。
私は大学で、準体育会のアメフト部に所属していたのですが、実際、陸上部の練習の方が何倍も辛かったです。しかし、この辛さ、厳しさが、後の人生色々な事を教えてくれています。
辛いから色々な耐える力が備わります。
辛いから仲間と連帯感が生まれます。
辛いからその後の喜びが倍増します。
辛いから優しくなれます。
辛さを知らないと、このような事は身につかないでしょう。
60 年という年月で、時代は違えど同じ意識を共有できる仲間の集まりこそ、蕨高校陸上部なのではないでしょうか。
私は蕨高校陸上部に色々教わりました。こうやって、今でも蕨高校陸上部に携われる事に幸せに思うとともに、感謝の気持ちでいっぱいでございます。
ありがとうございました。

蕨高校陸上競技部創立６０周年によせて

第３５期部長　山　崎　悟　史

この度は、蕨高校陸上競技部が創立から６０周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。私自身は競技を離れて久しいですが、オリンピックや世界陸上をテレビで観戦する度に、自分が走っていたころのことが懐かしく思い出されます。

当時のようすを振り返ってみますと、朝の部室掃除や昼休みのグラウンド整備、そして放課後グラウンドに薫るパン工場の匂い。春は桜が咲き誇る横を駆け抜け、夏はスプリンクラーに濡れながら。過ごしやすい秋はすぐに過ぎて、冬はグラウンドや鉄棒が冷たくて、腕立て伏せや懸垂をするときの手が冷たくて辛かったり。

日常のことも当然いろいろ思い出しますが、やはり一番印象に残っているのは、冬の御宿合宿です。

サンドスキー場や砂浜を走る練習がとてもハードで、自分自身の弱さを思い知らされましたし、その弱い自分と向き合うことで、選手として人として、わずかながらも成長したように今になって思います。合宿生活の中には、厳しさあり、苦しさあり、笑いあり涙あり、今思えば、青春時代が凝縮されていた貴重な時間だったと思います。

卒業して二十数年が経ち、今では息子が高校生になりました。競技は違えど懸命に打ち込む姿をみて、思わず当時の自らの姿に重ねてみたりします。〝後悔のないようにがんばれ〟とかけた声は、当時の自分に向けたものなのかも知れません。

在校生のみなさん、過ぎてしまえばあっという間の高校時代を、後悔のないよう全力で駆け抜けてほしいなと思います。

末筆ながら蕨高校陸上競技部の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しましてお祝いの言葉とさせていただきます。

冬期御宿合宿　海岸でのタイムトライアル

蕨高校陸上部の思い出

第３５期　小　松　弘　美（旧姓苅田）

蕨高校陸上部創部６０周年、誠におめでとうございます。

さて、私達３５期は、入学と同年に蕨高校陸上部顧問となった恩師斉藤先生より３年間みっちり？教えを受けた最初の「純斉藤産」の代となります。また、長く続いたらしい伝統？の水色ジャージ最後の代ともいえます。そんな当時を振り返って思い出すこと。斉藤先生のキャップ×サングラス×ポンチョ姿の黒づくめで佇む存在感に、練習がきつい時などは背中にあるａｄｉｄａｓの三つ葉のロゴが「魔の手」に見えてくる～！と騒いでいたこと。夏の猪苗代合宿、夜、先輩方の奇襲に遭い、身体のあちこちに油性マジックでいたずら書きをされたこと。冬の御宿合宿、月の砂漠記念館から流れていた「月の砂漠」の曲を聴く度に浜辺での練習とシンクロし憂鬱になったこと。日々の練習、歴代部長の「さぁ～いくぞ～」の掛け声に気持ちが引き締まりやる気がみなぎったこと。部活後の帰路、ほぼ毎日パンやらドーナツやらコロッケやらを買い、歩きながら食べたこと。それでも夕食はしっかり食べられたこと（笑）。大会でのトラックのタータンの感触、フィールドの芝の香り、ファイト～！の応援の声。「限界は限界ではない」の横断幕・・・いくらでも思い出されます。

今となっては皆、それぞれの道へ進み、それぞれの生活の中にいますが、この陸上部での共通の思い出は私達を繋ぐ「絆」のような役割をしてくれているように思えてなりません。６０年、この「絆」が繋がり今に至りましたが、ぜひ、この先も長く長くこの蕨高校陸上部が「繋がって」いくことを心から願っています。

夏合宿

60周年を祝して

３６期　吉　田　　太

蕨高校陸上部の６０周年に心からお祝い申し上げます。これまで、陸上部に携わられた顧問の先生方をはじめとする多くの方々に改めて敬意を表したいと思います。

今回、寄稿ということで、当時の記憶を呼び起こしてみると、いろいろと楽しい思い出や厳しい練習などの思い出がありますが、そのような陸上部での思い出の中で１つのキーワードが出てきました。

それは、「限界は限界ではない」という当時の陸上部の横断幕にあった言葉です。

当時、北関東大会への出場が途切れていて、誰かがなんとか北関東への出場ができるように一生懸命、厳しい練習に耐えて、取り組んでいたと思います。

短距離では 200 メートル 10 本とか、長距離でも 5,000 メートルとかを練習の最後に毎日やっていたのを記憶しています。私自身は、ハンマー投げをしていて、たまにある短距離との合同練習がとても嫌だったことを覚えています。

このような日々の厳しい練習の積み重ねを発揮する場所が、上尾の陸上競技場で、その第四コーナーに掲げられていた真っ赤な横断幕が「限界は限界ではない。」というものでした。当時、「じゃあ、限界は何なの。」という話をしたのですが答えは出ず、今でもその答えは分かりません。

ただ、最後の一番苦しい第四コーナーに掲げられていた意味から一つの推測はできます。それは、「厳しいときこそもう少し頑張れ。諦めるな。」という意味です。ここで諦めてしまうと、日々の練習の努力を棒に振るばかりか、自分に負けたことになると。たとえ１着になれず、ビリになったとしても、自分自身には勝ったと。自信をもって走ることが一番重要なのであると思います。

最後に、高校を卒業して早 20 年が過ぎましたが、真っ赤な横断幕の「限界は限界ではない」という言葉は社会人でも通じる言葉です。

在校生の皆さんも、時には「何でこんな厳しい練習をするのだろう。」と感じることもあるかと思いますが、限界を限界と感じないくらい練習に取り組んで、自身が納得のいく形で高校生活を過ごしていただければと感じています。

蕨高校陸上部の思い出

３８期部長　越　谷 文　秋

この度は蕨高校陸上競技部創部 60 周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。陸上部での思い出は語りつくせないほどたくさんありますが、自分の個性を磨いていただき、そして仲間の大切さを学んだ３年間でした。

当事の練習を思い出すと、「さあーいくぞー！」の開始時は、今日のメニューは何？というワクワク感（恐怖感）に、「ダウンー！」の終了時はメニューをこなした後のヘトヘト感（安堵）に包まれ、仲間と肩をたたき合ったものでした。猪苗代での夏合宿、御宿での冬合宿のスペシャルメニューはまさに地獄そのものでしたが、その辛さを共に超えていくことでチームの結束がより強くなりました。

「限界は限界ではない」の横断幕を掲げ、練習の成果をぶつける場であった上尾陸上競技場では、選手への激励に溢れる部の一体感、競技終了前後のライバルとの対話が自分をさらに前へと向かせてくれました。最終競技・マイルリレーの「わ～ら～びぃ～！！」のかけ声ではじまる特別応援は私にとって魔法の言葉でした。第３コーナー近くで体全体に感じると、内から不思議な力がみなぎったことを今でも鮮明に記憶しております。練習、合宿、大会をはじめ、高校 3 年間で個性溢れる仲間と共有した喜怒哀楽は、ドラマさながらの濃いストーリーでした。

当時、毎日記していた日記の最後に「目的を持って生きることの素晴らしさを実感できた。これからの人生にも必ず活かす！」という宣言を記しておりました。卒業から 20 年経過した今、選手としてやり遂げたことだけでなく、メンバー1 人ひとりの立場や思いを理解して行動しなければいけない部長としてのリーダーシップとマネジメント、その当事の失敗と反省が、社会人、そして父としての今の生活にも活きています。3 年間ご指導を頂きました斉藤先生・ＯＢＯＧの皆様、たくさんの気づきと学びを与えてくださった先輩方、同期・後輩の皆さんにこの場を借りて改めて御礼申し上げます。

在校生の皆さん、自分の限界と戦い続けることは大変辛く、苦しいことだと思います。しかし、「諦めずに継続すること」は必ず生涯通じての財産となるでしょう。共に取り組む仲間の存在を何よりも大切に、充実した日々を駆け抜けてください！

最後になりますが、蕨高校陸上競技部の益々のご発展、そして在校生とＯＢＯＧの皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

平成８年　**夏の国体予選県大会時**
短距離跳躍班の後輩と共に

ジャイアントキリング

４６期　草　島　将　光

ジャイアントキリング。これが当時の私の大会に対する意気込みでした。蕨高校が所属する埼玉県南部地区は、埼玉栄高校を筆頭に、強豪校がひしめく激戦地区であった。その中に当時、無名に近かった蕨高校で私は、400m、400mＨの２種目を専門に活動していた。入部当時、大会では埼玉栄が各種目で優勝しているのを電光掲示板で目にしていて、その光景がとても悔しかったのを覚えている。そして、いつか自分もあの掲示板に名前を残し、強豪校の鼻をへし折ってやろうというハングリー精神が芽生え、それに向けて日々の練習に取り組んでいた。しかし、入部当初の私は、すぐに足を痛め、吐き、よく石ベンチでへばって横になっていた。同期にも全然追いつくこともできなかった。それでも、毎日必死に斎藤先生のメニューにしがみついてきた。

毎日帰宅は夜の８時を過ぎていた。合宿も春（校内)、夏（猪苗代)、冬（御宿）と年に３回やっていた。特に、クリスマスから年末にかけて行われた御宿での合宿は地獄であった。サンドスキー場と砂浜を使っての走り込みは、その１メニュー毎に吐いていたような気がした。そんな厳しい練習を乗り越えて、１年の新人戦から関東大会に出場でき、２年からはインターハイに出場をし、３年では埼玉県の強化指定選手にも選抜されるようになった。大会では、『限界は限界ではない』の横断幕と日々の練習を糧に、レースに挑んだ。そして、レースそのものを楽しむこと、でも勝負には誰にも負けないという気持ちを胸に秘め走っていた。最終的に全国大会では全く太刀打ちは出来なかったが、少しずつ強くなっていく自分が、そして蕨高校が強くなっていくのが楽しくて仕方なかった。後輩たちにも、陸上競技を楽しむ気持ちと、どこまでも強くなれる可能性があることを忘れないで日々の練習に取り組んでいってほしい。

(為末大選手(左)と上尾陸上競技場にて)

８ｍジャンプを目指して

４９期　中　島　貴　大

蕨高校陸上部創設 60 年、おめでとうございます。このような節目に寄稿の機会を頂けたこと、とても嬉しく思います。

当時の話を、ということでしたので在籍していた約 10 年前のお話を。

とにかく走っていた記憶があります。冬は特に。タイヤを何個も引いたりひたすらもも上げしたり・・・当時の顧問、松山先生のもと常に緊張感がありました。冬の土曜日はとにかく辛かったです。様々な練習の後で疲弊したところに 200＋300＋300＋200 が 3 セットだった日にはもう色々覚悟して臨みました。ある日駒場でこのメニューが終わった後何十分も動けなかったことを覚えております。

走る練習は辛かったですが、跳躍練習は当時から楽しかったです。だからこそ卒業して 8 年以上経った今でも現役として続けられているのだと思います。

高校の跳躍練習では松山先生にずっとご指導頂いたことが 1 番印象に残っております。先生のご指導があったからこそ平凡な選手からここまでの選手になれたのだと信じております。

そしてこの場をお借りして松山先生始め卒業後も練習場所を提供頂いた式田先生、一緒に練習してくれた後輩達に改めて感謝申し上げます。

現在は山田先生のご指導の下 59 期の生徒達が中心となって日々練習に前向きに取り組んでおります。日々部員たちが練習に取り組む姿は自分の高校時代から変わらない気がします。それぞれの目標を達成し、そして県、関東、全国と上のステージに 1 人でも多く立てるよう微力ながら今後も可能な限りサポートできればと思います。

そして私自身も現役の後輩達に負けないよう全国の最前線で戦い続けていきます。日本人が未だ 10 数人しか到達していない「走幅跳で 8m」を 2017 年に達成することをここに目標として掲げ、拙くはありますが私の寄稿とさせて頂きます。

次の 70 周年記念の際には 1 人でも多く蕨高校陸上部からインターハイ出場者が出ていることを願って。

（岩原合宿、５９期(２年生)と一緒に）

共にある

５３期　山　下　修　司

蕨高校陸上競技部創立六十周年を迎えること誠におめでとうございます。伝統ある陸上競技部の部長を務めたことを誇りに思うと同時に感謝しています。

私の高校三年間は部活が中心であったと言っても過言ではありません。一日の始まりは朝練で、放課後は暗くなるまで走り込む。授業中も陸上のことを考えていたのを覚えています。まさに陸上一色の生活でした。

なぜこれほどまで熱中していたのか。この文集を機にあらためて考えてみました。「自己ベストを出したときの喜び」というのもありますが、それよりも「部活自体が楽しい」という答えに辿り着きました。広い校庭があり、スタブロやハードルなどの器具が充実し、学校の近くにはタータントラックがあるなど、私にとっては充実した練習環境でした。それ以上に恵まれていたと感じることに人間関係があります。

顧問である松山先生、式田先生からご指導を頂き競技面だけではなく一人の人間として大きく成長できました。また素晴らしい先輩、後輩、同期と出会い、多くを語り合い共有しました。苦しい練習を乗り越え、励まし合い、高めあうことができる仲間たちがいたからこそ、部活が充実し熱中できたと考えます。インターハイに出場することができたのも自分の力だけではなくこうした支えが合ってだと当時から感じており、大変感謝しています。

陸上競技は個人競技ではなく団体競技であると私は思います。確かに競技中は一人です。

けれども、周りを見渡せば日々共に汗を流し、支え合ってきた仲間たちが一生懸命応援してくれています。部活だけではないですが、人との縁を大切にして陸上生活を頑張ってください。今後の蕨高校陸上競技部のご発展を心より祈っています。

（信州大学学生）

蕨高校陸上部での思い出

５３期　根　本　咲

蕨高校陸上部 60 周年おめでとうございます。
私は松山治彦先生、式田浩行先生のご指導の元、中長距離ブロックで 3 年間練習に励みました。

中長距離ブロックは学校のグラウンドのみでなく戸田市スポーツセンターまでアップを兼ねて JOG で行って 1000m インターバルやビルドアップなどのハードな練習をしたり、体幹を鍛えるメニューが組まれたサーキットをしたりしていた頃がとても懐かしいです。

蕨高校陸上部での多くの思い出の中でも印象深いのは、夏の岩原合宿と高校駅伝です。

合宿のメインである 4 日目の短・長距離合同の坂ダッシュは走りの技術だけでなく精神面でも強くなることができました。また、仲間同士で背中を押したり励ましたりすることでより一層絆を深めることができたのかなと思います。走りきった後の達成感は本当に素晴らしいもので、合宿で鍛えられた体力と精神のおかげで新人戦ではベストを更新することができ、一生懸命やりきった練習は絶対に嘘をつかないのだなとつくづく感じることができました。

そして高校駅伝。短距離跳躍ブロックの部員とマネージャーさんが応援メッセージ入りのお守りを作ってくれたのが本当に嬉しくて、卒業して 5 年経った今でも大切に持っています。メンバーとして走るのは限られた人数ですし、実際に区間を走るときは 1 人で自分との戦いで心が折れそうになりましたが、ランパンにつけたお守りを握ると一緒に練習を乗り越えてきた仲間や応援してくれている仲間の顔が浮かび力を振り絞って次の区間に襷をつなげることができました。

ここに書かせていただいた蕨高校陸上部での思い出はほんの一部で、3 年間で得たものはとても多く社会人として働いている今、役に立っていることもたくさんあります。

在校生のみなさん、高校での部活の 3 年間はあっという間です。ハードな練習を切磋琢磨して乗り越えた日々と仲間は一生ものです。1 日 1 日を大切に目標に向かって頑張ってください。蕨高校陸上部の今後のご活躍をお祈りしております。

練習場所の戸田市スポーツセンター

蕨高校陸上部の思い出

５４期　服　部　翼

私たちは松山治彦先生をはじめ、式田浩之先生や細谷俊先生のご指導のもと日々活動してきました。練習メニューは曜日ごとに決まっていたため、5 限が終わり部室に行く途中で「うわ、今日きつい日じゃん」「おい、それ言ったらダメなやつだわ」という言葉を交わしながら体育館の前を通っていたように思います。特に冬季練習の時期はそれが顕著で、アップを終えたあと、セット数が増えるのではないかとドキドキしながらその時を待っていました。とはいえ、練習が始まると誰一人としてサボるようなことはせず、一つ一つ全力で取り組み各々が自分の目標を持って練習に励んでいたように感じています。もちろん内心では「ちょっと楽したい」「きついからやめてしまおう」という気持ちもあったはずです。この文章を執筆している僕自身も例外ではなく、松山先生から隙があればすぐ手を抜くと毎日のように言われていました。

学総県大会や新人戦県大会といった大きな大会ではチームメイトが出場する種目になると、全員が応援席に駆けつけ選手を応援していました。一見当たり前のことのように思いますが、自分が見たい種目を後に回し選手を応援するということは、日ごろの努力を全員が知っているからこそできたものなのではないかと思います。私たちの学年は中学校でやっていた陸上を高校でも続ける人が多い一方で、高校から陸上を始めた人や軽音部から転部してくる人もいました。しかも個々のキャラが大変濃かったです。しかし、そのような人と同じ蕨高校陸上部として活動できたことは、振り返ってみるとかけがえのない時間であり、なにより先輩や後輩を含めかけがえのない仲間であったと心から述べることができます。僕は何か偉そうな口を叩ける身ではありませんが、今蕨高校陸上部として活動しているみなさんも高校生活を振り返った時、一番に部活動のことが思い出せる・・・それくらい思いを込めて蕨高校での陸上生活を送って欲しいと思います。

蕨高校陸上部記念誌原稿

５４期女子部長　内　桶　彩

蕨高校陸上部の 60 周年に心からお祝い申し上げます。

私が高校を卒業してから４年が経とうとしていること、60 期の後輩は小学校でも被らない年の子たちだと思うと、時の流れの早さに驚くばかりです。また、この陸上部創立６０周年の記念誌を発行することをお聞きし、ＯＢＯＧの方々からずっと続いてきた蕨高校陸上部の伝統の一部に加われたことを、改めて嬉しく思います。蕨高校を卒業しても、駅や街中で陸上部のあの真っ青なジャージを着ている後輩を見かけると、これから練習かなあ、もうすぐ大会の時期かなあと想像して密かにエールを送っています。

私たち５４期は、男子 15 人、女子 9 人の計 24 人で、松山先生と式田先生のご指導のもと３年間日々活動をしていました。当時は、月曜から土曜までの週６日、暑い日も寒い日も時には雨の中でも走っていました。冬季練習では日が落ちて暗い中、ひたすらタイヤを引っ張ったり、女子で使用していたのは陸上部ぐらいだったウェイト室で筋トレをしたり、いわゆる女子高生とはかけ離れた生活でした（笑）当時を振り返ると、辛かったなあという思い出はたくさんありますが、しかしそれ以上に、純粋に陸上に打ち込んで、毎日一生懸命だったあの時間は、高校生の時にしか得られない大切な時間であり、このような経験ができてよかったと改めて感じます。

現役で頑張っている在校生の皆さん！なかなか思うように記録が伸びなかったり、怪我に悩まされたり、本番で力を発揮できなかったり…悔しいことや辛いことがたくさんあると思います。

しかしその気持ちが生まれるのは、一生懸命努力をしているからこそ！目標に向けて仲間と切磋琢磨して、いつも支えてくれる先生方や家族、仲間への感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください。皆さんの努力が花開くことを祈っています。

（岩原合宿、５３，５４期）

高校時代の思い出

５７期　黒　川　敦　史

私たちの代は中学生の時点で全国大会経験者が居たり、高校から始める者が居たりと力 の差が大きくあった。そんななか私たちの陸上部は始まる。私たちは学校総合体育大会で関東大会決勝に残るなど、素晴らしい結果を残していく先輩に憧れを抱き練習に励む。2 年生になると自分たちも大会への出場が多くなった。そこでも先輩方は素晴らしい記録を残し、関東大会出場を決めるなど刺激を受ける。それ故に、新人戦では多くの選手が県大会に進んだり、二人の選手が関東大会に進み入賞したりと華々しい結果を出す。しかし、部を辞める者が出て、リレーのメンバーを変更せざるを得なくなる。それでも部が一丸となり、学総では新人戦よりも多くの県大会出場者を出すこと ができたり、インターハイに 2 人も進んだりと輝かしい成績を残すことができた。

紆余曲折はあったが、様々な事を学び、良き仲間を得ることができたのはこの代であった からこそだと思う。

平成 27 年関東大会
男子 800m　第 3 位
1 ’52”92 蕨高新記録
で和歌山 IH に出場
松島大士

５７期　窪　田　実　樹

57 期の女子は、人数が少なく選手 4 人とマネージャー1 人の計 5 人でした。このうち 、1 人が走り幅跳びでインターハイに出場しました。決勝進出までわずかに及びませんで したが、最後まであきらめずに頑張りました。また、残りの選手も県大会準決勝に進出するなど、毎度過呼吸になるくらい全力で試合に臨んでいました。少人数のため寂しさもありましたが、まとまりがよく 3 年間 5 人で苦楽を共にしてきました。日々の練習は男子部員と一緒に行ったため、女子だけの練習よりも質の高い練習が出来ました。一緒に練習してくれた男子部員には本当に感謝しています。また、女子選手 4 人は負けず嫌いな性格のため、男子との練習でもストイックさを発揮し、各々の目標に向かって毎日練習に励んだ結果、それぞれ良い成績を残すことが出来ました。そして､マネージャーは猛暑や極寒の中､一生懸命選手のサポートをしてくれました。彼女には感謝してもしきれないです。

最後に、蕨陸の 60 周年おめでとうございます。また、現役選手のさらなる活躍に健闘を祈ります。

平成 27 年関東大会　女子走幅跳　高橋礼奈 5m53 で 5 位

５８期　筆　脇　智　宏

男子陸上競技部 58 期部長の筆脇です。3 年間蕨高校で、顧問の先生のご指導の下、部活動に取り組んできました。自分たちの代は、短距離の先生が松山先生から山田先生、長距離の先生が式田先生から秋山先生に代わったり、新たに冬季合宿が始まったりいろいろな変化がありました。その中で恵まれた環境で陸上に打ち込めたと思います。

部活に打ち込んだ 3 年間は楽しいことばかりではありませんでした。夏と冬の合宿、冬季練習は毎日が辛かったです。怪我で苦しんだり、大会の結果で悔しい思いをすることもありました。それでも記録が伸びるのを信じて、仲間たちと助け合いながら乗り越えてきました。2 年生で部長になったときも、不安があったけれど、先生方の助言や仲間のサポートもあり皆を引っ張って行けたと思います。

楽しいことも大変なこともあり、充実した陸上部での活動の中で、成長できたと思います。

５８期　長　嶋　志　帆

５８期で女子部長をしていました長嶋です。私たち５８期は、松山先生、式田先生、山田先生、秋山先生が熱心なご指導をしてくださいました。そんなご指導とマネージャーのサポートと自分たちの努力によってけがに苦しみながらも全員が着実にタイムを伸ばしていくことができました。私たちは男女隔てなく仲が良く、仲間として時にはライバルとして切磋琢磨し合い練習していました。そして女子の８００m では関東大会に出場することができました。

蕨陸で特に印象的だったのが夏の岩原合宿と冬の御宿合宿です。岩原では坂ダッシュやきつい練習で蕨陸の誰かが先頭で走っていたり、集団を引っ張っているのを見るととても誇りに思えました。坂ダッシュのあとの達成感と全員とのハイタッチは忘れられません。

引退した後も部活で培った精神と思い出が励みになっています。実績と歴史のある蕨陸の一員になることができて光栄です。これからの後輩の活躍も楽しみです。

平成 28 年学校総合体育大会埼玉県予選会　山田先生より賞状を渡される

故　尾梶　博　先輩の思い出

尾梶博先輩(８期)は蕨高校を卒業後、早稲田大学に進学されて、大学卒業と同時に武南高校に奉職されました。埼玉県陸上競技協会の強化部長、財務部長などの要職を歴任されて埼玉県陸上競技の未来を担う重要な人材でしたが、平成１４年に突然の病に倒れ逝去されました。

在校時には合宿の演芸会の花形であったり、大学在学時にはヘッドコーチとして蕨高校陸上部の指導にも協力されていたり、もちろん教職に就かれてからは数々の名選手を育てておられました。

尾梶先輩の在りし日の思い出を４人の先輩に語っていただきました。

2年連続の天皇杯3位を勝ち取り、バンザイして喜ぶ埼玉県選手団＝奈良市鴻ノ池陸上競技場で

埼玉、天皇杯連続3位

わかくさ国体閉幕　皇后杯は6位に躍進

【奈良で江利川、片岡、小平記者】第三十九回国民体育大会秋季大会(わかくさ国体)は十七日、六日間の日程をすべて終了し、奈良県奈良市の鴻ノ池陸上競技場で閉会式を行った。本県は天皇杯(男女総合)で二年連続の3位に入る快挙を成し遂げ、また皇后杯(女子総合)でも前回のあかね国体の8位から6位に躍進。種目では陸上が天皇、皇后両杯を本県としては初めて独占する偉業を果たした。関連記事9面に。

雨模様のあいにくの天候のなか午後一時すぎから行われた閉会式は、北海道を皮切りとして北から南の順に選手団が入場。成績発表では、「天皇杯第3位、169・77点、埼玉」「皇后杯第6位、71・42点、埼玉」が読み上げられ、観客の拍手を浴びた。表彰式では、天皇杯1位、2位の奈良、東京に続いて、3位の賞状が青木半治日本体育協会副会長から中村由置県体育協会専務理事に手渡された。また皇后杯6位の賞状は青木副会長から小口五郎県体育課長(県選手団総監督)に渡された。

県選手団は、今回も上位入賞できたことで大喜び。そこここで胴上げを行って健闘をねぎらっていた。ちなみに本県の天皇杯連続3位は、四十三、四十四年に続いて二度目になる。

埼玉陸上競技協会強化部長として国体の埼玉県選手団陸上競技総監督も務められており、陸上王国埼玉の発展に尽くされていました。

当時の新聞記事、埼玉新聞 1984 年(昭和 59 年)10 月 18 日朝刊

尾梶博先生人となり

９期　大　塚　敬　一

尾梶さんは芸人？先生？偉大なる！先輩。

例年春、大学の新人歓芸会が競走部合宿所で開かれます。食堂には敷布団がうず高く積まれ、上で鎮座するは牢名主の吉羽先輩。

どてら姿でキセル煙草を吹かしながら見下ろす暗がりには、妹さんから借用した上下・下着姿の尾梶乙女が、震えながら横たわっています。突然のだみ声！”ヤロウ共、そこのアマを手篭めにシロイ！！”、牢名主の声に、ヤメテーッと叫ぶ可弱き尾梶乙女がおりました。

また、スキー合宿では、バナナを十房も持込み、三日三晩アメ横で覚えたタタキ売りの口上が始まり、大笑いと栄養補給で疲れを吹き飛ばさせる芸人、尾梶博徒がおりました。

私が蕨入学の三月、練習に参加するよう西村先生から連絡が入り、初めて尾梶先輩にお会いしました。まず投てき班で足腰の強化から始める様にと先生から指導があり、当時は竹製のポールの棒高跳で、マネージャー的に振舞っていた尾梶さんに付き、春は天野・遠藤先輩の円盤・ヤリの回収で先輩たちの後を駆け廻り、夏には、合宿の疲れに追撃ちを掛ける夜半の恐怖体験を克服し、厳冬は学校裏の広々とした氷張りの田圃で、またげるか？の小川跳び等々何をやらされるか、？の毎日でした。

今なお、この時代が鮮明に残り得るのは、厳しく楽しい仕掛けに翻弄された日々を、懐かしく思い出させる尾梶先輩の姿がありました。

私が三年の秋に埼玉国体が開かれ、１００ｍと教員・高校４×４００ｍリレーに優勝する事が出来ました。怪我等でご心労をお掛けし、三年間に亘ってご指導頂いた西村先生への感謝は勿論ですが、夏から国体まで専属トレーナーとなって頂いた尾梶さんとほとんど毎日、蕨から私の自宅に帰り、風呂・食事後のマッサージ等々、寝食を共にして頂いた結果とも思っています。

今は年一度ですが、変わらぬ若き尾梶先生にお会いし、高校時代の懐かしい思い出を語り合いながら感謝を申し上げております

昭和 41 年関東高校大会(甲府)

名コーチは名役者

１２期　金　子　欣　也

「只今より、60 分 3 本勝負、WWA 世界タイトルマッチを行います。赤コーナー、185 パウンド 4 分の 3 、ザ・デストロイヤー!!。青コーナー、158 パウンド 2 分の 1、力道山～！」

響き渡った場内アナウンサーの呼び出しは、恒例になった合宿最後の夜の一幕を飾る、演芸会最大のメインイベントである。リングと化した柔道場。赤コーナーから、尾梶さんが覆面をして、右手を高く上げて登場すると、部員たちからは一斉に拍手の嵐。私は、青コーナーより、白いバスタオルを首から垂らし、リングの四方に頭を下げると、これまた拍手の嵐。柔道場は否が応にも盛り上がり、尾梶さんと私の素人プロレスが、何の打ち合わせもなく、20 分も 30 分も延々と続くのである。互いの阿吽の呼吸だけが頼りなのである。タイミングがずれれば大怪我につながる。演芸会で大けがなど、絶対に許されないのである。

何の打ち合わせもなしとは言え、プロレスをやりながら、尾梶さんの目がモノを言うのである。「さあ、技をかけてこい」「よし、こっちからかけるぞ」目が合図をしてくれる。体と体をぶつけ合いながら、「皆を喜ばせよう」という、尾梶さんのサービス精神が体を通して伝わってきたモノである。

尾梶さんは持ち芸をたくさんお持ちであった。「ハブの油売り」「万年筆売り」「毛布のたたき売り」等の大道芸、そして落語、替え歌、これらの芸を見て、どれだけ多くの部員たち、先輩、後輩たちが、(^^)、喜び、心を開き、勇気を与えていただいただろうか。実に偉大且つ、希有な存在だった。

お通夜、そして告別式と、参列していた生徒の数の多かったこと。そして、その生徒たちの泣きっぷりの凄かったこと。いかに大勢の生徒たちに慕われていたのかが解る。

太く、短く、濃く、人のためだけに生きた人、走り続けた人、そして大輪の花火のように散った人。

尾梶さん、今いるところでも、陸上競技に情熱を燃やし、たくさんの周りの方々を、あの素晴らしい芸で喜ばせているのでしょう。心なしか、空も賑やかに見える気がする今日この頃です。

合掌

不肖の弟子

１３期　金　子　あけ美

「たくさんの生徒から、いい先生だと思われなくてもいいんだ。たった一人の生徒から、先生に会えてよかった、と言われる先生になりたい」

これは、尾梶さんの教職が決定したときにおっしゃっていた言葉だ。冷たい冬の風が吹き付ける葬儀の日、溢れるばかりの人、人、参列者の波に体を埋もれさせながら、その言葉を私は反芻していた。

私にとって、生涯最初で最後のたった一人のコーチ、それが尾梶博その人である。蕨高校に入学して、初めてコーチして紹介されたとき、自分のイメージの中のコーチという認識が、「エースを狙え」とか、「アタック No1」といった世界から瞬時に遠ざかったのを昨日のことのように思い出す。ただ一つ、ぴったり合致したのは「鬼コーチ」という単語だった。

高 2 の冬、踏切足を故障して、回復してからも春が近づいてきても、足が怖がって思うように踏み切れないでいたら、幅跳びの１００本全助走計測３日間、というドラマのような練習をさせられた。そのときはさすがに恨みがましい気にもなったが、いちいち計測しながらついていてくださった気持ちが、姿が、忘れられない。

一昨年、恩師の西村先生の「ご退職祝賀会」の数日前、突然かかってきた１本の電話。「お前、受付だからな」（え？ちょっと待ってよ。だって私はもう何年も OB 会からは離れているし、立派な教員の後輩たちがいらっしゃるじゃありませんか？）と言いそうになる言葉を飲み込む。そういえば、〇十年前も、こんなだったよなぁ、と。

高校時代、土曜の夜になるとはやり突然の電話。「おい、明日秘密練習やるから今から来いや」「え～？明日の朝じゃいけませんか？」「朝早いから言っているんだよ」否応もない。（あ～、皆日曜は完休なのに～）仕方なく出向くと、尾梶家で待っていたのは、猛者と言うべきお歴々の OB の方々である。

どこかの温泉旅館のように、浴衣姿下着姿の面々が、くつろぎズラーっと居並ぶ今。当時は畏怖な光景だと思ったこともあったが、尾梶さんがこうして誰にでも、愛する後輩や教え子たちに、居心地のよい癒やしの場所を提供していたのだな、それもずーっとなくなるまで、と思うと、今更ながら身近な中に存在していた偉大な人だったと思わざるを得ない。

いつだったか、お酒の席で（もちろん成人後、と断っておくが）「こるぁ、尾梶～」とやってしまったことがあり、「全くお前は最大の不肖の弟子だ」と言われた。亡くなられて、病院から戻られたとき、本当に悲しくて『どうかあのときのことは水に流してください』と唱えようとしたら、奥様が「あのときのこと、よく主人が楽しそうに話していたのよ。忘れないであげて」とおっしゃられた。だから今でも私は、ただ一人「不肖の弟子」の称号をいただいたままである。

尾梶先生（８期生）との思い出

２０期　菅　原　和　浩

2002 年 1 月 25 日は金曜日。当時勤務していた春日部東高校のグラウンドで朝練習中、恩師西村先生から電話があり、尾梶先生の訃報を受けました。2 ヶ月の闘病生活が終わったのです。尾梶先生は当時、埼玉県高体連陸上競技専門部の委員長という役職をこなしながら、前年には女子走高跳で全国制覇するなど大活躍をされておりました。

思い起こしてみれば、高校時代怖い先輩方が練習や合宿に多く参加されていましたが、武南高校で指導者として活躍されていた尾梶先生は一線を画していました。

私が、昭和 58 年に教職に就くと、武南高校のすぐそばの川口工業高校に赴任したこともあり、先生の方からお声掛けをいただき、お祝い会まで開いてくださいました。（多分、西村先生から面倒を見るように話があったのでは、、、？）雲の上の存在の大先輩が私に声をかけてくれたことが嬉しくて、陸上競技の指導を頑張っていこうと決意したときでもありました。

それ以来、同じ練習会場でもあったので、毎日顔を合わせていました。練習ばかりでなく、毎日のように夜をお供させていただきました。尾梶先生の同級生が経営している店（「夜の終りに」）などでは、14 期生の斉藤浩一先輩と一緒に、バーボンを飲みながら陸上競技の話を面白く話して頂き、共に陸上競技の世界にいることを嬉しく感じていました。

遠征でも、秋田、札幌、兵庫のインターハイをはじめとして、国民体育大会、関東大会や日本ジュニアなど同宿させて頂き、両校の選手共々、交流を深めていました。日本各地での楽しい思い出は尽きません。余談ですが、何と私の結婚式では、司会をかって出ていただき、盛り上げていただき、大変恐縮したのを覚えています。亡くなられる 1 年前、全国強化合宿で、静岡県に 5 日間ご一緒させていただいた時のことは、今でも鮮明に覚えています。清水港や東照宮を散策し、清水次郎長の生家では、なぜか非常に興味を持たれ、お土産を購入したほどです。いつになく嬉しそうな姿が、尾梶先生と清水次郎長がかぶっているような感じがしました。（下に写真をつけました）

その歯に絹着せぬ話ぶり、何事にも前向きで明るく取り組む姿、教え子をこよなく愛している姿（後輩には厳しかったですが、、、）、どれも遠く及びませんが、私の目標でした。今でも私の指導法の大きな部分です。

2001 年 11 月の関東駅伝大会は、茨城県ひたちなか市で開催されました。私の勤務校も出場しておりました。3 日間の遠征が終わり、尾梶先生に挨拶をして帰る途中の高速道路で、尾梶先生のクラウンと並び、軽く右手を上げて挨拶をしてくれた姿が最後になってしまいました。

酒を愛し、人を愛し、家族を愛し、陸上競技を愛し、オートレースと「22 歳の別れ」が好きだった尾梶先生は、今でも私の中で、大きな目標です。

きっと、今でも蕨高校陸上競技部の活躍を見守ってくれていることでしょう。

２０年間、本当にご指導ありがとうございました。ともに過ごさせて頂いた時間は、私の宝です。

私の携帯には、いまでも持ち主を失った番号が残っています。

尾梶先生の勤務校、武南高校の T シャツには
尾梶先生のイラストが今でも使われています

「スパイクのあと」

埼玉県高等学校新記録樹立者

種　目	記　録	氏　名	年度	大会名	会場
１００ｍ	10 秒 7	大塚　敬一	42	関東七県	足利
４００ｍ	47 秒 57	山崎　剛	H2	国体予選	上尾
１５００ｍ	3 分 59 秒 9	若倉　和也	55	県選手権	上尾
１１０ｍJH	15 秒 7	岡田　巧	37	全国高校	大分
４００ｍH	56 秒 3	小沼　彰彦	46	学徒	上尾
１５００ｍSC	4 分 20 秒 5	大政　正一	52	全国高校	岡山
4×４００ｍR	3 分 18 秒 1	森田・浅見 嶋沢・末田	60	関東高校	笠松
4×４００ｍR	3 分 15 秒 23	山崎・芝 並木・村岡	63	関東高校	上尾
走高跳	2m00	島田　竜太郎	52	関東高校	太田
五種競技	3481 点	平野　洋	49	関東高校	甲府
４００ｍ	58 秒 8	白石　陽子	46	関東高校	千葉
五種競技	3745 点	須藤　洋子	44	全国高校	前橋

埼玉新聞

男子1600リレー

蕨、県高新のV走

女子

埼玉栄が

男子１６００リレー　３分15秒23の関高校新記録でゴールに飛び込む蕨のアンカー村岡（左端）＝上尾総合運

関東大会入賞者一覧(全国大会出場者)

順位	年度	氏	名	種目	記録	会場
優勝	40	天野	和則	円盤投	46m90	千葉
	42	大塚	敬一	100m	11”2	国立
	44	須藤	洋子	五種競技	3654点	上尾
	45	金子	欣也	800m	1’59”8	横浜
	46	小沼	彰彦	110mJH	15”1	千葉
	46	小沼	彰彦	400mH	57”1	千葉
	46	黒崎・引間	松本・小沼	4×400mR	3’30”6	千葉
	46	白石	陽子	400m	58”8	千葉
	50	田井	政典	ヤリ投	56m08	上尾
	52	島田	竜太郎	走高跳	2m00	太田
	55	若倉	和也	5000m	14’58”5	上尾
	60	末田	宏幸	400mH	53”4	笠松
	63	山崎・芝	並木・村岡	4×400mR	3’15”23	上尾
2位	37	岡田	巧	110mJH	16”1	藤沢
	39	森	弘子	200m	27”1	水戸
	41	大塚	敬一	100m	11”1	甲府
	41	大塚	敬一	200m	22”5	甲府
	42	大塚	敬一	200m	23”1	国立
	42	島田	茂夫	800m	2’02”7	国立
	45	中渡瀬	隆文	110mJH	15”4	横浜
	45	小沼	彰彦	200mH	26”7	横浜
	46	吉田	洋子	800m	2’21”5	千葉
	46	岡田・伊沢	栗原・白石	4×100mR	50”5	千葉
	47	平野	洋	五種競技	3234点	宇都宮
	47	吉田	洋子	800m	2’20”8	宇都宮
	48	平野	洋	五種競技	3234点	笠松
	49	平野	洋	110mJH	14”8	甲府
	49	平野	洋	五種競技	3481点	甲府
	51	馬場	久子	砲丸投	11m74	国立
	52	高野	央司	200m	22”7	太田
	53	高野	央司	400m	49”8	藤沢
	53	吉岡・菊地	吉川・高野	4×400mR	3’26”2	藤沢
	H元	村岡	英治	400m	47”75	笠松
3位	43	田島	良一	400m	51”8	伊勢崎
	43	須藤	洋子	五種競技	3483点	伊勢崎
	44	新井・染谷	須藤・吉田	4×100mR	43”8	上尾
	45	小沼	彰彦	110mJH	15”5	横浜
	46	白石	陽子	200m	26”0	千葉
	47	吉田	洋子	400m	60”4	宇都宮
	51	山本	育美	走幅跳	5m68	国立
	52	馬場	久子	砲丸投	11m87	太田
	53	高野	央司	200m	22”8	藤沢
	53	室井・菊地	高野・吉岡	4×100mR	43”1	藤沢

順位	年度	氏	名	種目	記録	会場
	53	石井・津川	山下・栗原	4×100mR	49”8	藤沢
	56	村山	孝	110mJH	14”3	笠松
	60	森田・浅見	嶋沢・末田	4×400mR	3’18”1	笠松
	H2	山崎	剛	400m	48”69	敷島
	H16	草島	将光	400m	49”27	熊谷
	H21	淺野	えりな	走幅跳	5m51	宇都宮
	H23	山下	修司	400mH	53″77	千葉
4位	38	森	弘子	200m	27”4	宇都宮
	39	佐藤	絢子	走高跳	1m45	水戸
	42	田島・谷中	島田・大塚	4×400mR	3’33”6	国立
	43	金子	欣也	800m	2’04”4	伊勢崎
	51	土屋・田中	名児耶・高野	4×100mR	44”0	国立
	52	大政	正一	1500mSC	4’27”8	太田
	52	馬場	久子	円盤投	36m24	太田
	62	並木	智彦	800m	1’54”9	宇都宮
	H元	山崎	剛	400m	48”76	笠松
	H2	坂東	千里	走幅跳	5m63	敷島
	H21	小縣	良平	400m	48″35	宇都宮
	H27	松島	大士	800m	1’52″92	山梨
5位	47	平野	洋	走高跳	1m85	宇都宮
	49	小森谷・加藤	田中・平野	4×400mR	3’32”1	甲府
	50	平野	智子	800m	2’32”0	上尾
	51	大政	正一	1500mSC	4’26”8	国立
	51	天野	均	五種競技	2780点	国立
	H7	南雲	恵子	走高跳	1m60	千葉
	H15	草島	将光	400mH	54”25	敷島
	H27	高橋	礼奈	走幅跳	5m53	山梨
6位	40	野田	繁	200mH	26”9	千葉
	40	須賀	祐三	5000m	16’07”2	千葉
	41	佐藤・染谷	田島・大塚	4×400mR	3’35”7	甲府
	41	沢木	和子	円盤投	31m86	甲府
	42	田島	良一	400m	52”8	国立
	45	中渡瀬	隆文	五種競技	3042点	横浜
	46	伊沢	富士子	100m	12”9	千葉
	48	富田	美知子	円盤投	33m48	笠松
	49	田井	政則	ヤリ投	52m68	甲府
	52	桜井	正雄	800m	2’01”1	太田
	52	関根	敦夫	砲丸投	14m32	太田
	55	高村・和田	坂本・森泉	4×100mR	50”1	上尾
	62	小野	裕一	ヤリ投	56n12	宇都宮
	62	飯島	裕子	400m	57”95	宇都宮
	63	村岡	英治	400m	49”42	上尾
	H19	中島	貴大	走幅跳	7m16	小瀬
	H22	星野	早香	100mH	14″81	笠松
	H22	淺野	えりな	走幅跳	5m76	笠松

県内公式戦優勝者

〇:大会新　◎:県高新

年	種目	記録	選手名	大会名	会場
36	200mH	27”2	岡田　巧	県体	大宮
37	110mJH	16”2	岡田　巧	学体	大宮
37	100m	11”8	野村　供行	新人	針谷
37	4×200mR	1’39”1	静・田村 浜・野村	新人	針谷
37	走高跳	1m60	浜　勇	新人	針谷
38	ヤリ投	47m24	中村　博	新人	大宮
38	110mJH	16”1	荻野　一夫	新人	大宮
39	1500m	4’19”8	諸貫　譲二	県体	大宮
39	5000m	16’12”8	諸貫　譲二	県体	大宮
39	200mH	27”2	森　弘子	県体	大宮
39	走高跳	1m45	佐藤　絢子	新人	大宮
40	円盤投	43m21	天野　和則	学体	大宮
40	200m	27”2	浜中　和子	県体	大宮
41	200m	24”0	大塚　敬一	学体	大宮
41	100m	11”0	大塚　敬一	国体予選	大宮
41	200m	23”0	大塚　敬一	国体予選	大宮
41	円盤投	36m24	沢木　和子	県体	大宮
41	〇100m	10”8	大塚　敬一	新人	大宮
41	〇200m	22”	大塚　敬一	新人	大宮
42	100m	11”1	大塚　敬一	新人	大宮
42	200m	22”8	大塚　敬一	新人	大宮
42	400m	51”3	大塚　敬一	学体	大宮
42	〇1500m	4’19”8	島田　茂夫	学体	大宮
42	4×400mR	3’32”5	田島・谷中 島田・大塚	学体	大宮
42	100m	10”9	大塚　敬一	国体予選	大宮
43	400m	51”6	田島　良一	学体	上尾
43	4×400mR	3’34”4	小林・吉田 増田・田島	学体	上尾
43	走幅跳	6m87	川田　一成	学体	上尾
43	ヤリ投	52m58	原田　元気	学体	上尾
43	走幅跳	5m50	須藤　洋子	国体予選	上尾
43	走幅跳	5m36	須藤　洋子	新人	上尾
44	400m	52”3	吉田　英夫	学体	上尾
44	走幅跳	5m38	須藤　洋子	学体	上尾
44	4×400mR	3’35”6	斎藤・金子 新井・吉田	学体	上尾
44	〇800m	2’00”1	金子　欣也	新人	上尾
44	110mJH	15”8	中渡瀬　隆文	新人	上尾
44	4×400mR	3’34”4	斎藤・新井 小池・金子	新人	上尾
45	800m	2’00”7	金子　欣也	学体	上尾
45	110mJH	15”3	小沼　彰彦	学体	上尾
45	200mH	26”3	小沼　彰彦	学体	上尾
45	4×400mR	3’31”1	斎藤・新井 小池・金子	学体	上尾
45	800m	1’59”0	金子　欣也	県体	上尾

○:大会新　◎:県高新

年	種目	記録	選手名		大会名	会場
45	110mJH	15”2	小沼	彰彦	県体	上尾
45	200mH	25”8	小沼	彰彦	県体	上尾
45	110mJH	15”4	小沼	彰彦	新人	上尾
45	◎400mH	58”2	小沼	彰彦	新人	上尾
45	100m	12”6	伊沢	富士子	新人	上尾
45	800m	2’33”5	吉田	洋子	新人	上尾
46	110mJH	15”0	小沼	彰彦	学体	上尾
46	◎400mH	56”3	小沼	彰彦	学体	上尾
46	4×400mR	3’32”8	黒崎・引間	松本・小沼	学体	上尾
46	◎400m	59”3	白石	陽子	学体	上尾
46	800m	2’26”3	吉田	洋子	学体	上尾
46	110mJH	15”4	小沼	彰彦	県体	上尾
46	4×400mR	3’32”0	黒崎・山本	松本・小沼	県体	上尾
46	◎400m	64”4	白石	洋子	県体	上尾
46	800m	2’24”8	吉田	陽子	県体	上尾
46	○5000m	15’18”6	大野	隆司	国体予選	上尾
46	ヤリ投	37m18	鈴木	明美	国体予選	上尾
46	400m	51”2	引間	良文	新人	上尾
46	800m	2’26”9	吉田	洋子	新人	上尾
47	五種競技	3027点	平野	洋	学体	上尾
47	800m	2’26”1	吉田	洋子	学体	上尾
47	800m	2’25”1	吉田	洋子	県体	上尾
47	円盤投	34m98	富田	美知子	県体	上尾
47	1500mSC	4’42”5	岩本	敦	新人	上尾
47	走高跳	1m93	平野	洋	新人	上尾
47	800m	2’31”1	小見	富美子	新人	上尾
47	砲丸投	10m12	富田	美知子	新人	上尾
48	1500mSC	4’34”2	青木	信男	学体	上尾
48	◎五種競技	3269点	平野	洋	学体	上尾
48	800m	2’28”4	小見	富美子	学体	上尾
49	110mJH	15”1	平野	洋	学体	上尾
49	◎五種競技	3393点	平野	洋	学体	上尾
49	110mJH	14”8	平野	洋	国体予選	上尾
49	走高跳	1m90	平野	洋	国体予選	上尾
49	ヤリ投	53m44	田井	政典	国体予選	上尾
49	ヤリ投	54m38	田井	政典	新人	上尾
50	ヤリ投	52m82	田井	政典	学体	上尾
50	200m	22”5	田井	政典	国体予選	上尾
50	ヤリ投	55m70	田井	政典	国体予選	上尾
50	800m	2’27”3	平野	智子	新人	上尾
51	1500mSC	4’33”0	長島	良亮	学体	上尾
51	走高跳	1m85	島田	竜太郎	学体	上尾
51	砲丸投	11m46	馬場	久子	学体	上尾

○:大会新　◎:県高新

年	種目	記録	選手名	大会名	会場
51	4×100mR	43”9	土屋・高野 名児耶・田中	国体予選	上尾
51	1500mSC	4’38”6	長島　良亮	国体予選	上尾
51	走幅跳	5m52	山本　育美	国体予選	上尾
51	800m	2’01”3	桜井　正雄	新人	上尾
51	○1500mSC	4’36”6	大政　正一	新人	上尾
51	走高跳	1m85	島田　竜太郎	新人	上尾
51	100m	12”9	山下　正子	新人	上尾
51	砲丸投	11m15	早川　由起子	新人	上尾
52	走高跳	1m95	島田　竜太郎	学体	上尾
52	100m	12”7	山下　正子	学体	上尾
52	100m	11”1	高野　央司	国体予選	上尾
52	200m	22”8	高野　央司	国体予選	上尾
52	1500mSC	4’34”3	大政　正一	国体予選	上尾
52	100m	12”8	山下　正子	国体予選	上尾
52	走高跳	1m95	島田　竜太郎	国体予選	上尾
52	100m	11”0	高野　央司	新人	上尾
52	100m	12”8	山下　正子	新人	上尾
52	4×100mR	51”3	石井・津川 山下・栗原	新人	上尾
53	○400m	49”5	高野　央司	学徒	上尾
53	4×400mR	3’25”9	吉岡・菊池 吉川・高野	学徒	上尾
53	4×100mR	50”0	石井・津川 山下・栗原	学徒	上尾
53	○200m	22”1	高野　央司	国体一次	上尾
53	4×100mR	43”1	室井・菊池 高野・吉岡	国体一次	上尾
53	4×400mR	3’25”1	吉岡・菊池 吉川・高野	国体一次	上尾
53	400m	60”0	津川　伸子	国体一次	上尾
53	4×100mR	50”2	石井・津川 山下・栗原	国体一次	上尾
53	三段跳	13m42	室井　秀夫	県新人	上尾
54	400mH	68”2	坂本　めぐみ	県選手権	上尾
54	走幅跳	5m08	石井　芳美	四地区対抗	上尾
55	1500m	4’02”0	若倉　和也	国体一次	上尾
55	5000m	15’21”4	若倉　和也	国体一次	上尾
55	110mH	15”7	村山　孝	国体一次	上尾
55	5000m	15’20”5	若倉　和也	国体予選	上尾
55	○110mJH	14”5	村山　孝	県新人	上尾
56	110mJH	14”3	村山　孝	学徒	上尾
56	走幅跳	5m12	古美門　久恵	県新人	上尾
57	走幅跳	5m51	古美門　久恵	国体一次	上尾
57	走幅跳	5m47	飯塚　容子	国体予選	上尾
57	砲丸投	14m14	宮林　健二郎	県新人	上尾
57	走幅跳	5m63	飯塚　容子	県新人	上尾
58	走幅跳	5m64	飯塚　容子	学徒	上尾
58	走幅跳	5m69	飯塚　容子	県新人	上尾
59	400mH	53”88	末田　宏幸	学徒	上尾

○:大会新　◎:県高新

年	種目	記録	選手名		大会名	会場
59	400mH	54”43	末田	宏幸	県新人	上尾
60	○400mH	53”00	末田	宏幸	国体一次	上尾
60	○4×400mR	3’19”72	森田・浅見	嶋沢・末田	国体一次	上尾
61	B800m	1’58”78	並木	智彦	国体予選	上尾
62	800m	1’59”55	但馬	康秀	学徒	上尾
62	800m	1’58”22	但馬	康秀	国体一次	上尾
62	400m	59”14	飯島	裕子	国体一次	上尾
62	○B400m	49”4	村岡	英治	国体一次	上尾
62	○B400m	48”78	村岡	英治	国体予選	上尾
62	800m	1’58”19	並木	智彦	県新人	上尾
62	円盤投	43m52	小林	光太郎	県新人	上尾
62	4×400mR	3’20”49	石塚・芝	村岡・並木	県新人	上尾
63	○400m	48”65	村岡	英治	学体	上尾
63	4×400mR	3’18”66	山崎・芝	並木・村岡	県選手権	上尾
63	4×400mR	3’20”66	山崎・芝	並木・村岡	国体一次	上尾
63	B400m	49”75	山崎	剛	国体一次	上尾
H元	400m	48”71	山崎	剛	学体	上尾
H2	400m	49”47	山崎	剛	国体一次	上尾
H3	走幅跳	6m96	佐藤	貴之	国体一次	上尾
H3	走幅跳	7022(+3.3)	佐藤	貴之	国体予選	上尾
H4	100mH	15”33	南雲	明恵	国体一次	上尾
H15	400mH	54”45	草島	将光	県新人	熊谷
H17	B走幅跳	6m64	中島	貴大	国体予選	熊谷

少年男子B走り幅跳びで優勝し、6メートル64で初のタイトルを獲得した熊高・中島貴大

「びっくりした」うれしい県初V

少年男子B走り幅跳びは3人が6メートル64で並んだが、熊谷第1中の中島がセカンド記録で上回り、全国中学大会3位の熊山（熊谷第七）を抑えうれしい県大会初優勝。「びっくりしたけど、素直にうれしい」と喜びをかみしめた。

陸上はさいたま市浦和中時代から取り組んでいたが、専門的な指導を受けたのは高校入学後から。「陸上切りの姿勢を直したほかは、松山監督だったが、1回目に自己ベストの6メートル38をマークし新人に乗ると、2回目には6メートル64と記録を伸ばした。助走、踏切動作が最高は多いものの、『いいものを持っている』と同監督が期待を寄せる素材だ。中島は『早く6メートル台に乗せ、来年は高校総体出場を目指したい』と抱負を語っていた。

平成17年8月28日埼玉新聞
国体県予選(H17.8.27、熊谷スポーツ文化公園)
男子B走幅跳　中島　貴大　6m64

蕨高校記録(2016年)

男子

種目	記録	氏	名	年.月.日	大会名	会場
100m	10″6	高野	央司	S53	学徒	上尾
100m	10″74(+1.2)	服部	翼	H24.5.13	学校総合	熊谷
200m	21″76	高野	央司	S53	全国高校	福島
400m	47”57	山崎	剛	H2.9.1	国体予選	上尾
800m	1’52″92	松島	大士	H27.6.21	関東高校	小瀬
1500m	3’58″9	若倉	和也	S55	県選手権	上尾
5000m	14’44″1	若倉	和也	S55	全国高校	上尾
10000m	33’28”3	鈴木	保和	S60.10.20	長距離記録会	上尾
110mJH	14″3	平野	洋	S60.10.20	国民体育大会	笠松
110mJH	14″3	村山	孝	S56	関東高校	笠松
110mJH	14″31	村山	孝	S56	全国高校	三ツ沢
110mH	15″1	村山	孝	S56	県選手権	上尾
110mH	15″50(+0.1)	渋谷	守	H5.5.13	学校総合	上尾
400mH	53″00	末田	宏幸	S60	国体一次	上尾
1500mSC	4’20″5	大政	正一	S52	全国高校	岡山
3000mSC	9’34″78	荒川	純	H13.4.23	学校総体南部	上尾
4×100mR	41″72	作田・小林・	柿沼・井邑	H25.6.28	埼玉県選手権	熊谷
4×400mR	3’15″23	山崎・芝	並木・村岡	S63.6.26	関東高校	上尾
走高跳	2m00	島田	竜太郎	S52	関東高校	太田
走高跳	2m00	座古	幸伸	S60	記録会	上尾
棒高跳	4m20	黒澤	達	H1.6.4	記録会	駒場
走幅跳	7m19(+1.1)	中島	貴大	H19.7.25	国体一次南部	鴻巣
三段跳	14m22	室井	秀夫	S54	南部	上尾
砲丸投	14m82	関根	敦夫	S52	学徒	上尾
砲丸投(14P)	11m31	藤原	晃太郎	H27.5.1	学校総合	上尾
円盤投	46m90	天野	和則	S40	関東高校	千葉
ﾊﾝﾏｰ投	47m58	吉田	太	H6.7.22	国体一次南部	上尾
やり投	59m90	田井	政典	S50	県選手権	上尾
五種競技	3481点	平野	洋	S49	関東高校	甲府
八種競技	4523点	久世	康泰	H9.6.28	県選手権	上尾
駅伝	2.19.01	山田・石川・髙橋・鈴木・徳田・恩田・吉田		S61	高校駅伝	東松山

女子

種目	記録	氏	名	年.月.日	大会名	会場
100m	12″31(+1.2)	淺野	えりな	H22.6.6	記録会	上尾
200m	25″41(+0.9)	長嶋	志帆	H28.4.26	学総南部	上尾
400m	57″80	飯島	裕子	S63.5.4	学徒	上尾
800m	2’17″12	田中	晴菜	H28.5.9	学校総体	熊谷
1500m	4’″42″34	花田	歩美	H26.5.25	記録会	上尾
3000m	10’07″58	花田	歩美	H26.7.21	国体南部	上尾
100mH	14″81(−0.4)	星野	早香	H22.6.21	関東高校	笠松
400mH	64″73	前川	友香里	H23.6.24	埼玉県選手権	熊谷
4×100mR	48″38	貞富・星野・	本多・淺野	H22.6.19	関東高校	笠松
4×400mR	4’02″24	関根・田中	長澤・長島	H28.5.10	学校総合	熊谷
走高跳	1m65	南雲	恵子	H7.7.23	国体一次南部	上尾
走幅跳	5m93(+1.0)	淺野	えりな	H22.7.19	国体一次南部	上尾
三段跳	11m42(+0.2)	高橋	礼奈	H26.9.14	新人南部	上尾
砲丸投	11m82	馬場	久子	S52	関東高校	太田
円盤投	39m10	馬場	久子	S52	南部	上尾
やり投	37m94	鈴木	佳子	S53	南部	上尾
五種競技	3745点	須藤	洋子	S44	関東高校	上尾
七種競技	4025点	坂東	千里	H2.6.30,7.1	全国混成	浜松
駅伝	1.21.18	葛山・杉田・小林・伊古田・花田		H25	高校駅伝	熊谷

100m

ﾗﾝｸ	氏　　名	風	記録	年	期日	大会名	会場
1	高野 央司	H	10 ” 6	S53		学徒	上尾
2	大塚 敬一	H	10 ” 7	S42		関東七県	足利
3	服部 翼	+1.2	10 ” 74	H24	5.13	学校総合	熊谷
4	畠山 祐輔	+0.8	10 ” 80	H23	7.17	国体南部	上尾
5	久原 研二郎	H	10 ” 8	H2		記録会	駒場
5	岩崎 朋之	+1.0 H	10 ” 8	H3	7.24	国体一次南部	駒場
7	小林 勇人	+1.8	10 ” 84	H25	7.20	国体南部	上尾
8	井邑 映斗	+1.9	10 ” 88	H25	5.12	学校総体	熊谷
9	服部 翼	+0.5	10 ” 90	H23	7.17	国体南部	上尾
10	村岡 英治	-0.3	11 ” 01	S63		記録会	上尾
10	稲光 洋一	+1.3	11 ” 02	H7	5.15	学校総合	上尾
12	篠崎 信介	+0.8	11 ” 10	H5	7.27	国体一次南部	上尾
13	中島 貴大	+1.5	11 ” 12	H19	5.12	学校総体	熊谷
14	秋本 貴大	±0	11 ” 15	H20	10.05	クラブ対抗	鴻巣
15	末広 崇		11 ” 16	S61	8.22	国体一次南部	上尾
16	作田 康平	+0.5	11 ” 18	H25	6.20	記録会	上尾
17	岡田 幸大	+1.7	11 ” 20	H21	4.18	学校総体南部	上尾
18	染谷 浩	H	11 ” 2	S44		県体	上尾
19	森田 秀一	-0.8	11 ” 22	S60	8.22	国体一次	上尾
19	四方田 英俊	+1.5	11 ” 22	H20	7.20	国体一次南部	上尾

200m

ﾗﾝｸ	氏　　名	風	記録	年	期日	大会名	会場
1	高野 央司		21 ” 76	S53		全国高校	福島
2	小林 勇人	+0.5	21 ” 85	H25	6.16	関東高校	熊谷
3	山崎 剛	+0.6	21 ” 88	H2	8.19	国体一次	上尾
4	井邑 映斗	+0.8	21 ” 99	H25	5.13	学校総体	熊谷
5	秋本 貴大	+1.0	22 ” 00	H21	4.19	学校総体南部	上尾
6	村岡 英治		22 ” 06	S63		ジュニアオリンピック	国立
7	秋本 貴大	+1.9	22 ” 30	H20	9.14	新人南部	上尾
8	大塚 敬一	H	22 ” 3	S41		県新人	大宮
9	服部 翼	+1.7	22 ” 32	H24	5.14	学校総合	熊谷
10	西村 航	+1.5	22 ” 33	H19	4.22	学校総体南部	上尾
10	服部 翼	+0.8	22 ” 33	H23	7.18	国体一次南部	上尾
12	畠山 祐輔	+1.5	22 ” 37	H23	7.18	国体一次南部	上尾
13	篠崎 信介	+13	22 ” 41	H5	7.28	国体一次南部	上尾
14	小縣 良平	±0	22 ” 51	H21	6.06	県選手権	熊谷
15	中島 貴大	+1.5	22 ” 54	H19	5.13	学校総体	熊谷
16	岩崎 朋之	+1.8	22 ” 56	H3	8.25	国体一次	上尾
17	森田 秀一	+2.0 H	22 ” 6	S59	4.28	南部	駒場
17	浅見 拓賜	+0.1 H	22 ” 6	S60	7.24	国体一次南部	駒場
17	末広 崇	+1.5 H	22 ” 6	S61		国体一次南部	川口
20	渡辺 一真	±0	22 ” 63	H12	5.16	学校総体	上尾

400m

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	通番	期日	大会名	会場
1	山崎 剛	SKR 47 ” 57	H2	9.01	国体予選	上尾
2	村岡 英治	47 ” 75	H1	6.23	関東高校	笠松
3	小縣 良平	48 ” 35	H21	6.19	関東高校	宇都宮
4	草島 将光	49 ” 27	H16	6.18	関東高校	熊谷
5	松島 大士	49 ” 50	H27	6.28	記録会	上尾
6	高野 央司	H 49 ” 5	S53		学徒	上尾
7	渡辺 一真	49 ” 95	H12	7.23	国体一次南部	上尾
8	末田 宏幸	H 50 ” 0	S59		新人南部	川口
9	角熊 祐司	50 ” 02	H16	7.21	国体一次南部	上尾
10	山本 工	50 ” 18	H27	9.22	県新人	熊谷
11	池野 克俊	50 ” 32	H27	4.24	学総南部	上尾
12	末田 宏幸	50 ” 35	S59	9.02	国体県予選	上尾
13	並木 智彦	H 50 ” 4	S62	7.22	国体一次南部	川口
14	山田 憲郎	50 ” 48	S61	5.17	学徒	上尾
15	越谷 文秋	50 ” 67	H8	7.27	国体一次南部	上尾
16	村阪 勲	H 50 ” 9	S62	7.22	国体一次南部	川口
17	伊藤 修平	50 ” 92	H9	9.20	新人南部	上尾
18	藤田 真輝	51 ” 06	H28	9.16	新人南部	上尾
19	山本 浩平	51 ” 12	H24	5.01	学総南部	上尾
20	小林 勇人	51 ” 09	H28	9.16	新人南部	上尾

800m

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	通番	期日	大会名	会場
1	松島 大士	1 ’ 52 ” 92	H27	6.21	関東高校	小瀬
2	並木 智彦	1 ’ 54 ” 09	S62	6.21	関東高校	栃木
3	但馬 康秀	1 ’ 55 ” 56	S62	6.27	県選手権	上尾
4	鈴木 保和	1 ’ 56 ” 78	S61	5.19	学徒	上尾
5	鴨志田 新一	1 ’ 56 ” 93	S58	6.25	県選手権	上尾
6	越谷 文秋	1 ’ 57 ” 27	H8	5.21	学校総合	上尾
7	金子 欣也	1 ’ 57 ” 5	S45		国体	岩手
8	青木 勇人	1 ’ 57 ” 52	H25	5.26	記録会	上尾
9	山田 寛朗	1 ’ 57 ” 88	H9	8.18	国体一次	上尾
10	内ヶ崎 佑太	1 ’ 58 ” 49	H22	5.30	記録会	上尾
11	山口 賢之	1 58 86	H12	5.15	学校総体	上尾
12	鈴木 凌太郎	1 58 86	H28	7.16	国体一次南部	上尾
13	阿部 拓実	1 ’ 58 ” 95	H7	8.19	国体一次南部	上尾
14	高瀬 誠也	1 ’ 58 ” 96	H3	10.08	県新人	上尾
15	小島 光一	1 ’ 59 ” 19	H11	5.16	学校総合	上尾
16	山田 寛朗	1 ’ 59 ” 48	H8		学校総合	上尾
17	島田 茂夫	1 ’ 59 ” 6	S42		国体予選	上尾
18	志村 巌	1 ’ 59 ” 6	S56	5.17	学徒	上尾
19	木村 拓海	1 ’ 59 ” 92	H28	9.17	新人南部	上尾
20	伊藤 修平	1 ’ 59 ” 99	H9	8.17	国体一次	上尾

1500m

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	若倉 和也	3 ’ 58 ” 9	S55		県選手権	上尾
2	鴨志田 新一	4 ’ 00 ” 6	S58	4.24	南部	上尾
3	但馬 康秀	4 ’ 02 ” 22	S62	9.13	国体予選	上尾
4	並木 智彦	4 ’ 02 ” 6	S63	7.22	国体一次南部	駒場
5	大野 隆司	4 ’ 03 ” 4	S46		県体	上尾
6	大橋 豊	4 ’ 04 ” 07	H1	4.30	南部	上尾
7	大政 正一	4 ’ 06 ” 6	S52		学徒	上尾
8	安藤 尚弘	4 ’ 06 ” 8	S54		学徒	上尾
9	鈴木 保和	4 ’ 08 ” 1	S60	6.02	記録会	上尾
10	青木 勇人	4 ’ 08 ” 86	H24	7.22	国体南部	上尾
11	諸貫 譲二	4 ’ 09 ” 4	S39		県体	大宮
11	桜井 正雄	4 ’ 09 ” 4	S52		学徒	上尾
13	中島 恵吾	4 ’ 09 ” 97	H4		新人南部	上尾
14	金子 欣也	4 ’ 10 ” 1	S44		県新人	上尾
15	志村 巌	4 ’ 10 ” 2	S55		県新人	上尾
16	須賀 祐三	4 ’ 10 ” 8	S40		県体	大宮
17	小島 光一	4 ’ 10 ” 90	H11	5.14	学校総合	上尾
18	青木 勇人	4 ’ 11 ” 07	H24	4.29	学総南部	上尾
19	島田 茂夫	4 ’ 11 ” 6	S42		学徒	大宮
20	土屋 秀夫	4 ’ 11 ” 6	S44		県新人	上尾

3000m(1年生)

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	神田 浩輝	9 ’ 14 ” 25	H19	7.26	国体南部	鴻巣
2	青木 勇人	9 ’ 25 ” 59	H23	5.29	長跳投記録会	上尾
3	関根 輝也	9 ’ 35 ” 17	H21	7.20	国体南部	上尾
4	櫛島 涼	9 ’ 47 ” 47	H23	7.18	国体南部	上尾
5	森山 翔太	9 ’ 49 ” 62	H21	7.20	国体南部	上尾
6	内ヶ崎 雄太	9 ’ 50 ” 93	H20	5.25	長跳投記録会	鴻巣
7	小金井 雄太	9 ’ 52 ” 43	H24	7.22	国体南部	上尾
8	内田 巧	9 ’ 53 ” 76	H23	7.18	国体南部	上尾
9	笠谷 丈二	9 ’ 54 ” 73	H22	5.30	長跳投記録会	上尾
10	土屋 航介	9 ’ 54 ” 87	H20	7.21	国体南部	上尾
11	安助 拓也	10 ’ 02 ” 42	H20	7.21	国体南部	上尾
12	寺川 太志	10 ’ 02 ” 66	H24	7.22	国体南部	上尾
13	河野 秀斗	10 ’ 07 ” 33	H22	5.30	長跳投記録会	上尾
14	野末江 孝志	10 ’ 07 ” 73	H24	6.10	長跳投記録会	上尾
15	桐生 拓海	10 ’ 13 ” 36	H23	5.28	長跳投記録会	上尾
16	杉山 諒	10 ’ 20 ” 06	H24	6.10	長跳投記録会	上尾
17	山岸 康平	10 ’ 22 ” 83	H22	5.30	長跳投記録会	上尾
18	甲斐 拓海	10 ’ 25 ” 33	H23	5.28	長跳投記録会	上尾
19	戸澤 好貴	10 ’ 41 ” 48	H20	5.25	長跳投記録会	鴻巣
20	山崎 広夢	10 ’ 44 ” 77	H21	5.31	長跳投記録会	鴻巣

110mH

5000m

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	若倉 和也	14 ’ 44 ” 1	S55		全国高校	松山
2	大野 隆司	15 ’ 14 ” 0	S46		国体	和歌山
3	岡田 輝幸	15 ’ 31 ” 2	S46		記録会	上尾
4	鴨志田 新一	15 ’ 33 ” 6	S57	10.17	記録会	大宮
5	土屋 秀夫	15 ’ 37 ” 2	S44		学徒	上尾
6	大政 正一	15 ’ 39 ” 2	S52		関東高校	太田
7	山田 俊路	15 ’ 41 ” 0	S60		記録会	川口
8	神田 浩輝	15 ’ 46 ” 34	H20	5.10	学校総体	熊谷
9	小林 謙介	15 ’ 49 ” 21	H7		南部	上尾
10	恩田 信久	15 ’ 52 ” 0	S61		南部	駒場
10	菊池 秀昭	15 ’ 52 ” 0	S62		南部	上尾
12	森山 翔太	15 ’ 53 ” 68	H23	4.21	学総南部	駒場
13	高橋 達夫	15 ’ 54 ” 6	S39		県体	大宮
14	志村 巌	15 ’ 55 ” 0	S56		記録会	川口
15	関根 輝也	15 ’ 57 ” 25	H22	9.18	新人南部	上尾
16	諸貫 譲二	15 ’ 58 ” 4	S39		国体予選	大宮
17	須賀 祐三	15 ’ 59 ” 6	S40		学徒	大宮
17	菅原 一剛	15 ’ 59 ” 6	H4		記録会	上尾
19	箱田 武夫	16 ’ 02 ” 0	S46		記録会	川口
20	川井 昭彦	16 ’ 02 ” 4	S51		記録会	上尾

10000m

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	鈴木 保和	33 ’ 28 ” 3	S60	10.20	長距離記録会	上尾
2	恩田 信久	35 ’ 27 ” 8	S61	6.01	長距離記録会	上尾
3	名倉 毅	35 ’ 37 ” 8	S61	10.19	長距離予選会	上尾

110mJH

ﾗﾝｸ	氏　　名	風	記録	年	期日	大会名	会場
1	平野 洋	H	14 ” 3	S49		国体	笠松
1	村山 孝	H	14 ” 3	S56	6.12	関東高校	笠松
	村山 孝		14 ” 31	S56		全国高校	三ツ沢
3	小沼 彰彦	H	14 ” 9	S46		国体	和歌山
4	中渡瀬 隆文	H	15 ” 2	S45		記録会	上尾
5	末田 宏幸	H	15 ” 3	S58	9.04	国体予選	上尾
6	田口 賢明	H	15 ” 6	S49		国体予選	上尾
7	岡田 巧	H	15 ” 7	S37		全国高校	大分
8	塩田 征夫	H	15 ” 9	S37		県体	大宮
8	斎藤 浩一	H	15 ” 9	S47		学徒	上尾
10	野田 繁	H	16 ” 0	S40		学徒	大宮
11	荻野 一夫	H	16 ” 1	S39		県体	大宮
12	畠山 祐輔	-1.1	16 ” 19	H21	8.11	国体予選	上尾
13	大熊 宏和	+1.1	16 ” 27	H13	7.23	国体一次南部	上尾
14	情野 雄大	+1.1	18 ” 01	H28	7.16	国体一次南部	上尾

1500mSC

ﾗﾝｸ	氏　　名	風	記録	年	期日	大会名	会場
1	村山 孝	H	15 ” 1	S56		県選手権	上尾
2	渋谷 守	+0.1	15 ” 50	H3	5.12	学校総合	上尾
3	大熊 宏和	-0.4	16 ” 04	H14	8.27	国体予選	上尾
4	渡辺 歩樹	-1.4	16 ” 06	H24	7.21	国体南部	上尾
5	杉原 秀明		16 ” 10	H4		国体一次	上尾
5	山下 修司	+1.0	16 ” 10	H22	4.25	学校総体南部	上尾
7	草島 将光	-1.7	16 ” 22	H15	4.19	学校総体南部	上尾
8	末田 宏幸	H	16 ” 3	S59		南部	駒場
9	渡辺 歩樹	-1.4	16 ” 06	H24	7.21	国体一次南部	上尾
10	古賀 隆史	+1.7	17 ” 50	H19	7.25	国体一次南部	鴻巣
11	渋谷 祐一		17 ” 91	H8		南部	上尾
12	小出 薫	+0.6	18 ” 28	H23	9.16	新人南部	上尾
13	皆川 達海	+1.7	20 ” 46	H25	9.13	新人南部	上尾
14	黒川 敦史	+1.8	20 ” 58	H25	9.13	新人南部	上尾

400mH

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	末田 宏幸	53 ” 00	S60	8.23	国体一次	上尾
2	山下 修司	53 ” 77	H23	6.18	関東高校	千葉
3	草島 将光	54 13	H16	7.22	国体一次南部	上尾
4	角熊 祐司	55 00	H16	6.25	埼玉選手権	上尾
5	山崎 剛	H 55 ” 4	H1	7.25	国体一次南部	駒場
6	小沼 彰彦	H 56 ” 3	S46		学徒	上尾
7	渋谷 守	56 ” 33	H3	5.13	学校総合	上尾
8	大浪 惇	56 ” 41	H23	7.18	国体南部	上尾
9	小肥 知広	56 43	H14	7.25	国体一次南部	上尾
10	村山 孝	56 ” 46	S55		全日本ジュニア	国立
11	荒井 秀介	H 56 ” 6	S57	5.16	学徒	上尾
12	小菅 健治	56 ” 64	S63	10.09	県新人	上尾
13	田中 靖	H 57 ” 5	S58		国体一次	上尾
14	杉原 秀明	57 ” 80	H4		国体一次南部	駒場
15	皆川 達海	57 ” 82	H26	4.25	学総南部	上尾
16	桃谷 一秀	H 57 ” 9	S48		学徒	上尾
17	渋谷 祐一	58 ” 11	H8		学校総体	上尾
18	川名 雄一	58 ” 35	H5		国体一次南部	上尾
19	伊藤 昇平	58 ” 28	H11	5.03	学総南部	上尾
20	斉藤 浩一	H 58 ” 8	S46		学徒	上尾

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	大政 正一	4 ’ 20 ” 5	S52		全国高校	岡山
2	長島 良亮	4 ’ 31 ” 1	S51		学徒	上尾
3	鴨志田 新一	4 ’ 31 ” 8	S57	5.01	南部	上尾
4	青木 信夫	4 ’ 34 ” 3	S48		学徒	上尾
5	川井 昭彦	4 ’ 39 ” 0	S51		学徒	上尾
6	坂本 静男	4 ’ 41 ” 0	S47		学徒	上尾
7	大岡 正	4 ’ 41 ” 4	S46		県体	上尾
8	水落 英次	4 ’ 41 ” 5	S56		南部	川口
9	須賀 裕三	4 ’ 42 ” 4	S40		県体	大宮
10	岩本 淳	4 ’ 42 ” 5	S47		県新人	上尾
11	高橋 敏行	4 ’ 44 ” 0	S43		学徒	上尾
12	高橋 達夫	4 ’ 44 ” 8	S40		学徒	大宮

3000mSC

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	荒川 純	9 ’ 34 ” 78	H13	4.23	学総南部	上尾
2	大橋 豊	9 ’ 43 ” 1	H1	5.01	南部	上尾
3	鴨志田 新一	9 ’ 44 ” 2	S58	4.25	南部	上尾
4	名倉 毅	9 ’ 45 ” 0	S61		南部	駒場
5	神田 浩輝	9 ’ 45 ” 92	H21	4.19	学総南部	上尾
6	関根 輝也	9 ’ 46 ” 39	H23	6.25	埼玉県選手権	熊谷
7	神田 浩輝	9 ’ 50 ” 43	H20	5.11	学校総合	熊谷
8	斉藤 徹	9 ’ 50 ” 83	H5	5.17	学校総合	上尾
9	櫛島 健司	9 ’ 52 ” 20	H9	10.07	県新人	上尾
10	石原 智裕	9 ’ 53 ” 4	S63	5.15	学徒	上尾
11	森山 翔太	9 ’ 55 ” 94	H23	4.22	学総南部	上尾
12	菅原 一剛	9 ’ 56 ” 18	H3	5.12	学校総合	上尾
13	石川 秀司	9 ’ 56 ” 9	S60	9.28	新人南部	川口
14	木村 拓海	10 ’ 09 ” 93	H28	9.16	新人南部	上尾
15	山内 雄太	10 ’ 13 ” 12	H27	4.26	学総南部	上尾
16	櫛島 涼	10 ’ 16 ” 50	H25	7.21	国体一次南部	上尾
17	笠谷 丈二	10 ’ 24 ” 83	H24	5.01	学総南部	上尾
18	小金井 雄太	10 ’ 25 ” 98	H26	4.27	学総南部	上尾
19	浅見 岳宏	10 ’ 26 ” 93	H19	4.22	学総南部	上尾
20	戸澤 好貴	10 ’ 30 ” 04	H21	9.18	新人南部	上尾

5000mW

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	下向 修平	32 ’ 45 ” 32	H23	9.30	新人	熊谷

走高跳

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	島田 竜太郎	2 m 00	S52		関東高校	太田
1	座古 幸伸	2 m 00	S60	10.27	記録会	上尾
3	平野 洋	1 m 93	S47		県新人	上尾
4	長広 賢二	1 m 90	S53		学徒	上尾
4	石原 雅樹	1 m 90	H19	7.22	国体一次南部	鴻巣
4	桝田 明弘	1 m 90	H20	4.19	南部	上尾
6	大朏 尚也	1 m 85	H28	7.16	国体一次南部	上尾
6	鈴木 大輔	1 m 85	H11	7.26	国体一次南部	上尾
9	斉藤 誠人	1 m 80	H22	7.18	国体一次南部	上尾
9	斉木 隼人	1 m 80	H24	4.29	学校総体南部	上尾
9	大朏 尚也	1 m 80	H26	9.30	新人	熊谷
9	筆脇 智宏	1 m 80	H27	10.12	記録会	越谷
9	田口 賢明	1 m 80	S50		埼玉県選手権	上尾
9	田中 靖	1 m 80	S58	4.24	南部	上尾
9	斉木 隼人	1 m 80	H23	9.16	新人南部	上尾
16	天野 均	1 m 77	S51		学徒	上尾
17	岡田 巧	1 m 75	S37		記録会	大宮
17	塩田 征夫	1 m 75	S37		県選手権	大宮
17	武長 正	1 m 75	S42		県選手権	大宮
17	中渡瀬 隆文	1 m 75	S45		学徒	上尾
17	松本 隆男	1 m 75	S45		学徒	上尾
17	佐藤 正博	1 m 75	S47		学徒	上尾
17	井沢 重夫	1 m 75	S49		新人南部	上尾
17	中西 信幸	1 m 75	S51		新人南部	上尾
17	添田 浩樹	1 m 75	S54		南部	川口
17	菅原 一樹	1 m 75	H24	9.16	新人南部	上尾
17	筆脇 智宏	1 m 75	H26	7.21	国体一次南部	上尾

棒高跳

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	黒沢 達	4 m 50	H1	6.04	記録会	駒場
2	佐野 真次	3 m 90	S45		記録会	上尾
3	尾梶 博	3 m 80	S41		県体	大宮
3	矢部 誠二	3 m 80	S46		南部新人	上尾
3	吉田 久雄	3 m 80	S47		県体	上尾
3	鈴木 賢司	3 m 80	S59	9.02	国体県予選	上尾
7	生沢 邦男	3 m 30	S44		県体	上尾
8	野田 繁	3 m 20	S40		記録会	大宮
9	塩田 征夫	3 m 15	S37		記録会	大宮
10	遠藤 中	3 m 10	S40		記録会	大宮
10	小沼 彰彦	3 m 10	S44		南部	上尾
10	加藤 忠男	3 m 10	S47		南部	上尾

砲丸投

走幅跳

ﾗﾝｸ	氏　　名	風	記録	年	期日	大会名	会場
1	中島 貴大	+1.1	7 m 19	H19	7.25	国体一次南部	鴻巣
2	佐藤 貴之	±0	6 m 96	H3	8.23	国体一次	上尾
2	太田 隼	+1.2	6 m 96	H26	4.25	学総南部	上尾
4	作田 康平	±0	6 m 87	H25	6.29	埼玉県選手権	熊谷
4	川田 一成		6 m 87	S43		学徒	上尾
6	森 邦明	+0.5	6 m 86	H7	7.22	国体一次南部	上尾
7	秋本 貴大	-1.0	6 m 75	H21	7.19	国体一次南部	上尾
8	久原 研二郎	+1.2	6 m 74	H2	9.01	国体予選	上尾
9	伊地知 正朝	+1.1	6 m 72	S62	7.22	国体一次南部	川口
10	中村 正信		6 m 71	S48		関東高校	笠松
10	田波 浩介	+1.1	6 m 71	H10	7.21	国体一次南部	上尾
12	後藤 泰紀	-0.7	6 m 57	H16	7.21	国体一次南部	上尾
13	大朏 尚也	+0.2	6 m 56	H28	7.17	国体一次南部	上尾
14	福田 伸一郎		6 m 53	S42		学徒	大宮
15	荒井 秀介	±0	6 m 53	S56	9.25	新人南部	川口
15	黒田 素啓	+0.8	6 m 52	H2	4.20	南部	上尾
17	稲光 洋一	-0.5	6 m 52	H7	6.11	記録会	鴻巣
17	斉藤 渉	+1.9	6 m 51	H3	9.23	新人南部	駒場
19	根本 一俊		6 m 50	S55		県新人	上尾
20	佐藤 清信	±0	6 m 48	H5	7.27	国体一次南部	上尾

三段跳

ﾗﾝｸ	氏　　名	風	記録	年	期日	大会名	会場
1	室井 秀夫		14 m 22	S54		南部	上尾
2	伊地知 正朝		14 m 08	S62	10.25	記録会	上尾
3	武長 正		13 m 93	S42		学徒	大宮
4	中島 貴大	+1.5	13 m 82	H18	5.15	学校総体	熊谷
5	座古 幸伸	+1.1	13 m 77	S61	5.03	南部	駒場
6	久原 研二郎	+0.1	13 m 76	H2	8.19	国体一次	上尾
7	筆脇 智宏	+1.1	13 m 66	H28	4.24	南部	上尾
8	森 邦明	−1.5	13 m 62	H7	8.19	国体一次	上尾
9	佐々木 浩		13 m 54	S51		県選手権	上尾
10	根本 一俊		13 m 40	S56		記録会	上尾
11	神保 国男		13 m 37	S35		県選手権	大宮
12	小林 平		13 m 36	S40		県体	大宮
13	清水 祐希	+1.3	13 m 35	H17	4.24	学校総体南部	上尾
14	天野 和則		13 m 32	S39		県新人	大宮
15	佐藤 公彦		13 m 24	H1	7.25	国体一次南部	駒場
16	安部 竜二		13 m 23	S60	5.04	南部	駒場
16	稲光 洋一		13 m 23	H7	5.01	南部	上尾
18	田口 孝		13 m 22	S44		県新人	上尾
19	久保 信之		13 m 21	S40		学徒	大宮
20	加藤 森悠	−0.3	13 m 17	H16	5.17	学校総体	熊谷

ハンマー投げ

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	関根 敦夫	14 m 82	S52		学徒	上尾
2	宮林 健二郎	14 m 55	S58	4.24	南部	川口
3	天野 和則	13 m 94	S39		学徒	大宮
4	桑原 伯至	13 m 61	S55		学徒	上尾
5	菅原 和浩	13 m 28	S52		四地区	上尾
6	小林 光太郎	13 m 20	S63	4.22	南部	上尾
7	小野 裕一	12 m 95	S62	4.26	南部	上尾
8	鈴木 信行	12 m 71	S44		学徒	上尾
9	塩田 征夫	12 m 50	S37		学徒	大宮
10	小山 晃弘	12 m 49	S60		国体一次南部	駒場
11	遠藤 中	12 m 47	S40		記録会	大宮
12	尾梶 博	12 m 44	S41		記録会	大宮
13	田井 政典	12 m 28	S50		南部	上尾
14	金子 功	12 m 01	S49		南部	上尾
15	中西 信幸	11 m 94	S51		四地区	上尾
16	五十嵐 富士男	11 m 82	S49		南部	上尾
17	鈴木 継昭	11 m 78	S52		記録会	上尾
1	藤原 晃太郎	14P 11 m 31	H27	5.10	学校総体	熊谷
2	武井 賢太郎	14P 11 m 22	H20	7.20	国体一次南部	上尾
3	丸山 倫太郎	14P 10 m 72	H23	10.29	HIGH-KIDS陸上	熊谷
4	嶋田 貴文	14P 10 m 20	H9	7.23	国体一次南部	上尾
5	関 竜也	14P 7 m 74	H9	7.23	国体一次南部	上尾

円盤投

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	天野 和則	46 m 90	S40		関東高校	千葉
2	丸山 大輔	46 m 48	H19	7.25	国体一次	鴻巣
3	小林 光太郎	44 m 92	S63	4.23	南部	上尾
4	阿部 義弘	40 m 70	H8	5.03	南部	上尾
5	桑原 伯至	40 m 02	S56	4.29	南部	川口
6	菅原 和浩	39 m 94	S52		国体予選	上尾
7	橋爪 滉平	36 m 86	H19	10.21	越谷カップ	越谷
8	橋本 寿	39 m 84	S62	5.17	学徒	上尾
9	小山 晃弘	39 m 48	S60	8.23	国体一次	上尾
10	橋本 寿	38 m 94	S61	9.21	南部新人	駒場
11	飯田 孝司	38 m 78	S41		県体	大宮
12	並木 康彰	38 m 24	S57	5.01	南部	上尾
13	奥田 孝司	38 m 06	S41		県体	大宮
14	関根 敦夫	37 m 86	S52		記録会	上尾
15	増岡 陽一	37 m 76	H1	5.01	南部	上尾
16	鈴木 信行	37 m 60	S44		県体	上尾
17	鈴木 千昭	37 m 53	S39		記録会	大宮
18	中村 博	37 m 42	S39		県体	大宮
19	小山 晃弘	36 m 88	S59	9.30	南部新人	川口
20	柳沢 誠	36 m 82	S47		国体予選	上尾

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	吉田 太	47 m 58	H6	7.22	国体一次南部	上尾
2	小野 裕一	43 m 72	S62	4.27	南部	上尾
3	橋本 寿	43 m 18	S62	4.27	南部	上尾
4	本橋 慎也	41 m 62	H9	4.28	南部	上尾
5	阿部 義弘	36 m 02	H7	10.13	県新人	上尾
6	小幡 浩一	32 m 10	H3		国体一次南部	駒場
7	田中 誠	29 m 74	H3		南部	上尾
8	宮本 敏裕	28 m 86	H8	10.11	県新人	上尾
9	嶋田 貴文	24 m 92	H9	5.16	学校総合	上尾

ヤリ投げ

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	田井 政典	59 m 90	S50		県選手権	上尾
2	小野 裕一	56 m 48	S62	5.18	学徒	上尾
3	竹田 哲郎	52 m 90	H9	10.07	県新人	上尾
4	諫崎 吉輝	52 m 66	S52		学徒	上尾
5	原田 英気	52 m 58	S43		学徒	上尾
6	椎名 史樹	50 m 94	H1	7.24	国体一次南部	駒場
7	和田 仁彦	50 m 66	S59	7.23	クラス別	上尾
8	遠藤 中	49 m 83	S40		学徒	大宮
9	室井 秀夫	49 m 76	S54		国体一次	上尾
10	広沢 日出夫	49 m 48	S41		記録会	大宮
11	柳沢 誠	48 m 70	S47		南部	川口
12	岩崎 洋	48 m 52	S50		学徒	大宮
13	丸山 大輔	47 m 50	H19	4.07	しらこばと記録会	越谷
14	中村 博	47 m 02	S38		学徒	大宮
15	元田 秀典	47 m 02	S45		県体	上尾
16	土屋 圭司	47 m 00	S45		県南	上尾
17	天野 和則	45 m 34	S40		学徒	大宮
18	塩田 征夫	45 m 32	S37		記録会	川口
19	水口 雄貴	43 m 64	H10	7.21	国体一次南部	上尾

五種競技

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	平野 洋	3481	S49		関東高校	甲府
2	座古 幸伸	3053	S60	7.6,7	混成	上尾
3	中渡瀬 隆文	3042	S45		関東高校	横浜
4	末田 宏幸	2927	S59	6.30,7.1	混成	上尾
5	天野 均	2780	S51		関東高校	国立

八種競技

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	久世 康泰	4523	H9	6.28	県選手権	上尾
2	黒田 素啓	4495	H2	6.29,30	混成	上尾
3	斉藤 渉	4181	H3	6.28,29	県選手権	上尾
4	伊藤 昇平	3971	H11	6.25	県選手権	上尾
5	芝 正樹	3611	S61	7.5,6	混成	上尾
6	大場 真己	3233	H1	7.8,9	混成	上尾
7	小野 裕一	3021	S61	7.5,6	混成	上尾

100m

ﾗﾝｸ	氏　　名	風	記録	年	期日	大会名	会場
1	淺野 えりな	+1.2	12 ” 31	H22	6.06	短跳投記録会	上尾
2	川口 ルナ	+1.0	12 ” 56	H20	7.20	国体一次南部	上尾
3	長嶋 志帆	+1.3	12 ” 57	H28	7.16	国体一次南部	上尾
4	伊沢 富士子	H	12 ” 6	S45		県新人	上尾
4	山下 正子	H	12 ” 6	S53		学徒	上尾
4	古美門 久恵	+0.9 H	12 ” 6	S57	8.22	国体一次	上尾
7	飯塚 恵美子	+1.3	12 ” 61	H2	8.18	国体一次	上尾
8	星野 早香	+1.4	12 ” 62	H22	6.06	短跳投記録会	上尾
9	内桶 彩	+0.9	12 ” 65	H24	4.30	学校総体南部	上尾
10	白石 陽子	H	12 ” 7	S46		学徒	上尾
11	貞富 真優	±0.0	12 ” 71	H21	9.18	新人南部	上尾
12	南雲 明恵	+1.7	12 ” 74	H7	9.19	新人南部	上尾
13	高橋 礼奈	+0.9	12 ” 79	H27	4.25	学総南部	上尾
14	新妻 美也	+0.8 H	12 ” 8	S60	7.23	国体一次南部	駒場
14	山本 育美	H	12 ” 8	S51		学徒	上尾
16	山井 優香	+1.9	12 ” 85	H19	7.26	国体一次南部	鴻巣
17	峰岸 幸恵	+1.2	12 ” 87	H7	7.22	国体一次南部	上尾
18	小川 智也子		12 ” ##	S59	5.20	学徒	上尾
18	田中 美央	+0.9	12 ” 88	H22	7.18	国体一次南部	上尾
20	鈴木 瑞央	+1.3	12 ” 90	H25	9.13	新人南部	上尾

200m

ﾗﾝｸ	氏　　名	風	記録	年	期日	大会名	会場
1	長嶋 志帆	+0.9	25 ” 41	H28	4.26	南部	上尾
2	田中 智子	+1.3	25 ” 75	H5	7.28	国体一次南部	上尾
2	山井 優香	+1.0	25 ” 75	H19	6.17	関東高校	小瀬
4	星野 早香	+1.0	25 ” 95	H22	6.06	短跳投記録会	上尾
5	窪田 実樹	+0.1	25 ” 99	H27	4.26	学総南部	上尾
6	鈴木 真琴	+1.1	25 ” 99	H23	9.16	南部新人	上尾
7	新妻 美也	+0.8	26 ” 00	S60	7.24	南部	駒場
8	白石 陽子	H	26 ” 0	S46		関東高校	千葉
9	貞富 真優	+0.4	26 ” 02	H22	4.25	南部	上尾
10	淺野 えりな	+1.0	26 ” 04	H22	6.06	記録会	上尾
11	飯島 裕子	+2.0	26 ” 3	S62	9.27	新人南部	駒場
12	内桶 彩	+1.7	26 ” 31	H24	5.14	学校総合	熊谷
13	飯塚 恵美子	+2.0	26 ” 41	H3	5.14	学校総合	上尾
14	大月 佐予子		26 ” 70	S58	5.14	学徒	上尾
15	小川 智也子		26 ” 70	S58	9.17	南部新人	上尾
16	山下 正子	H	26 ” 7	S53		学徒	上尾
17	栗原 京美	H	26 ” 7	S54		南部	上尾
18	川口 ルナ	+1.5	26 ” 77	H19	4.22	学校総体南部	上尾
19	山本 育美	H	26 ” 9	S51		学徒	上尾
20	浜中 和子	H	27 ” 0	S40		学徒	大宮

400m

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	飯島 裕子	57 ” 80	S63	5.14	学徒	上尾
2	長嶋 志帆	58 ” 37	H28	4.22	南部	上尾
3	窪田 実樹	58 ” 39	H27	6.28	記録会	上尾
4	鈴木 真琴	58 ” 73	H24	4.29	南部	上尾
5	白石 陽子	H 58 ” 8	S46		関東高校	千葉
6	津川 伸子	H 60 ” 0	S53		国体一次	上尾
7	新妻 美也	60 ” 08	S60	5.03	南部	駒場
8	田中 晴菜	60 ” 21	H28	4.22	南部	上尾
9	吉田 洋子	H 60 ” 4	S47		関東高校	宇都宮
10	与那国 芳江	60 ” 41	H7	7.22	国体一次南部	上尾
11	森泉 明子	H 60 ” 5	S55		国体一次	上尾
12	田口 典子	60 ” 69	S62	10.11	県新人	上尾
13	渡辺 智子	60 ” 76	H4		国体一次	上尾
14	田中 智子	60 ” 84	H5	8.17	国体一次	上尾
15	山井 優香	60 ” 84	H19	4.20	学校総体南部	上尾
16	飯島 裕子	62 ” 00	S61	9.20	新人南部	川口
17	大月 佐予子	H 62 ” 0	S58		新人南部	上尾
18	内桶 彩	62 ” 02	H23	5.07	学校総合	熊谷
19	南原 綾	62 ” 20	H20	9.13	新人南部	上尾
20	藤川 由利子	62 ” 26	H6		学校総合	上尾

800m

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	田中 晴菜	2 ’ 17 ” 12	H28	5.09	学校総体	熊谷
2	与那国 芳江	2 ’ 18 ” 41	H7	5.01	南部	上尾
3	吉田 洋子	2 ’ 20 ” 8	S47		関東高校	宇都宮
4	渡辺 恭子	2 ’ 21 ” 85	H8	5.20	学校総合	上尾
5	杉田 奈央	2 ’ 22 ” 63	H26	4.13	記録会	上尾
6	平野 智子	2 ’ 22 ” 7	S50		日中親善	国立
7	根本 咲	2 ’ 22 ” 78	H22	10.10	県新人	熊谷
8	長澤 芽衣子	2 ’ 22 ” 92	H28	5.09	学校総体	熊谷
9	葛山 幸恵	2 ’ 24 ” 41	H25	4.14	記録会	上尾
10	坂東 千里	2 ’ 24 ” 99	H2	7.01	全国混成	浜松
11	伊藤 晃子	2 ’ 25 ” 01	H1	5.01	南部	上尾
12	杉田 奈央	2 ’ 25 ” ##	H25	9.14	新人南部	上尾
13	藤岡 裕美	2 ’ 26 ” ##	H24	5.13	学校総体	熊谷
14	青海 明花	2 ’ 26 ” ##	H28	9.17	新人南部	上尾
15	前嶋 素子	2 ’ 26 ” 7	S58	4.25	南部	駒場
16	鈴木 美奈穂	2 ’ 27 ” 94	H21	7.19	国体一次南部	上尾
17	小見 富美子	2 ’ 28 ” 4	S48		県体	上尾
18	新家 美沙子	2 ’ 28 ” ##	H8		国体一次	上尾
18	石川 令子	2 ’ 29 ” ##	H24	9.17	新人南部	上尾
20	熊代 真希子	2 ’ 29 ” 8	S52		関東高校	太田

1500m

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	花田 歩美	4 ’ 42 ” 34	H26	5.25	記録会	上尾
2	田中 晴菜	4 ’ 50 ” 09	H28	7.17	国体一次南部	上尾
3	葛山 幸恵	4 ’ 50 ” 27	H25	4.26	学総南部	上尾
4	長澤 芽衣子	4 ’ 53 ” 23	H28	5.07	学校総合	熊谷
5	根本 咲	4 ’ 54 ” 58	H22	9.17	新人南部	上尾
6	杉田 奈央	4 ’ 57 ” 81	H26	7.22	国体一次南部	上尾
7	藤岡 裕美	4 ’ 57 ” 98	H24	7.22	国体一次南部	上尾
8	石川 令子	4 ’ 58 ” 28	H24	9.16	新人南部	上尾
9	栗原 佐和子	4 ’ 59 ” 02	H20	7.21	国体一次南部	上尾
10	小長光 歩美	5 ’ 00 ” 76	H24	7.22	国体一次南部	上尾
11	青海 明花	5 ’ 02 ” 24	H28	9.16	新人南部	上尾
12	青木 優実	5 ’ 02 ” 60	H23	4.20	学総南部	上尾
13	久住 友紀	5 ’ 04 ” 00	H24	4.29	学総南部	上尾
14	坂本 英美	5 ’ 06 ” 60	S60	6.02	記録会	上尾
15	坂本 奈菜	5 ’ 07 ” 12	H25	4.26	学総南部	上尾
16	新家 美沙子	5 ’ 10 ” ##	H8		記録会	上尾
17	飯田 真菜美	5 ’ 11 ” 69	H19	5.27	長跳投記録会	鴻巣
18	馬場 美由紀	5 ’ 15 ” 20	H10	7.21	国体一次南部	上尾
19	長澤 つぼみ	5 ’ 15 ” ##	H20	9.13	新人南部	上尾
20	根岸 真衣	5 ’ 16 ” 08	H20	5.04	越谷記録会	越谷

3000m

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	花田 歩美	10 ’ 07 ” 58	H26	7.21	国体南部	上尾
2	葛山 幸恵	10 ’ 24 ” 49	H25	5.14	学校総体	熊谷
3	加藤 恵美	10 ’ 25 ” 63	H5	9.25	新人南部	上尾
4	小長光 歩美	10 ’ 41 ” 00	H24	7.21	国体一次南部	上尾
5	青木 優実	10 ’ 42 ” 58	H23	4.22	学総南部	上尾
6	根本 咲	10 ’ 44 ” 61	H20	12.23	上尾選手権	上尾
7	栗原 佐和子	10 ’ 44 ” 93	H20	7.20	国体一次南部	上尾
8	長澤 芽衣子	10 ’ 45 ” 01	H28	4.24	学校総体	熊谷
9	久住 友紀	10 ’ 48 ” 14	H24	5.01	学総南部	上尾
10	坂本 奈菜	10 ’ 50 ” 16	H25	4.28	学総南部	上尾
11	根岸 真衣	11 ’ 21 ” 82	H19	11.04	HIGH KIDS	熊谷
12	東島 可那子	11 ’ 32 ” 24	H25	4.28	学総南部	上尾
13	長澤 つぼみ	11 ’ 32 ” 32	H20	12.23	上尾選手権	上尾
14	藤岡 裕美	11 ’ 34 ” ##	H23	12.23	上尾選手権	上尾
15	飯田 真菜美	11 ’ 34 ” 98	H19	4.22	学総南部	上尾
16	留守 珠美	11 ’ 35 ” 16	H19	7.26	国体一次南部	鴻巣
17	加藤 澄恵	11 ’ 35 ” 57	H4		新人南部	上尾
18	片岡 夏美	11 ’ 37 ” 75	H21	7.19	国体一次南部	上尾
19	鈴木 美菜穂	11 ’ 40 ” 38	H20	12.23	上尾選手権	上尾
20	藤本 珠笛	11 ’ 41 ” 51	H26	9.14	新人南部	上尾

走高跳

100mH

ﾗﾝｸ	氏　　名	風	記録	年	期日	大会名	会場
1	星野 早香	-0.4	14 ” 81	H22	6.21	関東高校	笠松
2	南雲 明恵	+0.3	14 ” 85	H7	10.13	県新人	上尾
3	前川 友香里	+1.1	15 ” 61	H23	5.10	学校総体	熊谷
4	坂東 千里		15 ” 62	H2		学徒	上尾
5	清水 晴美		15 ” 7	S57	5.01	南部	上尾
6	小笠原 章子		15 ” 78	S60	5.18	学徒	上尾
7	須藤 洋子		15 ” 9	S44		関東選手権	甲府
8	江森 美佳	+06	16 ” 07	H8	5.19	学校総合	上尾
9	溝井 菜摘	-0.1	16 ” 16	H20	7.20	国体一次南部	上尾
10	伊東 登志子		16 ” 49	H19	8.12	国体一次	上尾
11	坂本 めぐみ		16 ” 7	S55		南部	川口
12	溝井 菜摘	±0.0	16 ” 79	H19	9.28	新人	熊谷
13	飯塚 容子		17 ” 0	S59		県混成	上尾
14	中山 加奈枝		17 ” 3	S55		南部	川口
15	岩津 香		17 ” 6	S51		学徒	上尾
16	古美門 久恵		17 ” 9	S56		南部	川口
17	中矢 めぐみ	-1.5	18 ” 35	H21	8.02	越谷市選手権	越谷
18	栗原 照江		18 ” 4	S46		南部	川口
19	山川 ユミ		18 ” 5	S51		南部	上尾
20	船越 あけみ		18 ” 6	S47		学徒	上尾
20	高野 智美		18 ” 6	S52		県新人	上尾

400mH

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	前川 友香里	1 ’ 04 ” 73	H23	6.24	埼玉県選手権	熊谷
2	渡辺 智子	1 ’ 07 ” 76	H4		県選手権	上尾
3	星野 早香	1 ’ 08 ” 67	H21	9.19	新人南部	上尾
4	中矢 めぐみ	1 ’ 09 ” 11	H23	5.09	学校総体	熊谷
5	藤川 由利子	1 ’ 09 ” 20	H6	8.18	国体一次	上尾
6	溝井 菜摘	1 ’ 09 ” 67	H20	4.19	南部	上尾
7	熊木 郁子	1 ’ 13 ” 36	H11	10.08	県新人	上尾
8	會田 彩織	1 ’ 16 ” 27	H25	4.30	南部	上尾

走幅跳

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	南雲 恵子	1 m 65	H7	7.23	国体一次南部	上尾
2	永田 純子	1 m 60	S61	10.09	県新人	上尾
3	伊東 登志子	1 m 59	S63	7.09	混成	上尾
4	加藤 なつ	1 m 55	H22	9.18	新人南部	上尾
4	中村 聖子	1 m 55	H10	5.02	南部	上尾
6	渡辺 政枝	1 m 53	S53		学徒	上尾
7	黒子 育代	1 m 50	S54		県選手権	上尾
7	高村 由起子	1 m 50	S56	4.29	南部	川口
7	牛尾 和子	1 m 50	S57	5.01	南部	川口
7	福田 幸子	1 m 50	H1	5.13	学徒	上尾
7	野原 梨沙子	1 m 50	H21	10.11	新人	熊谷
7	高橋 礼奈	1 m 50	H25	6.2	記録会	上尾
13	飯塚 容子	1 m 47	S59		県混成	上尾
14	佐藤 絢子	1 m 45	S40		学徒	大宮
14	須藤 洋子	1 m 45	S44		全国高校	前橋
14	細井 万里子	1 m 45	S56			上尾
14	小熊 瑠美	1 m 45	S62	9.27	新人南部	上尾
14	坂東 千里	1 m 45	H2	6.30	混成	上尾
14	鈴木 由美子	1 m 45	H4		国体一次南部	上尾
20	岩津 香	1 m 40	S50		県新人	上尾
20	荒井 由美	1 m 40	S54		新人南部	上尾
20	田中 理恵	1 m 40	H3		国体一次南部	駒場

ﾗﾝｸ	氏　　名	風	記録	年	期日	大会名	会場
1	淺野 えりな	+1.0	5 m 93	H22	7.19	国体一次南部	上尾
2	坂東 千里	+1.7	5 m 76	H2	8.03	全国総体	仙台
3	高橋 礼奈	+0.3	5 m 72	H25	10.4	国体	調布
4	山本 育美		5 m 68	S51		関東高校	国立
5	飯塚 容子		5 m 68	S58	10.08	県新人	上尾
6	平野 聡美	+0.8	5 m 63	H2	5.14	学徒	上尾
7	古美門 久恵		5 m 60	S57	6.27	県選手権	上尾
8	須藤 洋子		5 m 50	S43		国体予選	上尾
9	鈴木 麻里菜	+0.7	5 m 39	H20	9.26	県新人	上尾
10	川口 ルナ	+0.4	5 m 36	H18	9.29	新人	熊谷
11	石井 芳美		5 m 36	S54		県選手権	上尾
12	鈴木 智子		5 m 32	H4		国体予選	上尾
13	伊沢 富士子		5 m 24	S46		南部	川口
14	高村 由起子		5 m 22	S54		新人南部	川口
15	伊東 登志子	+1.9	5 m 19	S63	7.22	国体一次南部	駒場
16	船越 あけみ		5 m 17	S47		国体予選	上尾
17	山田 菜月	+0.8	5 m 13	H24	5.14	学校総合	熊谷
18	本多 香苗	+0.7	5 m 11	H21	8.02	越谷選手権	越谷
19	斎藤 薫	+0.3	5 m 10	H17	7.10	上尾選手権	上尾
19	佐藤 絢子		5 m 10	S40		県体	大宮
19	山田 ひとみ	±0	5 m 10	S61	10.08	県新人	上尾

三段跳

ﾗﾝｸ	氏　　名	風	記録	年	期日	大会名	会場
1	高橋 礼奈	+0.2	11 m 42	H26	9.14	新人南部	上尾
2	川口 ルナ	+1.4	11 m 30	H20	6.07	県選手権	熊谷
3	淺野 えりな	±0.0	10 m 70	H21	6.07	埼玉選手権	熊谷
4	三輪 麗水	+0.9	10 m 36	H28	7.16	国体一次南部	上尾
5	吉田 歩	±0.0	10 m 25	H25	6.29	埼玉県選手権	熊谷
6	鈴木 麻里菜	+1.8	10 m 24	H21	9.19	新人南部	上尾
7	本多 香苗	+1.7	10 m 15	H22	6.06	記録会	上尾
8	鈴木 桃子	+1.6	10 m 12	H23	7.17	国体南部	上尾
9	今川 知里	+1.3	10 m 07	H19	7.22	国体一次南部	上尾
10	山田 菜月	+1.8	9 m 98	H24	7.22	国体一次南部	上尾
11	伊古田 佳苗	+1.4	9 m 94	H26	4.26	南部	上尾

砲丸投

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	馬場 久子	11 m 82	S52		関東高校	太田
2	早川 由起子	11 m 15	S51		県新人	上尾
3	冨田 美智子	10 m 82	S48		学徒	上尾
4	柏山 真喜子	10 m 64	S63	5.16	学徒	上尾
5	柏谷 みどり	10 m 54	S45		学徒	上尾
6	篠沢 悦江	10 m 51	S40		記録会	大宮
7	須藤 洋子	10 m 51	S44		全国高校	前橋
8	柴田 美和子	10 m 40	S58	4.24	南部	川口
9	田島 恵子	10 m 30	S45		学徒	上尾
10	西方 寧子	10 m 21	S62	8.23	国体一次	上尾
11	沢木 和子	10 m 09	S41		学徒	大宮
12	岸田 則子	9 m 73	S59	9.29	新人南部	駒場
13	早川 寿代	9 m 37	S54		南部	川口
14	矢作 美津子	9 m 30	S46		南部	川口
15	鈴木 明美	9 m 20	S46		南部	川口
16	小島 節子	9 m 19	S41		学徒	大宮
17	柴田 美和子	9 m 15	S57	10.11	県新人	上尾
18	吉田 洋子	9 m 04	S47		南部	川口
19	村田 友紀子	9 m 02	H3	5.03	記録会	上尾
20	中島 悠花	8 m 43	H28	4.24	学校総体南部	上尾

円盤投

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	馬場 久子	39 m 10	S52		南部	上尾
2	西方 寧子	37 m 04	S63	8.23	国体一次	上尾
3	柏山 真喜子	36 m 70	H1	7.25	国体一次南部	駒場
4	沢木 和子	36 m 24	S41		県体	大宮
5	早川 寿代	34 m 84	S54		関東高校	宇都宮
6	柴田 美和子	34 m 64	S58	9.11	県民	上尾
7	冨田 美智子	34 m 48	S48		南部	上尾
8	岸田 典子	33 m 96	S60	5.04	関東高校	笠松
9	柏谷 みどり	33 m 72	S44		県新人	上尾
10	田島 恵子	33 m 48	S45		南部	上尾
11	新井 敏子	33 m 06	S42		南部	大宮
12	早川 由起子	32 m 50	S51		県新人	上尾
13	篠沢 悦江	31 m 42	S40		学徒	大宮
14	水島 節子	31 m 30	S41		県体	大宮
15	木村 京子	29 m 24	S46		県体	上尾
16	構 千恵子	28 m 60	S40		県選手権	大宮
17	川辺 和子	28 m 59	S38		県新人	大宮
18	五位野 光	26 m 42	H9	4.28	学総南部	上尾
19	中島 悠花	25 m 87	H28	7.17	国体一次南部	上尾
20	山村 榛菜	25 m 24	H26	4.26	学総南部	上尾

ヤリ投

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	鈴木 佳子	37 m 94	S53		南部	上尾
2	鈴木 明美	37 m 18	S46		国体予選	上尾
3	小柳 美沙子	34 m 37	H23	7.17	国体南部	上尾
4	高野 愛子	33 m 24	H15	5.16	学校総体	上尾
5	川辺 和子	32 m 98	S39		学徒	大宮
6	村瀬 知子	32 m 82	S61		学徒	上尾
7	森下 陽子	32 m 02	H19	5.11	学校総体	熊谷
8	吉森 友枝	31 m 78	H9	5.16	学校総合	上尾
9	曽根 ひろみ	31 m 52	S59		南部	川口
10	布施 佐知子	30 m 88	H3		南部	上尾
11	苅田 弘美	30 m 74	H5	7.27	国体一次南部	上尾
12	元木 正子	30 m 68	S56		南部	川口
13	椎名 紘子	30 m 58	H24	5.10	学校総体南部	上尾
14	川口 清子	30 m 28	S40		県体	大宮
15	矢作 美津子	29 m 78	S47		南部	川口
16	馬場 久子	29 m 40	S50		県新人	上尾
17	中島 聡美	29 m 39	H20	5.05	記録会	越谷
18	篠沢 悦江	28 m 42	S40		学徒	大宮
19	田島 佳子	27 m 54	S45		南部	上尾
20	林 孝枝	26 m 66	S44		学徒	上尾

五種競技

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	須藤 洋子	3745	S44		全国高校	前橋
2	清水 晴美	3004	S57	7.22	クラス別	上尾
3	飯塚 容子	2969	S59	9.8,9	関東選手権	前橋
4	小笠原 章子	2518	S59	6.30,7.1	混成	上尾
	小笠原 章子	2213	S60	7.6,7	混成	上尾

七種競技

ﾗﾝｸ	氏　　名	記録	年	期日	大会名	会場
1	坂東 千里	4025	H2	6.30,7.1	全国混成	浜松
2	伊東 登志子	3664	S63	7.09	混成	上尾

男子　4×100mR

ﾗﾝｸ	記録	1走者	2走者	3走者	4走者	年	期日	大会名	会場
1	41 ” 72	作田 康平	小林 勇人	綿沼 正伸	井邑 映斗	H25	6.28	埼玉県選手権	熊谷
2	42 ” 13	池田 僚徳	畠山 祐輔	井邑 映斗	服部 翼	H23	6.24	埼玉県選手権	熊谷
3	42 ” 14	江口 直人	作田 康平	小林 勇人	井邑 映斗	H25	7.20	国体南部	上尾
4	42 ” 41	鎌田 健太郎	井邑 映斗	小林 勇人	服部 翼	H24	4.29	学校総合南部	上尾
5	42 ” 49	畠山 裕輔	小縣 良平	岡田 幸大	秋本 貴大	H21	5.09	学校総体	熊谷
6	42 ” 67	綿沼 正伸	井邑 映斗	小林 勇人	作田 康平	H24	9.28	県新人	熊谷
7	42 ” 72	綿沼 正伸	井邑 映斗	小林 勇人	服部 翼	H23	10.01	県新人	熊谷
8	42 ” 74	鎌田 健太郎	小林 勇人	井邑 映斗	服部 翼	H24	7.21	国体一次南部	上尾
9	42 ” 76	池田 偉徳	畠山 祐輔	服部 翼	井邑 映斗	H23	7.17	国体一次南部	上尾
10	42 ” 79	吉岡 宏一	菊地 成樹	室井 秀夫	高野 央司	S53		全国高校	福島
11	42 ” 83	井邑 映斗	畠山 祐輔	池田 偉徳	服部 翼	H23	4.20	学校総体南部	上尾
12	42 ” 97	綿沼 正伸	井邑 映斗	小林 勇人	服部 翼	H23	9.16	新人南部	上尾
13	42 ” 98	大内 徹也	西村 航	速水 義仁	中島 貴大	H19	7.25	国体一次南部	鴻巣
14	43 ” 02	黒田 素啓	山崎 剛	久原 研二郎	岩崎 朋之	H2		国体一次南部	上尾
15	43 ” 24	田村 友一	四方田 英俊	秋本 貴大	大内 徹也	H20	6.06	埼玉県選手権	熊谷
16	43 ” 26	斉藤 誠人	池田 偉徳	服部 翼	畠山 裕輔	H22	5.08	学校総体	熊谷
17	43 ” 40	山崎 剛	村岡 英治	宇佐見 嘉宏	岩崎 朋之	H1		学徒	上尾
18	43 ” 46	吉田 誠	小縣 良平	岡田 幸大	秋本 貴大	H21	4.17	学校総体南部	上尾
19	43 ” 5	後藤 潤	浅見 拓賜	末田 宏幸	森田 秀一	S59		関東高校	上尾
20	43 ” 52	大内 徹也	西村 航	秋本 貴大	中島 貴大	H19	7.25	国体一次南部	鴻巣

男子　4×400mR

ﾗﾝｸ	記録	1走者	2走者	3走者	4走者	年	期日	大会名	会場
1	3 ’ 15 ” 23	山崎 剛	芝 正樹	並木 智彦	村岡 英治	S63	6.26	関東高校	上尾
2	3 ’ 18 ” 1	森田 秀一	浅見 拓賜	嶋沢 秀明	末田 宏幸	S60	6.23	関東高校	笠松
3	3 ’ 19 ” 88	岩崎 朋之	山崎 剛	石塚 健一	村岡 英治	H1	6.23	関東高校	笠松
4	3 ’ 20 ” 3	石塚 健一	芝 正樹	村岡 英治	並木 智彦	S62	10.12	県新人	上尾
5	3 ’ 20 ” 41	山崎 剛	芝 正樹	石塚 健一	村岡 英治	S63	7.03	埼玉県選手権	上尾
6	3 ’ 20 ” 76	鯉沼 竜	角熊 祐司	石井 佑穂	草島 将光	H16	6.27	埼玉県選手権	上尾
7	3 ’ 20 ” 84	小菅 健司	山崎 剛	宇佐見 嘉宏	村岡 英治	H1	5.15	学徒	上尾
8	3 ’ 21 ” 47	石塚 健一	芝 正樹	小菅 健司	村岡 英治	S63	7.03	県選手権	上尾
9	3 ’ 21 ” 56	村岡 英治	村阪 勲	小山 晃嗣	芝 正樹	S62	8.24	国体一次	上尾
10	3 ’ 21 ” 75	山本 工	松島 大士	池野 克俊	皆川 達海	H27	4.26	学校総体南部	上尾
11	3 ’ 21 ” 79	小菅 健司	山崎 剛	石塚 健一	村岡 英治	H1	5.14	学徒	上尾
12	3 ’ 21 ” 94	吉田 誠	秋本 貴大	齋藤 誠人	小縣 良平	H21	6.21	関東高校	宇都宮
13	3 ’ 22 ” 02	黒川 敦史	池野 克俊	松島 大士	山本 工	H27	7.19	国体一次南部	上尾
14	3 ’ 22 ” 03	森田 秀一	浅見 拓賜	嶋沢 秀明	末田 宏幸	S59	10.13	県新人	上尾
15	3 ’ 22 ” 17	布山 和将	芝 正樹	小山 晃嗣	村阪 勲	S62	5.18	学徒	上尾
16	3 ’ 22 ” 49	四方田 英俊	小縣 良平	秋本 貴大	斉藤 駿明	H20	7.21	国体一次南部	上尾
17	3 ’ 23 ” 31	島田 利哉	綿沼 正伸	井邑 映斗	小林 勇人	H24	9.29	県新人	熊谷
18	3 ’ 23 ” 33	秋本 貴大	吉田 諒太	吉田 誠人	小縣 良平	H20	9.28	県新人	上尾
19	3 ’ 23 ” 4	末広 崇	森田 秀一	座古 幸伸	浅見 拓賜	S60	7.24	国体一次南部	駒場
20	3 ’ 23 ” 6	吉岡 宏一	菊地 成樹	吉川 明夫	高野 央司	S53		埼玉県選手権	上尾

女子　４×100mR

ﾗﾝｸ	記録	1走者	2走者	3走者	4走者	年	期日	大会名	会場
1	48 ” 38	貞富 真優	星野 早香	本多 香苗	淺野 えりな	H22	6.19	関東高校	笠松
2	48 ” 82	内桶 彩	田中 美央	本多 香苗	貞富 真優	H23	6.24	埼玉県選手権	熊谷
3	48 ” 99	貞富 真優	星野 早香	田中 美央	淺野 えりな	H22	6.25	埼玉県選手権	熊谷
4	49 ” 46	長嶋 志帆	窪田 実樹	八木橋 千智	高橋 礼奈	H27	7.18	国体一次南部	上尾
4	49 ” 46	今野 七海	八木橋 千智	関根 光沙	長嶋 志帆	H28	4.22	学校総体南部	上尾
6	49 ” 47	長嶋 志帆	窪田 実樹	関根 光沙	高橋 礼奈	H27	5.09	学校総体	熊谷
7	49 ” 56	本多 香苗	貞富 真優	星野 早香	淺野 えりな	H21	10.10	県新人	熊谷
8	’ 49 ” 61	鈴木 麻里菜	星野 早香	門脇 翠	淺野 えりな	H22	7.18	国体一次南部	上尾
9	49 ” 68	南原 綾	星野 早香	門脇 翠	淺野 えりな	H21	5.09	学校総体	熊谷
10	49 ” 7	石井 芳美	津川 伸子	山下 正子	栗原 京美	S53		県選手権	上尾
11	49 ” 87	南原 綾	川口 ルナ	溝井 菜摘	山井 優香	H20	5.09	学校総体	熊谷
12	49 ” 93	鈴木 瑞央	川出 記録会	窪田 実樹	高橋 礼奈	H26	6.27	埼玉県選手権	熊谷
13	49 ” 99	長嶋 志帆	窪田 実樹	八木橋 千智	高橋 礼奈	H26	9.29	県新人	熊谷
14	50 ” 06	平野 聡美	坂東 千里	青木 千枝	飯塚 恵美子	H2	8.18	国体一次	上尾
15	50 ” 1	岡田 素子	伊沢 富士子	栗原 照江	白石 陽子	S46		関東高校	千葉
15	50 ” 1	高村 由起子	和田 恵	坂本 めぐみ	森泉 明子	S55		関東高校	上尾
17	50 ” 12	溝井 菜摘	山井 優香	前田 亜沙美	川口 ルナ	H19	4.20	学校総体南部	上尾
18	50 ” 15	石橋 理恵	飯島 裕子	伊東 登志子	田口 典子	S63	5.15	学徒	上尾
19	50 ” 2	石川 和代	津川 伸子	山下 正子	栗原 京美	S53		国体一次	上尾
20	50 ” 29	大野 晴香	内桶 彩	鈴木 真琴	田中 美央	H24	5.01	学校総体南部	上尾

女子　４×400mR

ﾗﾝｸ	記録	1走者	2走者	3走者	4走者	年	期日	大会名	会場
1	4 ’ 02 ” 24	関根 光沙	田中 晴菜	長澤 芽衣子	長島 志帆	H28	5.10	学校総合	熊谷
2	4 ’ 03 ” 16	内桶 彩	前川 友香里	中矢 めぐみ	貞富 真優	H23	7.18	国体一次南部	上尾
3	4 ’ 03 ” 50	伊東 登志子	田口 典子	曽我 ひとみ	飯島 裕子	S63	7.04	埼玉県選手権	上尾
4	4 ’ 04 ” 98	貞富 真優	星野 早香	鈴木 麻里菜	門脇 翠	H22	7.19	国体一次南部	上尾
5	4 ’ 08 ” 04	川口 ルナ	溝井 菜摘	金子 美佳	山井 優香	H20	7.21	国体一次南部	上尾
6	4 ’ 09 ” 37	鈴木 真琴	内桶 彩	田中 美央	石川 令子	H24	5.15	学校総合	熊谷
7	4 ’ 10 ” 05	内桶 彩	前川 友香里	田中 美央	中矢 めぐみ	H23	4.22	学校総体南部	上尾
8	4 ’ 11 ” 72	貞富 真優	中矢 めぐみ	門脇 翠	根本 咲	H22	5.11	学校総合	熊谷
9	4 ’ 12 ” 06	関根 光沙	田中 晴菜	藤本 珠苗	長島 志帆	H28	7.17	国体一次南部	上尾
10	4 ’ 12 ” 45	鈴木 真琴	石川 令子	田中 美央	内桶 彩	H23	9.17	新人南部	上尾
11	4 ’ 10 ” 05	内桶 彩	石川 令子	大野 晴香	鈴木 真琴	H24	5.01	学校総体南部	上尾
12	4 ’ 13 ” 13	内桶 彩	田中 晴菜	中矢 めぐみ	椎名 紘子	H23	5.10	学校総合	熊谷
13	4 ’ 13 ” 39	大村 ひなた	青海 明花	三輪 麗水	関根 光沙	H28	9.17	新人南部	上尾
14	4 ’ 13 ” 61	本多 香苗	前川 友香里	門脇 翠	根本 咲	H22	6.26	埼玉県選手権	熊谷
15	4 ’ 13 ” 71	川口 ルナ	溝井 菜摘	太田 千尋	南原 綾	H20	4.20	学校総体南部	上尾
16	4 ’ 13 ” 81	太田 千尋	星野 早香	中島 聡美	金子 美佳	H21	7.20	国体一次南部	上尾
17	4 ’ 14 ” 06	南原 綾	貞富 真優	中島 聡美	本多 香苗	H21	6.06	埼玉県選手権	熊谷
18	4 ’ 14 ” 07	山井 優香	溝井 菜摘	川口 ルナ	川口 ルナ	H19	7.26	国体一次南部	鴻巣
19	4 ’ 14 ” 22	山井 優香	溝井 菜摘	前田 亜沙美	川口 ルナ	H19	4.22	学校総体南部	上尾
20	4 ’ 14 ” 25	中矢 めぐみ	前川 友香里	門脇 翠	根本 咲	H22	4.25	学校総体南部	上尾

男子全国高等学校駅伝競走大会埼玉県予選会

年度	順位／記録	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	コース
第16回	2	高橋 達夫		須賀 祐三	関口 進		島田 茂夫		大宮桜木中～
S40	2.19.24	31.56		26.55	27.06		16.31		所沢街道コース
関東大会	20								鎌倉海岸道路
初出場	1.58.27								2周 35.6km
第17回	19						島田 茂夫		大宮桜木中～
S41	2.28.16	34.44	9.59	29.13	29.31	10.16	16.20	18.13	所沢街道コース
第18回	16					佐藤			上尾陸上競技場
S42	2.25.00	33.26	10.48	28.14	28.11	9.44	17.48	16.49	外周コース
第19回	13	土屋 秀夫		高橋 敏行					行田富士見公園
S43	2.24.23	32.54	10.33	27.17	28.02	11.23	16.53	17.03	富士見橋～東谷橋
第20回	8			土屋 秀夫				金子 欣也	行田市県道
S44	2.23.58	33.11	10.04	26.57	28.32	10.32	17.46	16.59	古名～行田線
第21回	4	大野 隆司	小池 和春	稲垣 英夫	箱田 武夫	大岡 正	岡田 輝幸	金子 欣也	行田市県道
S45	2.21.27	32.44	10.15	27.47	27.34	9.59	16.34	16.34	古名～行田線
関東大会	31								日光～鬼怒川
2回目	2.22.42								往復コース
第22回	3	大野 隆司	矢作 雅美	岡田 輝幸	箱田 武夫	鈴木 浩良	大岡 正	坂本 静男	行田市県道
S46	2.20.50	31.29	9.54	26.53	27.23	10.26	17.27	17.18	古名～行田線
関東大会	11	大野 隆司	矢作 雅美	岡田 輝幸	箱田 武夫	鈴木 浩良	大岡 正	坂本 静男	河口湖周回コース
3回目	2.19.19								
第23回	6	岡田 輝幸	坂本 静男	青木	岩本 敦	小森	品田 秀隆	鈴木 浩良	行田市県道
S47	2.27.05	33.44	10.08	27.52	28.46	10.38	17.53	18.04	古名～行田線
関東大会	34	岡田 輝幸	坂本 静男	青木	岩本 敦	小森	品田 秀隆	鈴木 浩良	群馬県営競技場
4回目	2.24.13								マラソンコース
第24回	16								行田史跡
S48	2.23.18	34.46	10.31	30.54	30.51	10.56	17.41	17.39	石田堤コース
第25回	10	品田 秀隆	佐野 正彦	川井 昭彦	長島 良亮	水庭 裕	武田	小林 勉	行田史跡
S49	2.30.16					10.29			石田堤コース
第26回	6	川井 昭彦	水庭 裕	大政 正一	安部 正文	斎藤 昇	桜井 正雄	長島 良亮	行田史跡
S50	2.27.26	34.38		27.26		10.18	16.43	17.49	石田堤コース

男子全国高等学校駅伝競走大会埼玉県予選会

年度	順位／記録	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	コース
関東大会	41	川井 昭彦	水庭 裕	大政 正一	安部 正文	斎藤 昇	桜井 正雄	長島 良亮	京成佐倉北口～
5回目	2.29.17	37.22	10.53	26.58	28.41	10.06	17.49	17.09	印西農協往復
第27回	5	大政 正一	武田	桜井 正雄	川井 昭彦	吉川 明夫	安部 正文	長島 良亮	秩父市郊外
S51	2.21.48	32.44	9.58	28.10	27.18	10.23	16.23	16.52	駅伝コース
関東大会	26	大政 正一	武田	桜井 正雄	川井 昭彦	吉川 明夫	安部 正文	長島 良亮	秩父市郊外
6回目	2.19.49	31.50	9.49	28.08	26.48	10.16	16.38	16.20	駅伝コース
第28回	6	大政 正一	石毛 淳	安部 正文	安藤 尚弘	中村 智志	桜井 正雄	吉川 明夫	秩父市郊外
S52	2.20.07	32.29		25.38	27.24		16.43		駅伝コース
関東大会	44	大政 正一	石毛 淳	安部 正文	安藤 尚弘	中村 智志	桜井 正雄	吉川 明夫	泰野市
7回目	2.29.00	33.46	10.03	28.16	29.40	10.30	18.29	18.16	
第29回	15	安藤 尚弘	荏原 繁二	若倉 和也	中村 智志	平田	斎藤 好一	北堀 克則	行田史跡
S53	2.26.16	33.09			27.52				石田堤コース
第30回	11	若倉 和也	北堀 克則	安藤 尚弘	志村 巌	中村 智志	荏原 繁二	斎藤 好一	行田史跡
S54	2.25.20	32.01			27.50				石田堤コース
第31回	7	若倉 和也	足立 敦彦	志村 巌	水落 英次	斎藤 好一	高浜	長島 宏和	行田史跡
S55	2.25.06	32.35	9.57	28.26	28.10			17.08	石田堤コース
第32回	9	志村 巌	佐藤 敦彦	長島 宏和	鴨志田 新一	辺見	藤田 成司	水落 英次	行田史跡
S56	2.20.55		9.29 4	26.52 7	27.18 8		16.39 9	16.27 6	石田堤コース
第33回	34	鴨志田 新一	後藤 潤	佐藤 敦彦	水落 英次	鈴木 賢司	水田 知広	大西 孝太郎	東松山農協～
S57	2.30.11								森林公園コース
第34回	29	鴨志田 新一	鈴木 賢司	山田 俊路	吉田 直司	大西 孝太郎	徳田 岳幸	高橋 浩之	東松山農協～
S58	2.2.41								森林公園コース
第35回	12	山田 俊路	石川 秀治	高橋 浩之	鈴木 保和	徳田 岳幸	恩田 信久	吉田 直司	東松山農協～
S59	2.19.01				26.38 5	9.46 10	16.13 6		森林公園コース
第36回	9	山田 俊路	但馬 康秀	石川 秀治	鈴木 保和	徳田 岳幸	恩田 信久	高橋 浩之	東松山農協～
S60	2.22.55	33.30 10	9.38 8		28.06 8				森林公園コース
第37回	15	恩田 信久	並木 智彦	鈴木 賢司	菊池 秀昭	穴田 浩一	名倉 毅	但馬 康秀	東松山農協～
S61	2.23.01								森林公園コース
第38回	24	菊池 秀昭	並木 智彦	名倉 毅	但馬 康秀	中村 光輝	石原 智裕	大橋 豊	東松山農協～
S62	2.20.01							15.46 4	森林公園コース

男子全国高等学校駅伝競走大会埼玉県予選会

年度	順位／記録	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	コース
第39回	50	石原 智裕	並木 智彦	山崎 崇之	中村 光輝	中村 愉一郎	松井 純太	大橋 豊	東松山農協～
S63	2.30.33	37.08 32	9.39 15	29.01 49	29.58 58	10.38 56	17.43 43	16.29 10	森林公園コース
第40回	59	近藤 光仁	対馬 王	山崎 崇之	松井 純太	大橋 豊	上村 剛	遠藤 武士	東松山農協～
H1	2.28.21	37.12 96	10.08 48	28.00 52	28.35 48	9.55 25	17.23 49	16.51 37	森林公園コース
第41回	37	菅原 一剛	対馬 王	山崎 崇之	遠藤 武士	及川 誠	上村 剛	近藤 光仁	東松山農協～
H2	2.25.08	34.38 54	10.12 50	36.24 110	28.05 38	9.55 24	17.23 42	16.51 26	森林公園コース
第42回	47	菅原 一剛	及川 誠	中嶋 恵吾	遠藤 武士	唐沢 博史	上村 剛	対馬 王	東松山農協～
H3	2.28.13	35.06 53	9.46 25	29.09 64	29.18 49	10.08 40	17.44 43	17.02 31	森林公園コース
第43回	33	菅原 一剛	斎藤 徹	及川 誠	中嶋 恵吾	佐藤 清信	広瀬 耕二	唐沢 博史	東松山農協～
H4	2.23.30								森林公園コース
第44回	32	斎藤 徹	中嶋 恵吾	広瀬 耕二	竹村 直己	阿部 拓実	小林 謙介	佐藤 清信	東松山農協～
H5	2.29.38	36.45 62	9.56 20	28.45 37	29.12 33	10.03 29	17.35 29	17.22 32	森林公園コース
第45回	33	小林 謙介	服部 良	近藤 雄一	福原	阿部 拓実	竹村 直己	広瀬 耕二	東松山農協～
H6	2.24.24	33.21 30	9.28 13	27.57 34	29.18	9.47 19	16.55 27	17.40 45	森林公園コース
第46回	17	小林 謙介	阿部 拓実	竹村 直己	服部 良	近藤 雄一	滝口 正樹	実藤 裕史	東松山農協～
H7	2.20.46	32.42 19	9.25 10	26.49 19	27.38 20	9.38 21	17.12 20	36	森林公園コース
第47回	34	櫛島 健司	伊藤 修平	滝口 正樹	山田 寛朗	石川 大樹	遠山 貴之	菊地 貞行	東松山農協～
H8	2.26.11	34.12	9.54	27.39	27.55	10.54	18.01	17.36	森林公園コース
第48回	26	実藤 裕史	遠山 貴之	櫛島 健司	山田 寛朗	小嶋 光一	小熊 淳一	越後 俊彦	東松山農協～
H9	2.24.15	34.07 35	10.45 69	26.50 18	27.53 20	9.48 25	17.34 33	17.18 43	森林公園コース
第49回	46	小熊 淳一	山口 賢之	小嶋 光一	越後 俊彦	小坂 直弘	長内 洋介	櫛島 健司	東松山農協～
H10	2.31.59	35.47 52	10.53 60	28.27 39	30.10	10.23 39	19.09 58	17.10 28	森林公園コース
第50回	44	荒川 純	岩井 規泰	小熊 淳一	長内 洋介	小坂 直弘	山口 賢之	小嶋 光一	東松山農協～
H11	2.30.47	35.04 45	11.36 66	29.06 51	29.20 59	10.40 50	17.43 37	17.18 30	森林公園コース
第51回	61	荒川 純	小築 芳彰	岩井 規泰	金子 健太郎	大熊 宏和	伊藤 惇	山口 賢之	東松山農協～
H12	2.33.57	33.31 36	11.13 69	30.10 72	31.30 70	11.06 63	18.40 57	17.47 54	森林公園コース
第52回	32	荒川 純	冨田 賢史朗	宇田川 幸作	森方 正喜	恩田 和史	片山 拓	伊藤 惇	東松山農協～
H13	2.26.27	33.44 34	10.28 45	28.17 37	29.44 50	10.08 30	17.12 30	16.54 28	森林公園コース
第53回	31	宇田川 幸作	恩田 和史	森方 正喜	片山 拓	山辺 達彦	冨田 賢史朗	伊藤 惇	東松山農協～
H14	2.27.36	35.28 46	10.01 28	28.07 36	28.58 29	10.10 25	17.57 46	16.55 25	森林公園コース

男子全国高等学校駅伝競走大会埼玉県予選会

年度	順位／記録	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	コース
第54回	44	山邊 達彦	鯉沼 竜	酒巻 宏誌	牧島 渉	石井 佑穂	森方 正喜	角熊 祐司	東松山農協～
H15	2.29.43	34.50 50	9.58 26	28.39 49	30.21 60	10.28 34	18.06 47	17.21 40	森林公園コース
第55回	34	酒巻 宏誌	鯉沼 竜	廣門 直樹	町 祐樹	山下 大地	牧島 渉	山邊 達彦	東松山農協～
H16	2.31.48	36.00 47	9.58 22	28.34 32	31.11 48	10.47 35	17.29 26	17.49 35	森林公園コース
第56回	32	廣門 直樹	浅見 岳宏	町 祐樹	藤沢 明正	望月 恵介	山下 大地	加藤 俊弥	東松山農協～
H17	2.29.10	34.53 35	10.05 26	27.36 30	30.06 45	10.55 40	17.47 35	17..48 39	森林公園コース
第57回	36	浅見 岳宏	斎藤 駿明	町 祐樹	藤沢 明正	佐々木 優一	羽田野 翔太	加藤 俊弥	東松山農協～
H18	2.29.24	35.36 44	10.18 38	27.48 32	30.20 44	10.55 45	16.44 18	17.43 39	森林公園コース
第58回	40	神田 浩輝	斎藤 駿明	羽田野 翔太	前島 朋弥	黒田 陸	須川 寛倫	佐々木 優一	熊谷スポーツ文化公園
H19	2.31.46	34.14 35	10.12 32	28.40 45	31.10 57	11.06 46	18.40 56	17.44 45	陸上競技場周辺コース
第59回	42	安助 拓也	丸山 遥平	内ケ崎 大輝	前島 朋弥	高倉 諒一	土屋 航介	戸澤 好貴	熊谷スポーツ文化公園
H20	2.28.05	34.54 53	10.25 50	27.56 42	29.51 57	10.34 37	17.12 38	17.13 45	陸上競技場周辺コース
第60回	30	内ケ崎 大輝	土屋 航介	関根 輝也	森山 翔太	丸山 遥平	安助 拓也	戸澤 好貴	熊谷スポーツ文化公園
H21	2.27.28	35.01 42	9.58 26	28.16 30	29.03 34	10.07 22	18.06 39	16.57 21	陸上競技場周辺コース
第61回	41	関根 輝也	河野 秀斗	森山 翔太	山岸 康平	川出 健太郎	下向 修平	笠谷 丈二	熊谷スポーツ文化公園
H22	2.29.44	33.39 31	10.30 46	28.18 37	28.56 38	10.46 45	18.57 64	18.38 54	陸上競技場周辺コース
第62回	DSQ	山岸 康平	内田 巧	笠谷 丈二	櫛島 涼	桐生 拓海	下向 修平	青木 勇人	熊谷スポーツ文化公園
H23		35.52 51	10.17 31	29.00 39	29.36 42	10.25 29		17.16 27	陸上競技場周辺コース
第63回	35	青木 勇人	野末 学志	櫛島 涼	桐生 拓海	金原 広大	小金井 雄太	内田 巧	熊谷スポーツ文化公園
H24	2.33.19	37.38 79	10.25 45	28.33 40	30.17 57	10.23 47	18.07 46	17.26 26	陸上競技場周辺コース
第64回	39	野末 学志	松島 大士	小金井 雄太	杉山 諒	佐藤 祐冴	山内 雄太	寺川 大志	熊谷スポーツ文化公園
H25	2.29.28	34.54 50	9.49 29	29.46 62	29.46 45	10.29 41	17.55 48	17.19 34	陸上競技場周辺コース
第65回	38	山内 雄太	永富 啓太	佐藤 祐冴	田中 智晃	萩原 捷五	鈴木 凌太郎	松島 大士	熊谷スポーツ文化公園
H26	2.28.09	34.24 41	9.57 34	29.26 55	29.43 56	10.34 42	17.28 35	16.37 22	陸上競技場周辺コース
第66回	44	鈴木 凌太郎	山内 雄太	萩原 捷五	木村 拓海	田中 智晃	安田 颯太	永富 啓太	熊谷スポーツ文化公園
H27	2.28.58	34.27 47	10.26 55	29.13 58	29.05 46	10.12 32	17.57 50	17.38 40	陸上競技場周辺コース
第67回	南部混成	木村 拓海	山本 浩平	原口 峻					熊谷スポーツ文化公園
H28	2.32.48	35.26 65	10.37 56	29.40 66					陸上競技場周辺コース

女子全国高等学校駅伝競走大会埼玉県予選会

年度	順位／記録	1区	2区	3区	4区	5区	コース
第17回	19	岡山 江梨子	留守 珠美	小野原 望	板倉 美沙	飯田 真菜美	熊谷スポーツ文化公園
H17	1.25.27	24.10 26	16.16 22	12.41 29	11.34 16	20.37 26	陸上競技場周辺コース
第18回	24	飯田 真菜美	内海 朋子	根岸 真依	横松 鮎美	留守 珠美	熊谷スポーツ文化公園
H18	1.27.00	24.17 26	16.53 26	12.26 28	13.54 42	19.30 16	陸上競技場周辺コース
第19回	23	栗原 佐和子	長澤 つぼみ	横松 鮎美	鈴木 美奈穂	根岸 真依	熊谷スポーツ文化公園
H19	1.26.11	24.35 35	16.54 29	12.35 29	12.11 26	19.56 17	陸上競技場周辺コース
第20回	29	長澤 つぼみ	鈴木 美奈穂	伊福 ゆうき	南原 綾	片岡 夏美	熊谷スポーツ文化公園
H20	1.26.55	24.42 38	16.48 31	12.04 24	12.22 29	20.59 32	陸上競技場周辺コース
第21回	19	青木 優実	根本 咲	前川 友香里	中矢 めぐみ	鳥海 奈央	熊谷スポーツ文化公園
H21	1.26.12	23.46 24	15.43 16	12.27 27	12.42 23	21.34 36	陸上競技場周辺コース
第22回	22	根本 咲	藤岡 裕美	小長光 歩美	久住 友紀	青木 優実	熊谷スポーツ文化公園
H22	1.23.50	23.19 23	16.58 33	11.50 21	12.24 24	19.19 11	陸上競技場周辺コース
第23回	21	小長光 歩美	石川 令子	久住 友紀	中村 紅寧	藤岡 裕美	熊谷スポーツ文化公園
H23	1.24.39	23.48 28	16.23 27	11.45 16	11.55 15	20.48 30	陸上競技場周辺コース
第24回	22	葛山 幸恵	杉田 奈央	石川 令子	東島 可那子	坂本 奈菜	熊谷スポーツ文化公園
H24	1.23.55	23.04 21	16.02 21	12.16 27	12.45 29	19.48 19	陸上競技場周辺コース
第25回	15	葛山 幸恵	杉田 奈央	小林 倫	伊古田 佳苗	花田 歩美	熊谷スポーツ文化公園
H25	1.21.18	22.15 15	15.25 16	12.40 38	12.13 19	18.45 11	陸上競技場周辺コース
第26回	17	花田 歩美	葛山 幸恵	田中 晴菜	小林 倫	藤本 珠笛	熊谷スポーツ文化公園
H26	1.23.10	21.56 15	15.33 16	12.03 23	11.58 15	21.40 40	陸上競技場周辺コース
第27回	34	田中 晴菜	長澤 芽衣子	久住 真理	榎本 沙彩	藤本 珠笛	熊谷スポーツ文化公園
H27	1.27.52	24.24 38	15.42 16	12.13 28	12.55 32	22.38 52	陸上競技場周辺コース
第28回	26	長澤 芽衣子	岡本 花音	小島 世渚	奥村 仁美	青海 明花	熊谷スポーツ文化公園
H28	1.24.35	24.03 37	15.42 16	11.49 20	12.16 23	20.45 34	陸上競技場周辺コース

埼玉県立蕨高等学校陸上競技部 OBOG 会規約

Ⅰ　総則

第１条　本会は埼玉県立蕨高等学校陸上競技部 OBOG 会と称する。

第２条　本会は事務局を埼玉県立蕨高等学校に置く。

第３条　本会は会員相互の親睦を図り、陸上部の発展に寄与することを目的とする。

第４条　本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
１　会員相互の親睦を図るための各種事業
２　陸上競技部の発展強化を援助
３　その他

第５条　本会の規約を変更するためには総会出席の過半数の同意を必要とする。

第６条　本会の会員は原則として埼玉県立蕨高等学校陸上競技部に所属していた者とする。ただし、会員の資格は蕨高等学校を卒業する日をもって自動的に取得するものとする。

第７条　本会に下記の役職を置く。
・名誉会長（OBOG 会推薦）
・会長１名
・顧問（埼玉県立蕨高等学校陸上競技部顧問）
・副会長（若干名）
・事務局
　幹事長　１名
　副幹事長　若干名
　代表幹事若干名：総務、会計、広報）
・幹事各期２名

第８条　会長は本会を代表し、会務を総括し総会及び幹事会の招集を行う。

第９条　副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はその職務を代行する。

第 10 条　事務局の幹事長は、会長及び副会長を補佐し、又、会長の名を受け会務を管掌する。

第 11 条　代表幹事の会計担当は、会費の徴収及び定められた経費の支出等の会計事務を行う。

第 12 条　各役員の任期は２カ年とする。但し、再任を妨げない。

Ⅱ　会議

第 13 条　会議は総会及び幹事会の二種とする。
・総会は顧問・会長・副会長・幹事・会員により構成し、
１年１回開催しなければならない。
但し必要ある場合、会長は臨時に招集することができる。
・幹事会は会長・副会長・幹事により構成し、必要により
随時行う。

第 14 条　会長は下記事項を総会に発表して承認を求めなければならない。
１　会計報告
２　会務報告

第 15 条　会議の議決は出席者の過半数をもって決定する。

Ⅲ　資金及び会計

第 16 条　本会の資金は納付する会費及び寄付金をもって充てる。

第 17 条　１　会費は 会費は、一口千円とし、三口以上とする。
２　但し、学生会員は一口とする。

第 18 条　規約による支出金は、代表幹事会計担当の請求により会長の承認を得て支出する。

第 19 条　本会の会計年度は毎年２月～翌年１月末日までとして、年度末には当該年度の収支を決算する。

第 20 条　本会解散の場合の処分は総会の決議により定める。

本規約は昭和４２年　１月　１日より実施する。
本規約は昭和６２年　５月　９日、一部改定実施する。
本規約は平成　５年１１月２７日、一部改定実施する。
本規約は平成　８年１２月　５日、一部改定実施する。
本規約は平成１７年　２月２６日、一部改定実施する。
本規約は平成２１年　６月２７日、一部改定実施する。
本規約は平成２５年　２月１１日、一部改定実施する。
本規約は平成２８年　２月１１日、一部改定実施する。

平成 28 年度

役 職 者 一 覧

名誉顧問　西村　暢二　　神保　国男(2)　　塩田　征夫(4)

会　　長　小沼　彰彦　(13)

顧　　問　山田　俊路　(27)

副 会 長　天野　和則　(7)　　佐藤　博　(8)
大塚　敬一　(9)　　後田　房枝(10)
斉藤　勝美　(12)　　田島　恵子(12)
松本　隆男　(13)　　鈴木　佳子(20)

幹 事 長　安藤　尚弘　(21)

副幹事長　志村　巌　(23)　　坂東　千里（32）

（代表幹事）　野田　繁　(7)　　田島　良一（10）
平野　洋　(16)　　大政　正一（19・総務）
菅原　和浩　(20・広報)　恩田　信久（28・会計）
柏山　真喜子(31)　　安澤　直道（34）

幹事（各期の男女部長）

No.	氏名	旧姓等	期
1	島村 道宏		1
2	渡辺 周平		1
3	赤尾 昌一		1
4	宝田 秀子	多田	1
5	清水 忠勇		2
6	神保 国男		2
7	桑山 茂		2
8	花牟礼 徹		2
9	山下 勇夫		2
10	小林 憲由		3
11	安西 一郎		3
12	石塚 芳夫		3
13	津村 俊二		3
14	岡田 巧		4
15	塩田 征夫		4
16	田村 武		5
17	野村 供行		5
18	加藤 直子	内住	5
19	黒瀬 トミエ	池田	5
20	浜 勇		5
21	市川 美智子	小野	5
22	秋元 良夫		6
23	神原 一夫	荻野	6
24	静 良彦		6
25	中村 博		6
26	森 弘子		6
27	鈴木 千昭		6
28	諸貫 譲二		6
29	村越 春美		6
30	永山 和子	川辺	6
31	広瀬 万里子	広瀬	6
32	高橋 達夫		7
33	須賀 祐三		7
34	野田 繁		7
35	天野 和則		7
36	浦田 孝之		7
37	遠藤 中		7
38	藤波 章		7
39	小林 平		7
40	葉田 真琴	小西	7
41	近藤 瑠美子	佐藤	7
42	安藤 和子	浜中	7
43	白茂 絢子	佐藤	7
44	福田 悦江	篠沢	7
45	坂田 正子	稲垣	7
46	関口 進		7
47	高野 光雄		7
48	熊木 正好		7
49	太田 栄		7
50	久保 信之		7

No.	氏名	旧姓等	期
51	大木 清子	川口	7
52	野上 節子	韮沢	7
53	佐藤 博		8
54	染谷 利一		8
55	新井 茂		8
56	尾梶 博		8
57	山口 千春		8
58	星野 幹太郎		8
59	飯田 孝司		8
60	桑野 行雄		8
61	長島 善広		8
62	広沢 日出男		8
63	引田 光子	伊藤	8
64	牧村 和子	小川	8
65	坂口 英子	島也	8
66	増田 知子	沢木	8
67	関 節子	水島	8
68	村田 千恵子	構	8
69	松井 和子	坂本	8
70	枯木 貞伊	高山	8
71	武長 正		9
72	大塚 敬一		9
73	清水 宏一郎		9
74	福田 伸一郎		9
75	山本 三郎		9
76	谷中 登		9
77	島田 茂夫		9
78	手塚 秀夫		9
79	鈴鹿 照子	寺尾	9
80	山田 美智子	外岡	9
81	高津 英子	秋葉	9
82	吉田 修郎		9
83	宮地 加代子	辻村	9
84	山崎 晴美	旭	9
85	岡田 敏子	新井	9
86	田島 良一		10
87	川田 一成		10
88	西田 博一		10
89	嶋田 修一		10
90	高橋 敏行		10
91	渡辺 正己	都築	10
92	加藤 哲夫		10
93	原田 英気		10
94	橋本 潤子	高田	10
95	松田 静江	原	10
96	松井 澄子		10
97	後田 房枝	本橋	10
98	屋代 洋子		10
99	斎藤 光代	星	10
100	秋本 美枝子	長沼	10

No.	氏名	旧姓等	期
101	小林 栄一		10
102	吉野 忠篤		10
103	太田 登喜子	遊馬	10
104	佐々木 敏子		10
105	佐々木 千恵	向井	10
106	安達 順一		10
107	吉田 英夫		11
108	染谷 浩		11
109	生沢 邦男		11
110	須藤 和利		11
111	猪俣 美光		11
112	佐々木 明子	小沢	11
113	大竹 千江子	小高	11
114	須藤 洋子		11
115	小池 孝枝	林	11
116	三和 美千代	渡部	11
117	土屋 秀夫		11
118	鈴木 信行		11
119	坂巻 周一		11
120	矢島 きみ子	中野	11
121	斎藤 勝美		12
122	金子 欣也		12
123	佐野 真次		12
124	中渡瀬 隆文		12
125	新井 秀男		12
126	稲垣 英夫		12
127	土屋 圭司		12
128	磯部 伸一		12
129	柳田 茂		12
130	横川 紀子	糸井	12
131	田島 恵子		12
132	荒井 恵子	内田	12
133	吉田 由利江	栗原	12
134	柴崎 みどり	柏谷	12
135	小池 和春		12
136	田口 孝		12
137	深井 照一		12
138	善林 隆也		12
139	小沼 彰彦		13
140	松本 隆男		13
141	大野 隆司		13
142	矢作 雅美		13
143	細渕 秀樹		13
144	箱田 武夫		13
145	大岡 正		13
146	元田 秀典		13
147	片山 照江	栗原	13
148	勝田 明美	鈴木	13
149	広岡 富士子	伊沢	13
150	小沼 陽子	白石	13

No.	氏名	旧姓等	期
151	木村 京子		13
152	塚田 恵子	滝沢	13
153	黒崎 数也		13
154	引間 良文		14
155	斎藤 浩一		14
156	柳沢 誠		14
157	佐藤 政博		14
158	福岡 郁夫		14
159	鈴木 浩良		14
160	坂本 静男		14
161	小金井 隆		14
162	吉田 久雄		14
163	岡田 輝幸		14
164	岡嶋 洋子	吉田	14
165	河本 泰子	岡田	14
166	金子 あけ美	船越	14
167	石関 美津子	矢作	14
168	山本 紀夫		14
169	中村 正信		15
170	桃谷 一秀		15
171	小園江 邦彦		15
172	小見 富美子		15
173	森田 美千子	白鳥	15
174	福島 美恵	増山	15
175	岩本 敦		15
176	野原 美知子	富田	15
177	山内 五十鈴	平島	15
178	木村 玲子	黒木	15
179	安井 英子		15
180	佐野 正彦		16
181	五十嵐 富士		16
182	小林 勉		16
183	品田 秀隆		16
184	金子 功		16
185	平野 洋		16
186	大野 茂男		16
187	加藤 忠男		16
188	小林 健司		16
189	安藤 静男	小森	16
190	藤田 健一		16
191	小森谷 一男		16
192	岩崎 洋		17
193	田井 政典		17
194	落合 優		17
195	水庭 裕		17
196	井沢 重夫		17
197	相良 裕子	柳田	17
198	斉藤 昇		17
199	田口 賢明		17
200	鈴木 秀昭		17

No.	氏名	旧姓等	期
201	田中 正弘		18
202	天野 均		18
203	高松 英夫		18
204	鈴木 克司		18
205	平野 育美	山本	18
206	卯月 恭代	村山	18
207	坂田 正子		18
208	川村 香	岩津	18
209	千葉 智子	平野	18
210	折原 良治		18
211	川井 昭彦		18
212	長島 良亮		18
213	佐々木 浩		18
214	藤 喜代美	今井	18
215	二階堂 則子		18
216	鈴木 美明		18
217	大政 正一		19
218	島田 竜太郎		19
219	土屋 正宣		19
220	安部 正文		19
221	青山 茂美		19
222	中西 信行		19
223	名児耶 雅秀		19
224	片岡 義昭		19
225	山川 久子	馬場	19
226	小林 眞希子	熊代	19
227	諫崎 吉輝		19
228	石毛 淳		19
229	桜井 正雄		19
230	鈴木 継昭		19
231	関根 敦夫		19
232	高島 正司		19
233	堀口 正光		19
234	保田 昌子		19
235	高橋 ユミ	山川	19
236	菅原 和浩		20
237	高野 央司		20
238	津川 伸子		20
239	田上 信博		20
240	鈴木 成樹	菊地	20
241	岸 正子	山下	20
242	倉田 純子	金子	20
243	小林 千恵子	本宮	20
244	鈴木 佳子		20
245	川上 政枝	渡辺	20
246	逆井 芳子	上田	20
247	吉川 明夫		20
248	斉藤 誠		21
249	北堀 克則		21
250	細矢 武志		21

No.	氏名	旧姓等	期
251	松下 秀夫	室井	21
252	長広 賢二		21
253	西野 幸雄		21
254	中村 智志		21
255	安藤 尚弘		21
256	村山 芳美	石井	21
257	涌井 美代子	津山	21
258	千種 寿代	早川	21
259	石川 美幸	松山	21
260	石川 和代		21
261	古弓 知美	高野	21
262	岡野 京美	栗原	21
263	多田 温子	池山	21
264	利根 輝美		21
265	竹江 育代	黒子	21
266	岩井 丈仁		22
267	荏原 繁二		22
268	岡部 富和		22
269	河村 裕之		22
270	斎藤 好一		22
271	添田 浩樹		22
272	高水 宏晃		22
273	根本 悦子	浅野	22
274	荒井 由美		22
275	堀 恵里	大井	22
276	中村 直美	下田	22
277	大島 恵美子	蓮見	22
278	田口 明子	森泉	22
279	小林 恵	和田	22
280	細野 克彦		22
281	若倉 和也		22
282	秋本 めぐみ	坂本	22
283	豊田 誠雄		22
284	中山 加奈枝		22
285	野口 美智子		22
286	志村 巌		23
287	長島 宏和		23
288	永山 真由美	永堀	23
289	菱沼 由希子	高村	23
290	村山 孝		23
291	蒲生 隆夫		23
292	須藤 元雄		23
293	谷合 広幸		23
294	桑原 伯至		23
295	根本 一俊		23
296	嶋村 勝己		24
297	荒井 秀介		24
298	小沼 弘之		24
299	佐藤 正子	元木	24
300	田中 画		24

No.	氏名	旧姓等	期
301	篠原 秀樹		24
302	並木 康彰		24
303	佐藤 敦彦		24
304	元吉 正道	後藤	24
305	斉藤 俊一		24
306	水落 英次		24
307	山本 文野		24
308	吉村 久恵	古美門	24
309	畑見 令子		24
310	寺戸 晴美	清水	24
311	斎藤 和子	牛尾	24
312	小池 奈巳	斉藤	24
313	荻原万里子	細井	24
314	山口 聡裕		25
315	田中 靖		25
316	宮林 健二郎		25
317	鴨志田 新一		25
318	大西 孝太郎		25
319	松原 徹		25
320	水田 知広		25
321	西沢 富士子		25
322	石川 美知子	柴田	25
323	及川 直美		25
324	三戸 信介		26
325	後藤 潤		26
326	保科 真司		26
327	吉田 直司		26
328	大道 雅樹		26
329	鈴木 賢司		26
330	大森 直思		26
331	近藤 佐予子	大月	26
332	田中 智也子	小川	26
333	村上 容子	飯塚	26
334	飯田 ひろみ	曽根	26
335	佐野 祐子	土田	26
336	計良 素子	前嶋	26
337	森田 秀一		27
338	浅見 拓賜		27
339	山田 俊路		27
340	末田 宏幸		27
341	和田 仁彦		27
342	小山 晃弘		27
343	嶋沢 秀明		27
344	高橋 浩之		27
345	徳田 岳幸		27
346	安部 竜二		27
347	小島 貴之		27
348	近藤 政雄		27
349	北見 章子	小笠原	27
350	熊谷 美也	新妻	27

No.	氏名	旧姓等	期
351	末広 崇		28
352	座古 幸伸		28
353	今渕 賢一		28
354	山田 憲郎		28
355	柏原 清		28
356	角原 宏樹		28
357	押田 明成		28
358	加藤 政治		28
359	鈴木 保和		28
360	恩田 信久		28
361	穴田 浩一		28
362	藤沼 知子	村瀬	28
363	伊地知 正朝		29
364	小野 裕一		29
365	菊地 秀昭		29
366	式田 寿行		29
367	但馬 康秀		29
368	橋本 寿		29
369	布山 和将		29
370	永田 純子		29
371	野口 ひとみ	山田	29
372	村阪 勲		29
373	名倉 毅		29
374	小山 晃嗣		29
375	芝 正樹		30
376	小林 光太郎		30
377	中村 光輝		30
378	並木 智彦		30
379	引地 博行		30
380	岩下 裕子	飯島	30
381	高木 彩	末田	30
382	田口 典子		30
383	小沢 寧子	西方	30
384	石原 智裕		30
385	安野 敦子	当摩	30
386	村岡 英治		31
387	黒沢 達		31
388	石塚 健一		31
389	大橋 豊		31
390	佐藤 秀貴		31
391	増岡 陽一		31
392	松井 純太		31
393	佐藤 公彦		31
394	上原 直幸		31
395	小菅 健司		31
396	田中 俊一		31
397	板倉 弘昌		31
398	木村 悟		31
399	椎名 史樹		31
400	宇佐見 嘉宏		31

No.	氏名	旧姓等	期
401	柏山 真喜子		31
402	金森 瑠美	小熊	31
403	石橋 理恵		31
404	加藤 登志子	伊東	31
405	高尾 陽子		31
406	深井 稔子		31
407	岩永 幸子	福田	31
408	新井 秀雄		31
409	近藤 光仁		32
410	山崎 崇之		32
411	中平 政男		32
412	中村 愉一郎	船津	32
413	久原 研二郎		32
414	黒田 素啓		32
415	山崎 剛		32
416	坂東 千里		32
417	五十嵐 聡美	平野	32
418	青木 千枝		32
419	大場 慎巳		32
420	岩井 京子	平澤	32
421	遠藤 武士		33
422	岩崎 朋之		33
423	高野 博史		33
424	田中 誠		33
425	森 俊昭		33
426	上村 剛		33
427	菊地 昌幸		33
428	渋谷 守		33
429	対馬 王		33
430	小幡 浩一		33
431	門別 篤		33
432	佐藤 貴之		33
433	村田 友紀子		33
434	田中 理恵		33
435	土田 幸子	布施	33
436	佐々木 恵美	飯塚	33
437	井上 亜希子		33
438	安澤 直道		34
439	斉藤 渉		34
440	杉原 秀明		34
441	及川 誠		34
442	平林 治彦		34
443	丸田 寛明		34
444	菅原 一剛		34
445	本澤 千晶		34
446	鈴木 智子		34
447	真柳 智子	渡辺	34
448	鈴木 真美代		34
449	矢野 裕之		34
450	山崎 悟史		35

No.	氏名	旧姓等	期
451	田口 茂		35
452	中嶋 恵吾		35
453	矢島 秀光		35
454	斉藤 徹		35
455	唐沢 博史		35
456	篠崎 信介		35
457	佐藤 清信		35
458	川名 雄一		35
459	佐藤 嘉一		35
460	小松 弘美	苅田	35
461	北村 佳奈子		35
462	加藤 澄恵		35
463	鈴木 由美子		35
464	渡辺 真紀		35
465	角田 恵子		35
466	田中 智子		35
467	菊地 洋亘		36
468	杉山 智昭		36
469	福田 良司		36
470	瀬戸 智広		36
471	野本 禎司		36
472	吉田 太		36
473	市川 東峰		36
474	土井 貴文		36
475	篠子 裕		36
476	広瀬 耕二		36
477	藤川 由利子		36
478	中 淳子	松原	36
479	広川 美和		36
480	鈴木 瑠美子		36
481	森 邦明		37
482	竹村 直己		37
483	阿部 拓実		37
484	近藤 雄一		37
485	山崎 信宏		37
486	稲光 洋一		37
487	小林 謙介		37
488	服部 良		37
489	梅崎 貴大		37
490	南雲 恵子		37
491	曽根 岐子		37
492	与那国 芳江		37
493	峰岸 幸恵		37
494	越谷 文秋		38
495	伊藤 聖岳		38
496	渋谷 祐一		38
497	菊地 貞行		38
498	滝口 正樹		38
499	阿部 義弘		38
500	小澤 匡範		38

No.	氏名	旧姓等	期
501	南雲 明恵		38
502	大野 順子		38
503	江森 美佳		38
504	新家 美沙子		38
505	江口 郁		38
506	本橋 慎也		39
507	久世 廣泰		39
508	浅井 剛		39
509	石川 大樹		39
510	山田 寛朗		39
511	実藤 裕史		39
512	嶋田 貴文		39
513	勝田 育美		39
514	田中 梨沙子		39
515	五位野 光		39
516	長谷川 京鼓	金子	39
517	渡辺 恭子		39
518	吉森 友枝		39
519	高橋 理恵		39
520	高橋 宏典		40
521	清水 正寛		40
522	伊藤 修平		40
523	田波 浩介		40
524	水口 雄貴		40
525	小田 祐輔		40
526	宇都宮 正和		40
527	櫛島 健司		40
528	遠山 貴之		40
529	竹田 哲郎		40
530	中村 聖子		40
531	馬場 美由紀		40
532	飯田 友美		40
533	高橋 みゆき	奥野	40
534	伊藤 昇平		41
535	鈴木 大介		41
536	鈴木 彰		41
537	小嶋 光一		41
538	長内 洋介		41
539	小熊 淳一		41
540	小坂 直弘		41
541	越後 俊彦		41
542	大西 未希子		41
543	高橋 麻奈美		41
544	渡辺 一真		42
545	山口 賢之		42
546	渡辺 健治		42
547	畑 智子		42
548	熊木 郁子		42
549	勝田 久美子		42
550	山嵜 久美子		42

No.	氏名	旧姓等	期
551	堀尾 和史		43
552	荒川 純		43
553	清宮 敬太		43
554	飯高 かすみ		43
555	江口 由里子		43
556	星 喬子		43
557	小川 千春		43
558	鈴木 隆宏		44
559	大熊 宏和		44
560	小肥 知広		44
561	高橋 喜博		44
562	伊藤 惇		44
563	金子 健太郎		44
564	鈴木 逸人		44
565	小築 芳彰		44
566	米山 昇輝		44
567	山本 悟史		44
568	山田 早紀		44
569	布施 友紀枝		44
570	佐藤 直輝		45
571	飯塚 奉弘		45
572	大沢 佑介		45
573	廣林 達哉		45
574	大橋 祐司		45
575	坂田 直紀		45
576	宇田川 幸作		45
577	恩田 和史		45
578	冨田 賢史朗		45
579	森方 正喜		45
580	片山 拓		45
581	山崎 美紀		45
582	石川 愛子	高野	45
583	河合 千春	長谷川	45
584	片山 由季	小金	45
585	近美 智子		45
586	米川 梓		45
587	後藤 泰紀		46
588	草島 将光		46
589	加藤 森悠		46
590	田山 智也		46
591	角熊 祐司		46
592	濱松 洋希		46
593	山邊 達彦		46
594	尾形 和美		46
595	瀧本 まや	大泉	46
596	川添 千瑛		46
597	上杉 南実	桑原	46
598	田代 百合子		46
599	春川 恵里奈		46
600	小林 賞子	平林	46

No.	氏名	旧姓等	期
601	川久保　葉子	吉川	46
602	安藤　和貴		47
603	石井　佑穂		47
604	鯉沼　竜		47
605	酒巻　宏誌		47
606	清水　祐希		47
607	牧島　渉		47
608	玉田　愛		47
609	榊原　健太		48
610	須田　啓司		48
611	田口　明嗣		48
612	廣門　直樹		48
613	町　祐樹		48
614	望月　恵介		48
615	山下　大地		48
616	天川谷　茉莉		48
617	板倉　美紗		48
618	今川　知里		48
619	宇田川　七実		48
620	岡山　江梨子		48
621	小野原　望		48
622	斉藤　薫		48
623	中島　貴大		49
624	浅見　岳宏		49
625	加藤　俊弥		49
626	佐久間　涼		49
627	速水　義仁		49
628	古賀　隆史		49
629	西村　航		49
630	藤沢　明正		49
631	丸山　大輔		49
632	石田　拓人		49
633	森下　陽子		49
634	玉置　梨沙		49
635	前田　亜沙美		49
636	飯田　真菜実		49
637	内海　朋子		49
638	留守　珠美		49
639	細田　めぐみ		49
640	山下　真依		49
641	四方田　英俊		50
642	大内　徹也		50
643	羽田野　翔太		50
644	佐々木　優一		50
645	石原　雅樹		50
646	武井　賢太郎		50
647	田村　友一		50
648	桝田　明弘		50
649	齋藤　駿明		50
650	山井　優香		50

No.	氏名	旧姓等	期
651	栗原　佐和子		50
652	根岸　真衣		50
653	横松　鮎美		50
654	溝井　菜摘		50
655	川口　ルナ		50
656	小縣　良平		51
657	神田　浩輝		51
658	吉田　誠		51
659	秋本　貴大		51
660	岡田　幸大		51
661	須川　寛倫		51
662	吉田　諒太		51
663	前島　朋弥		51
664	片岡　夏美		51
665	金子　美佳		51
666	南原　綾		51
667	鈴木　美奈穂		51
668	中島　聡美		51
669	長澤　つぼみ		51
670	伊福　ゆうき		51
671	太田　千尋		51
672	江村　啓介		52
673	松生　絢右		52
674	野口　研		52
675	川越　壮也		52
676	齊藤　誠人		52
677	安助　拓也		52
678	戸澤　好貴		52
679	内ヶ崎　佑太		52
680	鈴木　麻里菜		52
681	門脇　翠		52
682	星野　早香		52
683	淺野　えりな		52
684	大浪　惇		53
685	新田　義樹		53
686	森山　翔太		53
687	川出　健太郎		53
688	関根　輝也		53
689	池田　偉徳		53
690	山下　修司		53
691	畠山　祐輔		53
692	五十嵐　崇		53
693	市川　陽子		53
694	鳥海　奈央		53
695	青木　優実		53
696	小柳　美沙子		53
697	大熊　遥香		53
698	鈴木　桃子		53
699	根本　咲		53
700	本多　香苗		53

No.	氏名	旧姓等	期
701	貞富　真優		53
702	中矢　めぐみ		53
703	前川　友香里		53
704	服部　翼		54
705	下向　修平		54
706	吉田　浩志		54
707	渡辺　歩樹		54
708	廣田　揮一		54
709	稲葉　柊生		54
710	河野　秀斗		54
711	中澤　信		54
712	笠谷　丈二		54
713	萱野　友博		54
714	山岸　康平		54
715	斉木　隼人		54
716	上野　真吾		54
717	白井　祐也		54
718	鎌田　健太郎		54
719	小長光　歩美		54
720	椎名　紘子		54
721	田中　美央		54
722	大野　晴香		54
723	藤岡　裕美		54
724	岩崎　千春		54
725	内桶　彩		54
726	久住　友紀		54
727	中村　紅寧		54
728	作田　康平		55
729	井邑　映斗		55
730	小林　勇人		55
731	江口　直人		55
732	綿沼　正伸		55
733	内田　巧		55
734	菅原　一樹		55
735	櫛島　涼		55
736	甲斐　拓海		55
737	金原　広大		55
738	桐生　拓海		55
739	星野　燿		55
740	青木　勇人		55
741	鈴木　真琴		55
742	山田　菜月		55
743	荒川　叶実		55
744	會田　彩織		55
745	吉田　歩		55
746	坂本　奈菜		55
747	永山　祐理		55
748	石川　令子		55
749	前田　智香		55
750	平林　結衣		55

No.	氏　　名	旧姓等	期
751	庄野　仁美		55
752	東島　可那子		55
753	徳永　正吾		55
754	池田　洋太郎		55
755	杉山　諒		55
756	武田　凌		56
757	寺川　太志		56
758	太田　隼		56
759	齋藤　倫久		56
760	多川　大貴		56
761	野末　学志		56
762	小金井　雄太		56
763	伊古田　佳苗		56
764	杉田　奈央		56
765	鈴木　瑞央		56
766	山村　榛菜		56
767	若山　真子		56
768	葛山　幸恵		56
769	神沢　京香		56
770	川出　胡桃		56
771	川名　亜美		56
772	皆川　達海		57
773	花田　歩美		57
774	小林　倫		57
775	中澤　謙		57
776	松島　大士		57
777	黒川　敦史		57
778	佐藤　祐冴		57
779	三尾　啓介		57
780	大西　菜月		57
781	高橋　礼奈		57
782	池野　克俊		57
783	窪田　実樹		57
784	藤原　晃太		57
785	北條　司		57
786	山内　雄太		57
787	石井　翔梧		57
788	千葉　楓己		57
789	筆脇　智宏		58
790	大村　琴菜		58
791	梶原　淳		58
792	鈴木　凌太		58
793	長嶋　志帆		58
794	安田　颯太		58
795	大朏　尚也		58
796	栗岡　光駿		58
797	藤本　珠笛		58
798	八木橋　千智		58
799	山本　工		58
800	田中　晴菜		58

No.	氏　　名	旧姓等	期
801	森田　裕貴		58
802	木村　拓海		59
803	米村　拓真		59
804	榎本　沙彩		59
805	小泉　友哉		59
806	長澤　芽衣子		59
807	村本　遥		59
808	横田　真梨菜		59
809	久住　真理		59
810	今野　七海		59
811	中島　悠花		59
812	山下　紘輝		59
813	鈴木　悠也		59
814	宮田　ひかり		59
815	藤田　真樹		59
816	関根　光沙		59
817	小林　誉柾		60
818	情野　雄大		60
819	寺本　龍哉		60
820	三輪　麗水		60
821	原口　峻		60
822	前川　彩夏		60
823	山本　浩平		60
824	数野　智成		60
825	大村　ひなた		60
826	並木　穂乃佳		60
827	青海　明花		60
828	上田　佳瑠羅		60

No.	氏　　名	旧姓等	期

編集後記

ここに蕨高校陸上競技部創立 60 周年記念誌「垂柳」が完成したことをご報告いたします。

学校の創立とともに歩んできた陸上競技部ですが、その卒業生は 800 名を超え、様々な分野で活躍されております。OBOG の皆さんにこれまでの歩みを振り返っていただき、これからも蕨高校陸上部を応援していただくために、今回 60 周年を期に記念誌を発行する運びとなりました。発行に際し執筆していただいた関係者、原稿を集めていただいた先輩諸氏の皆様に心より感謝いたします。

記録の整理を行い、過去の記録集から記録を調べました。不十分な点がありますが、ご了承いただきますようお願いします。

先輩方の話に出てくる当時を思い、現役諸君の応援をよろしくお願いします。

平成 29 年 2 月 11 日

「垂柳」

誌名の垂柳はかつて正門を入るとすぐ左手に生えていた大きな垂柳の木からつけられています。現在はなくなってしまっていますが、この柳の木のようにしなやかにたくましくあってほしいと願っています。

表紙題字　20 期　鈴木圭子

表紙写真　平成 27 年関東大会　山梨中銀スタジアム

松島大士(800m)、高橋礼奈(走幅跳)インターハイ出場

埼　玉　県　立　蕨　高　等　学　校
蕨 市 北 町 ５ － ３ － ８
☎０４８－４４３－２４７３